

# NTR REVENGE

ネトリベンジ

revenge

02  
ROUND

原作

マサイ

STORY MASAI

漫画

奇仙

MANGA KISEN







REVENGE  
02  
ROUND  
原作  
マサイ  
STORY MIZUKI  
漫画  
奇仙  
MURAKAMI KISHIO





もくじ

## CONTENTS

第6話

chapter NO.

言いなり

003

PAGE

第7話

chapter NO.

悠木昌隆という男

023

PAGE

第8話

chapter NO.

疑惑のタネ

045

PAGE

第9話

chapter NO.

あーゆーがいーごう  
阿諛迎合

063

PAGE

第10話

chapter NO.

看守と家畜

081

PAGE

第11話

chapter NO.

“支配”の入り口

099

PAGE

第12話

chapter NO.

近づく限界

119

PAGE

第13話

chapter NO.

それぞれの“思惑”

137

PAGE

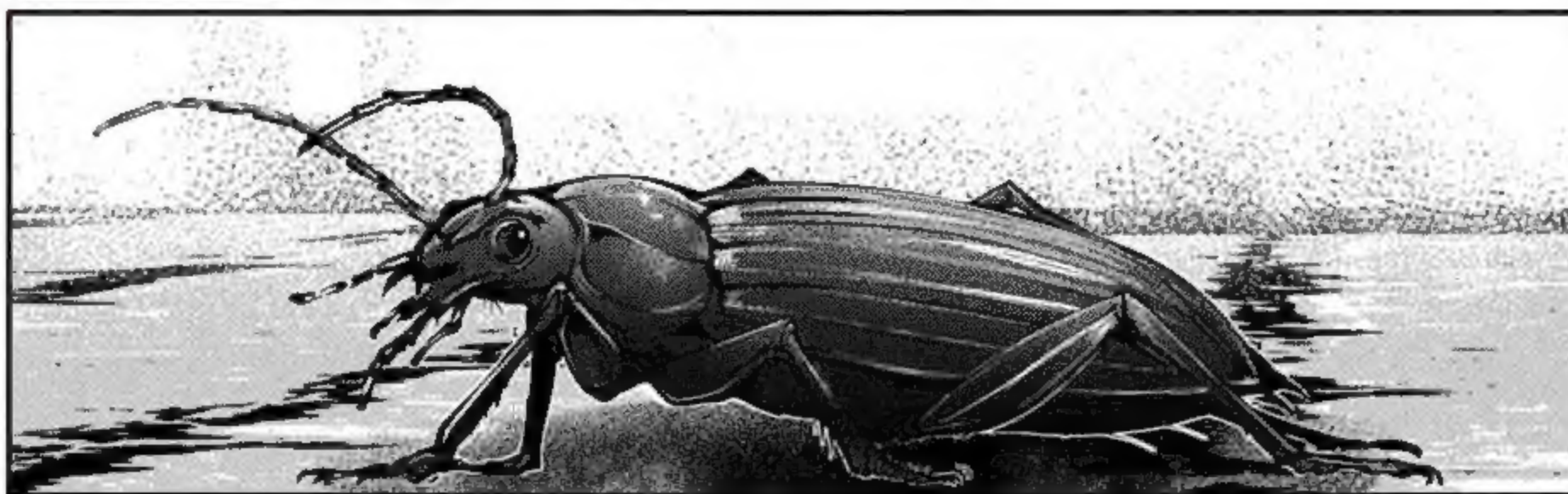
単行本特別収録

NTREVENGE エピソード“関戸” 私達は追い込まれている

154



第6話 言いなり



恨……

私の事……



—  
3週間前

別に難しく  
ないでしょ？

適当に男  
引っ掛けてフォロー  
させりゃいいだけじゃん

でも今週中に  
あと100人なんて……

はあ？  
何甘えてんの？

ちっぽけな数で勘弁  
してあげようってのに……  
その態度はないでしょ

ご……  
ごめんなさい

でも……







桜庭君——  
同じクラスだけど  
特に話した事もない

そんな  
私に……

やだあ

桜庭君！

勘違いしちゃった？  
今度フォトグラに

ドッキリっぽいの  
載せようと思ってて  
その練習だけど？

誤魔化せる訳ないだろ！  
竹内さんの様子が  
おかしいと思ってた……













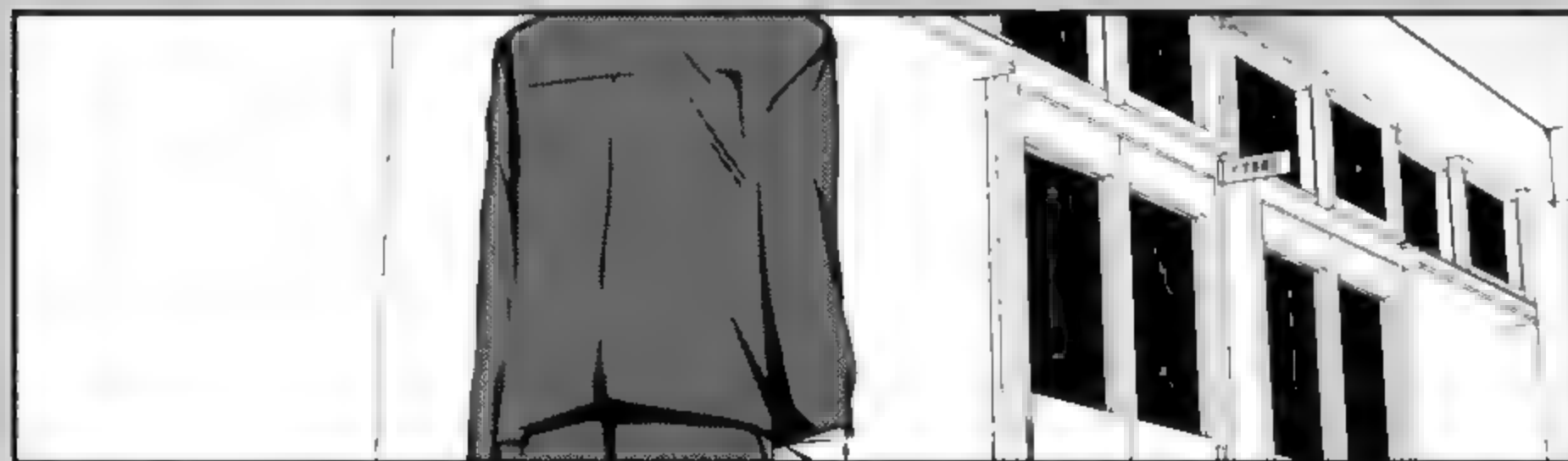
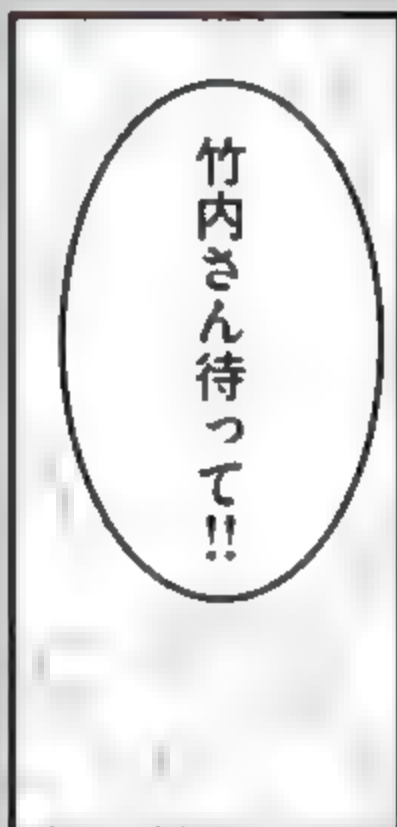


























竹内さん!?

ごめん  
ごめん













ね

違う

井上先生は虐められてる  
私を気にかけてくれたのに

私はそんな先生を  
罫に嵌める  
片棒を担いでしまった



今後

私達に  
楯突いたら――



そして  
今もまた……

ここまで言っても  
分かんないほど  
バカじゃないと思うけど

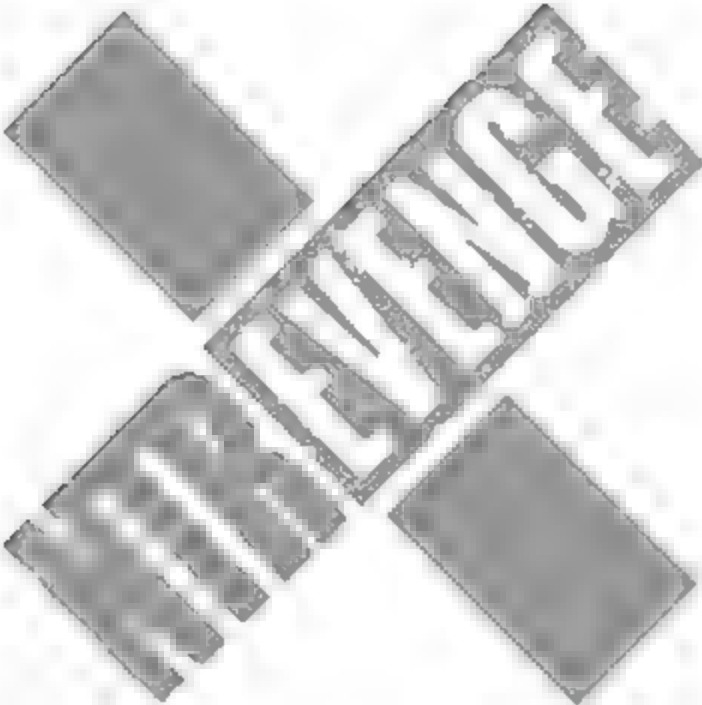








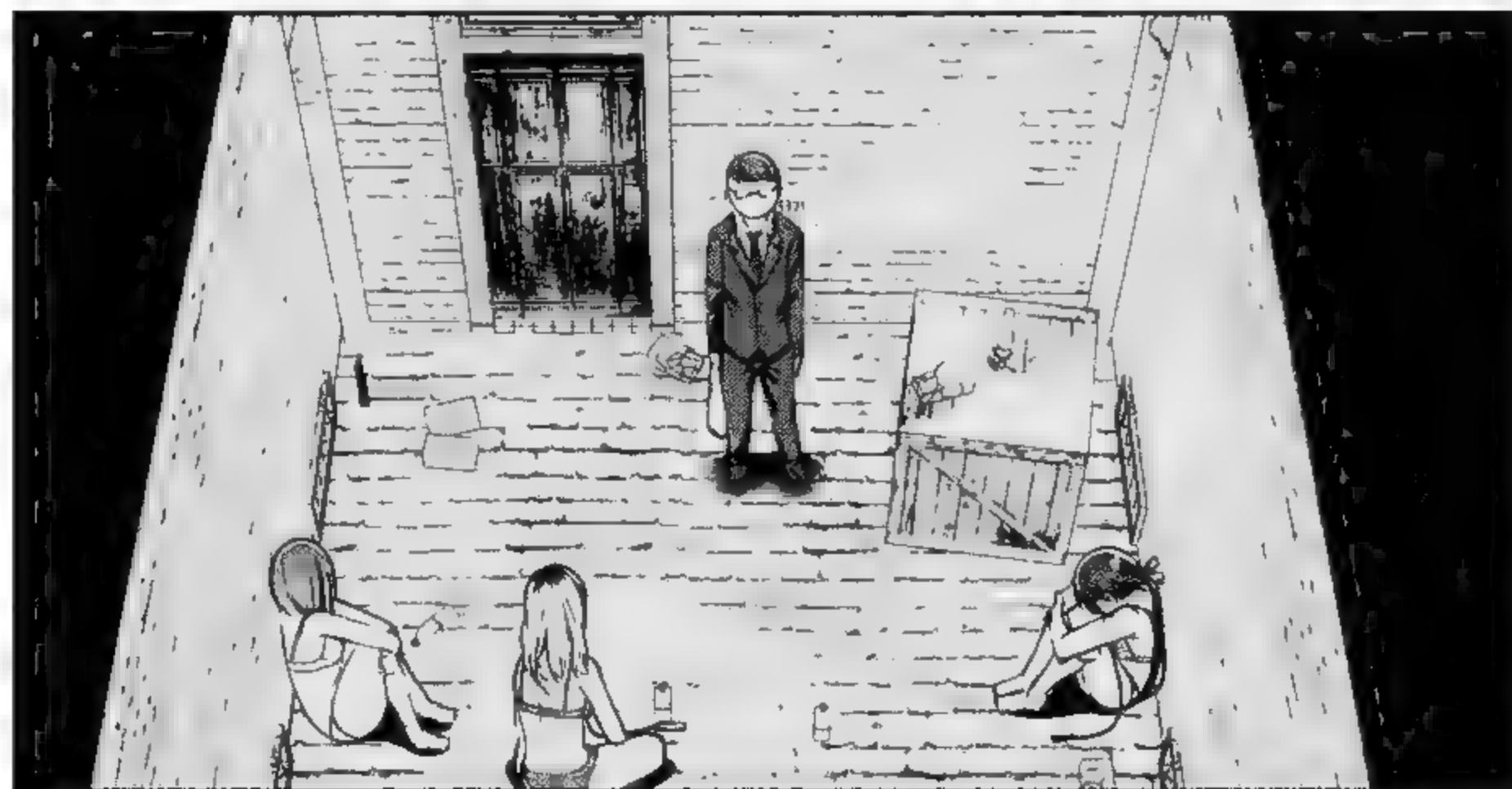
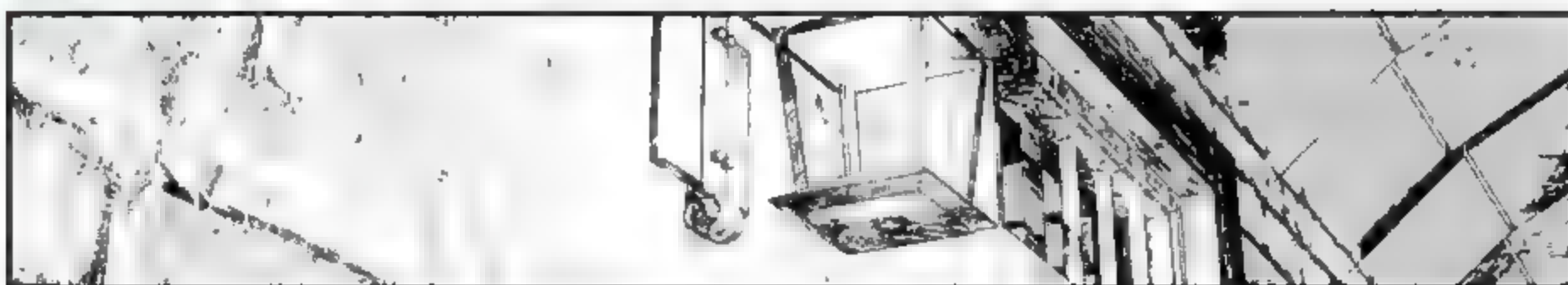






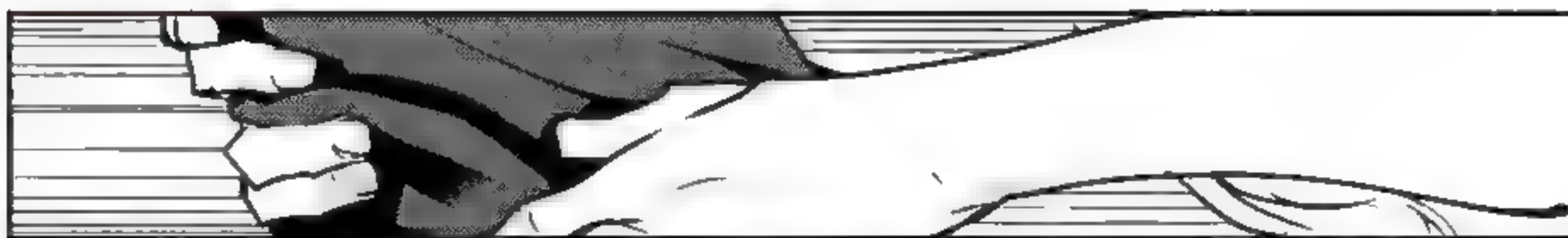
第7話

悠木昌隆という男

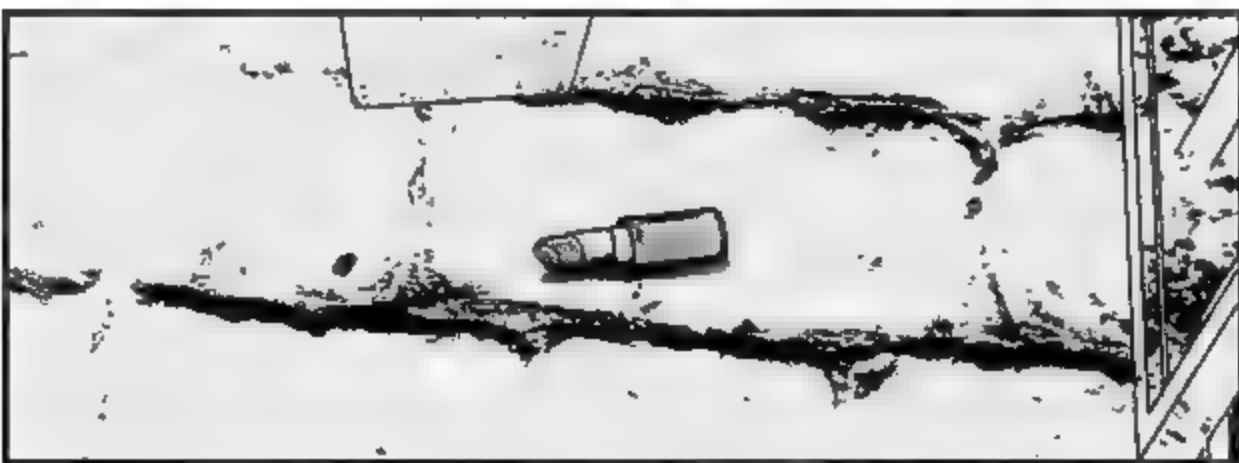
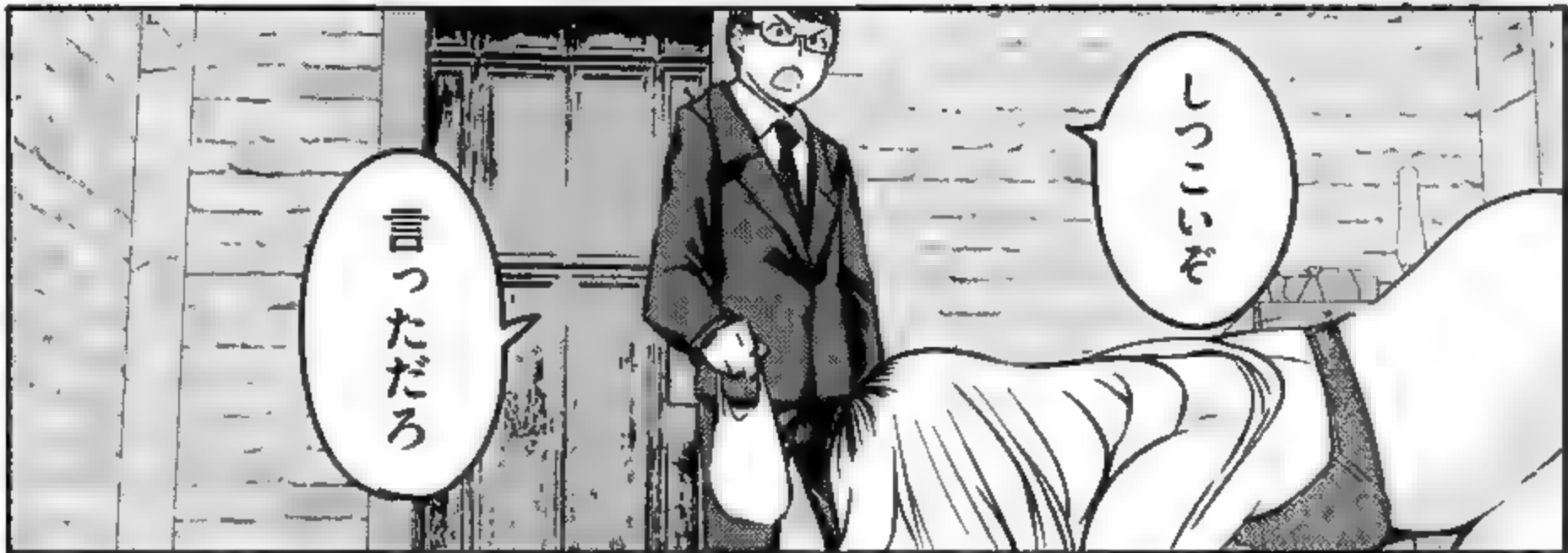


ほら……  
今日の餌だ

















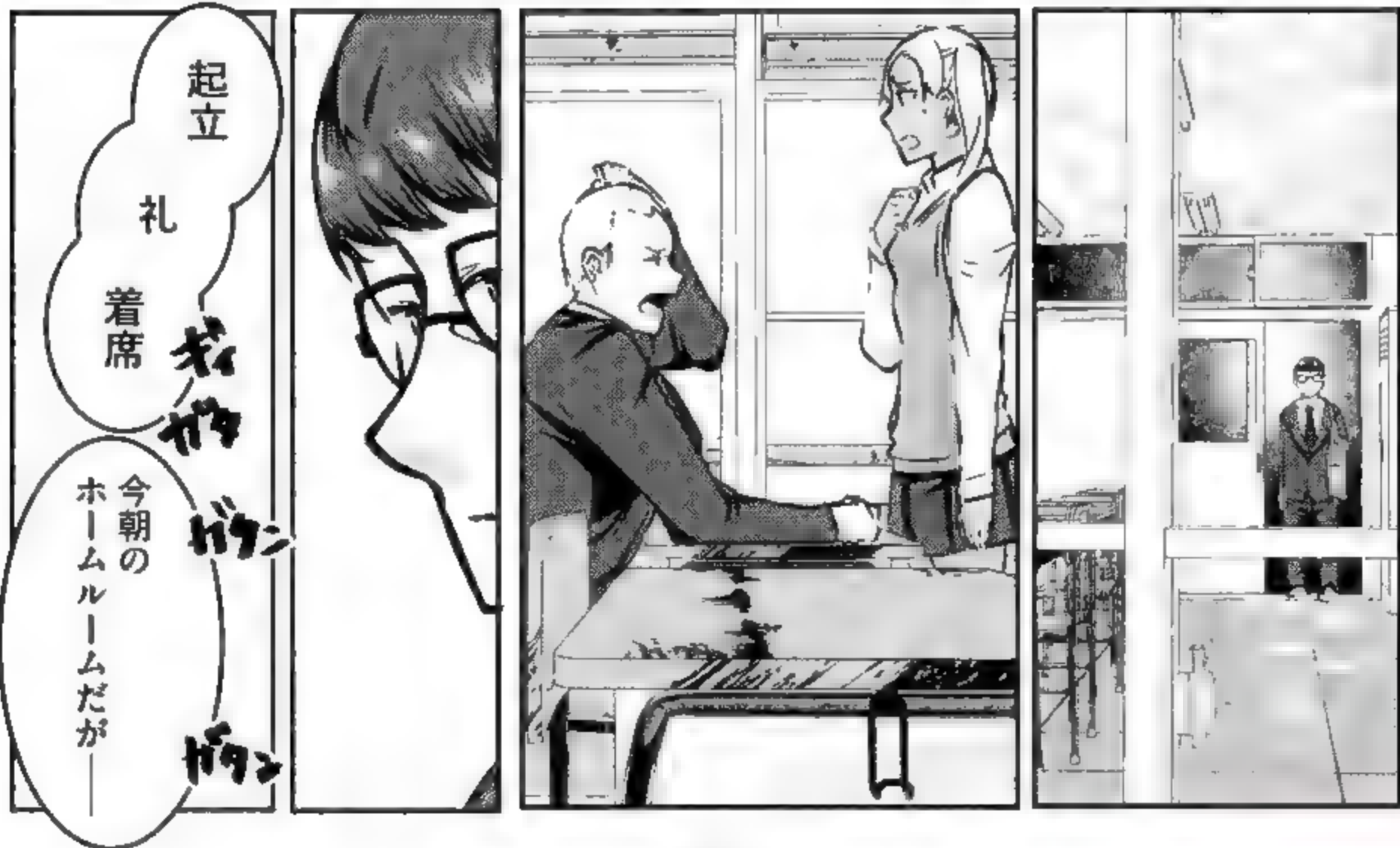
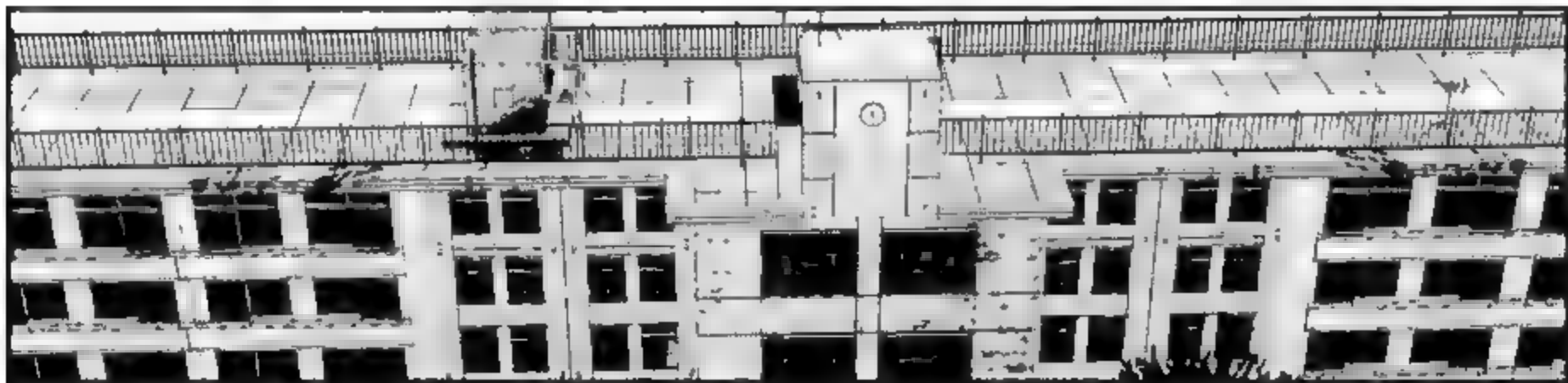
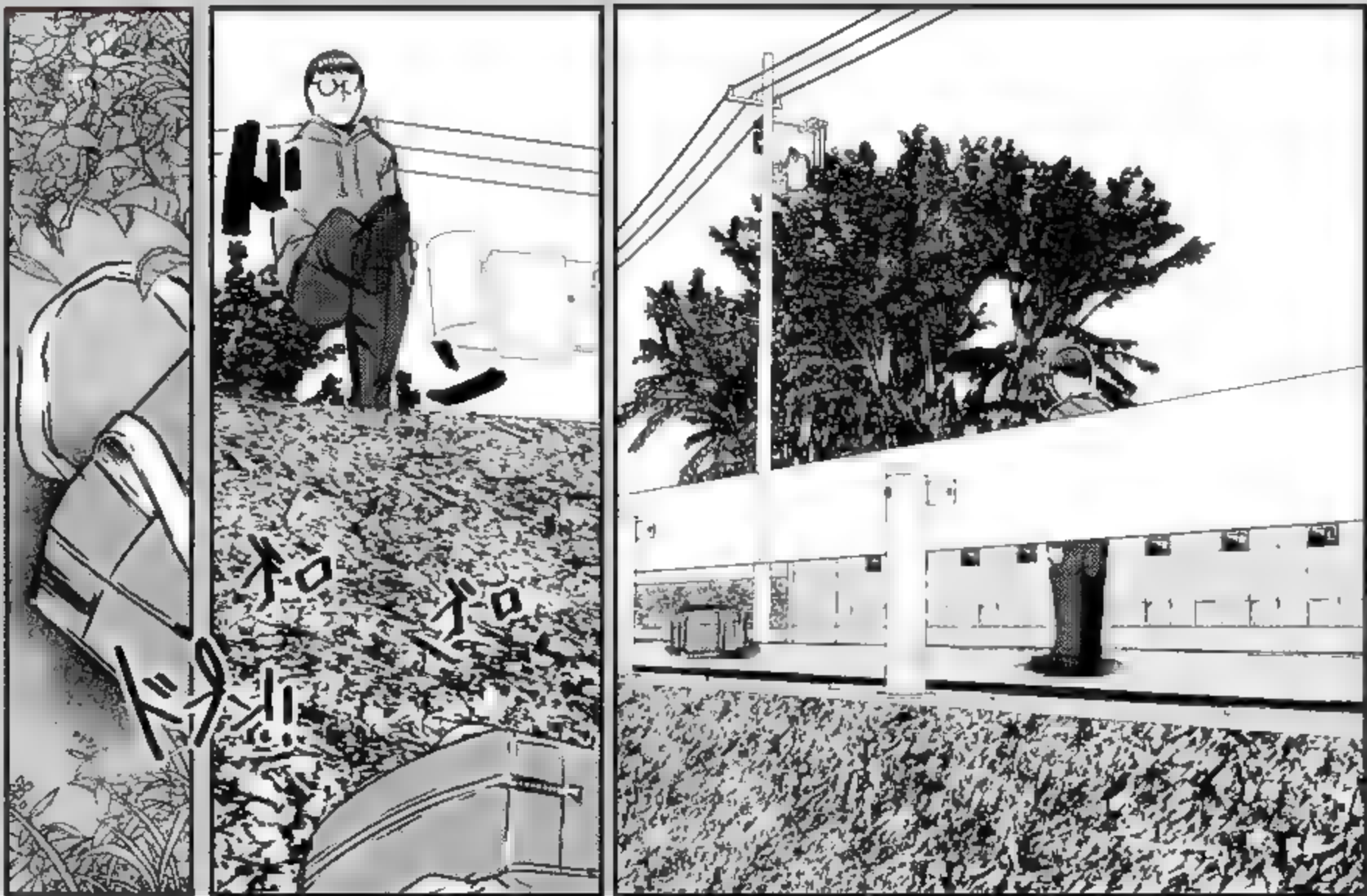


はっ！  
そんなんで  
弱みでも握った  
つもりだったか？

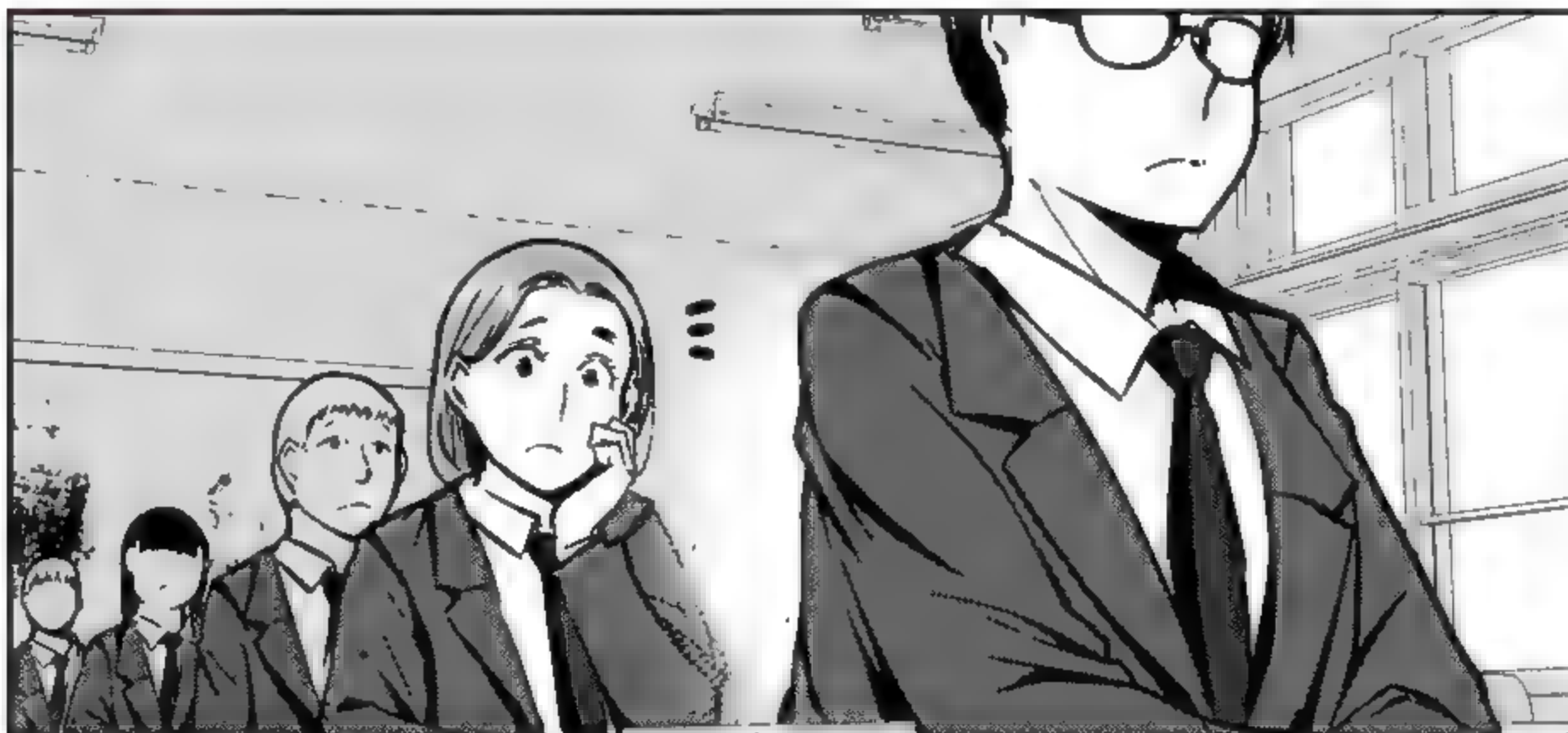
跳べ  
関戸千秋

死んどけ  
ボケが！











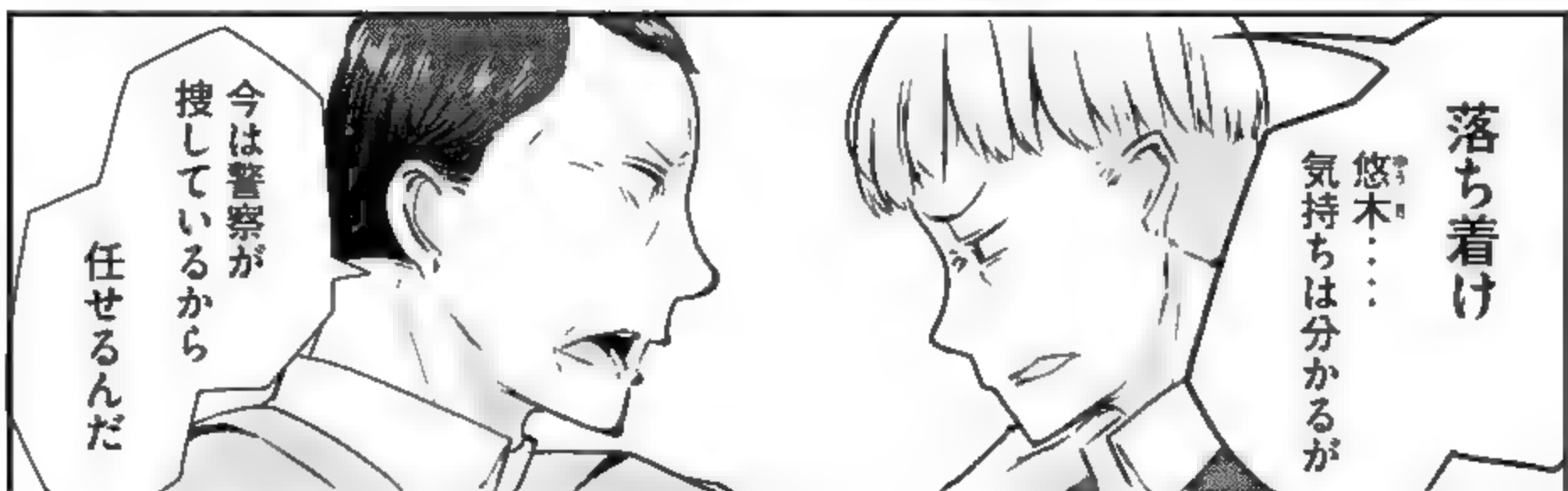
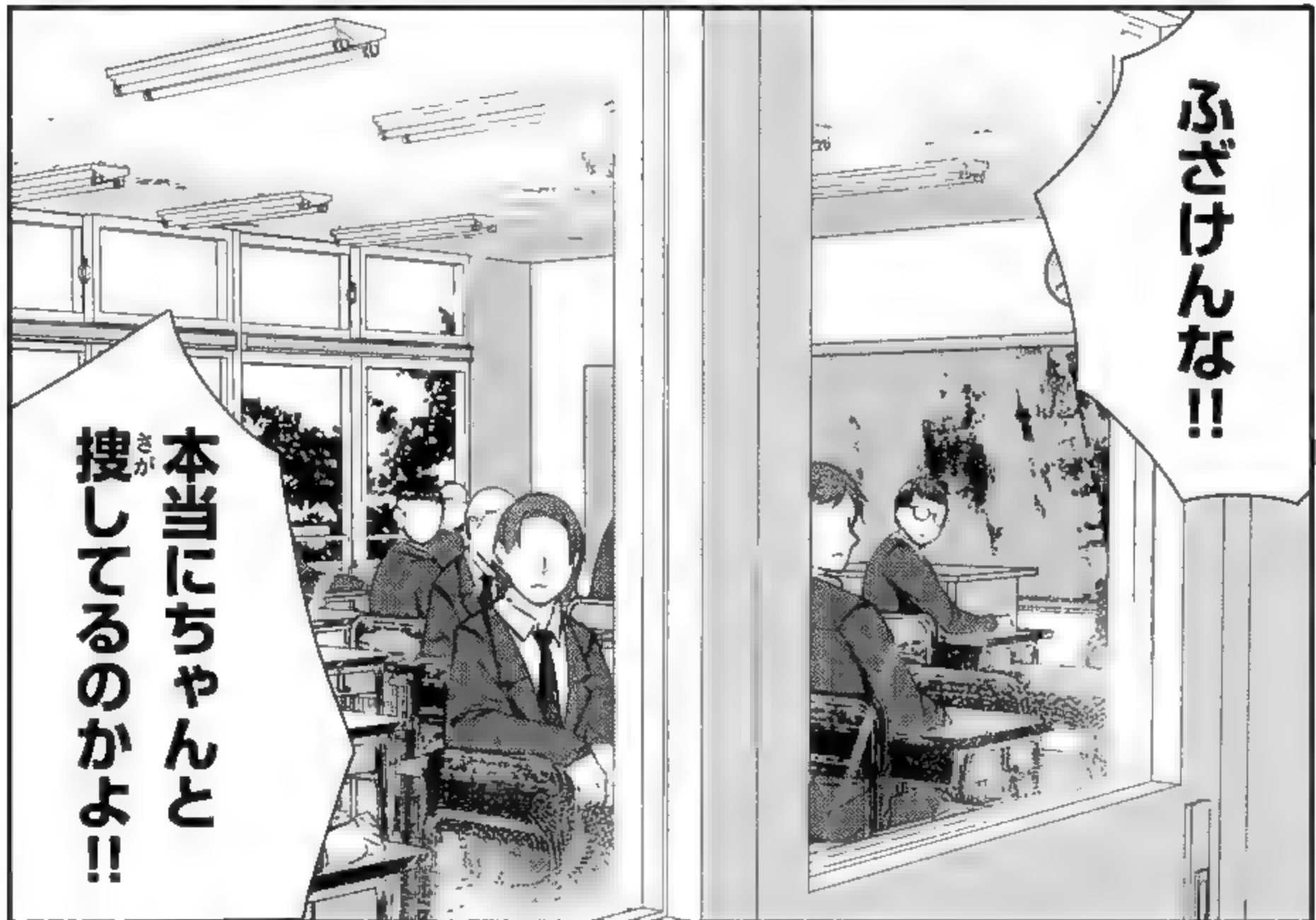
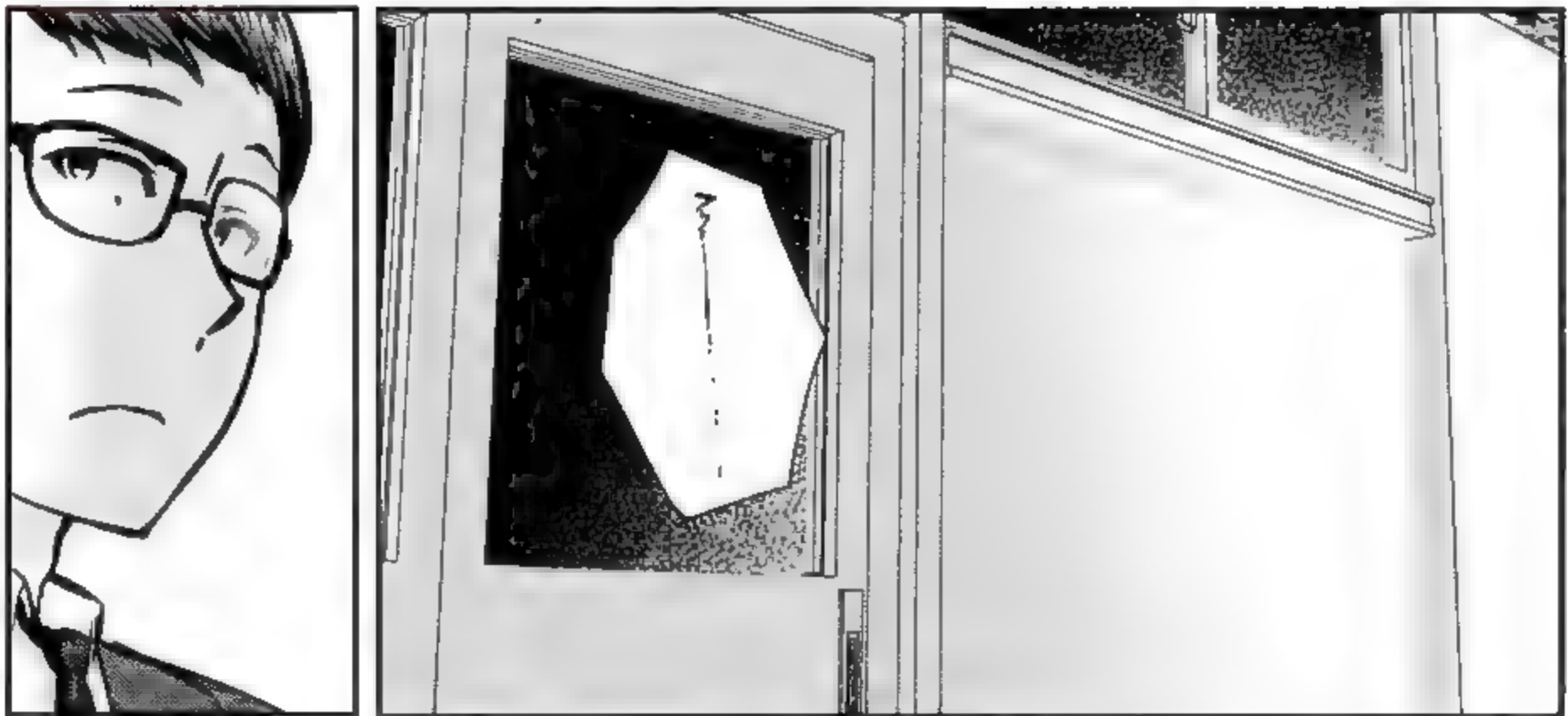
先程  
名前を呼ばれた人は  
昼休みに生徒指導室に  
来るように

じゃあ……  
ホームルームは以上です

せ……  
先生え

ちょっと  
待ってください！











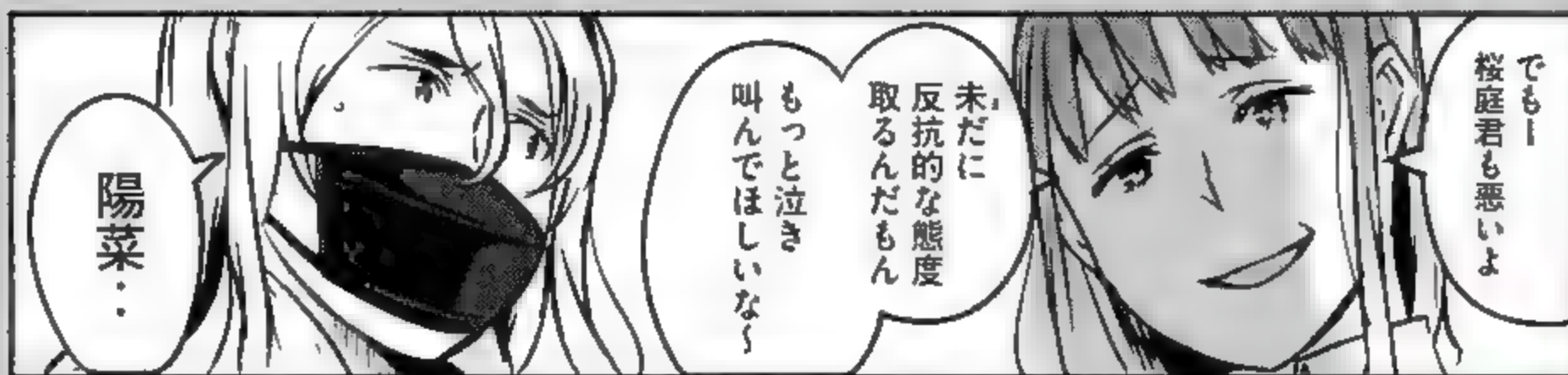
昌隆!!  
いぞ  
またか







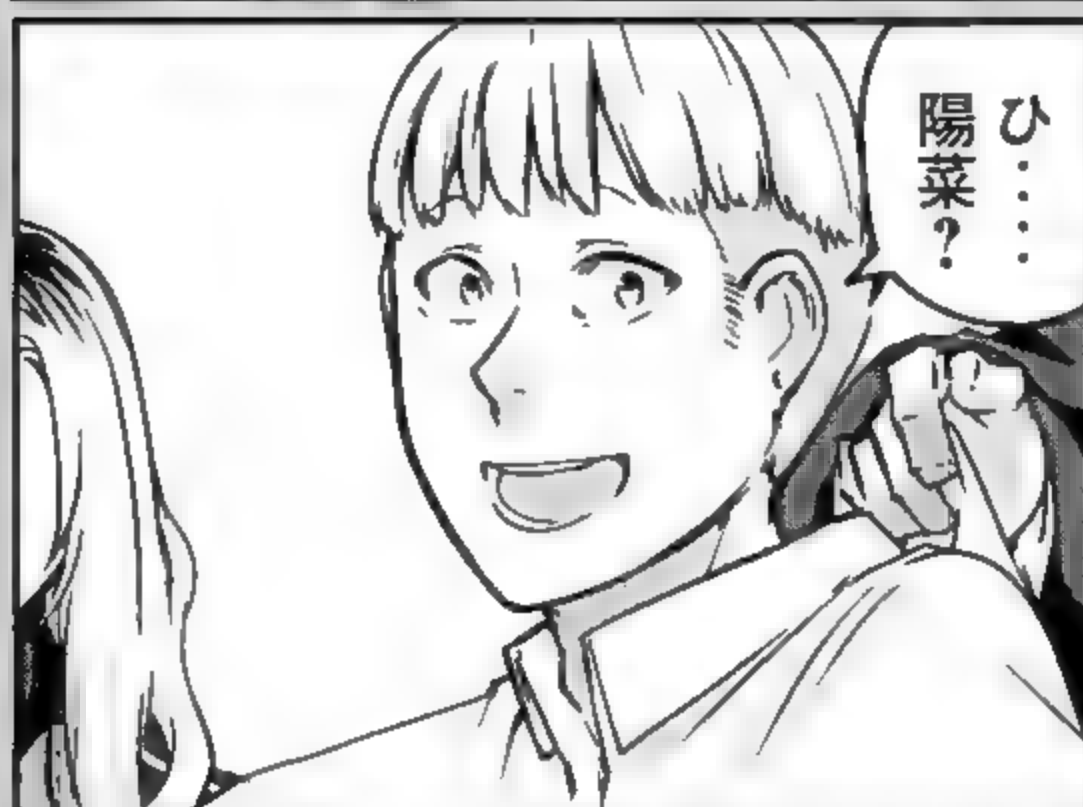




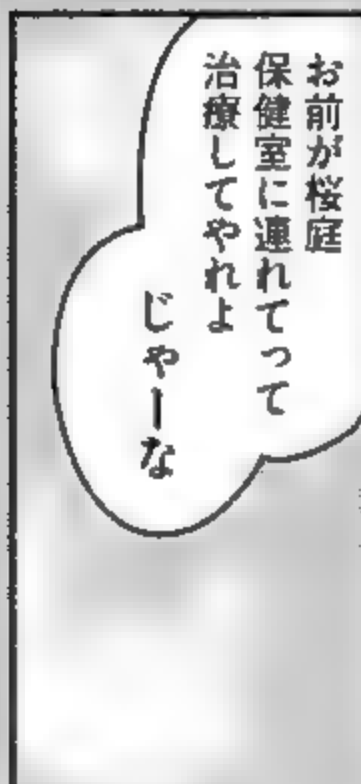




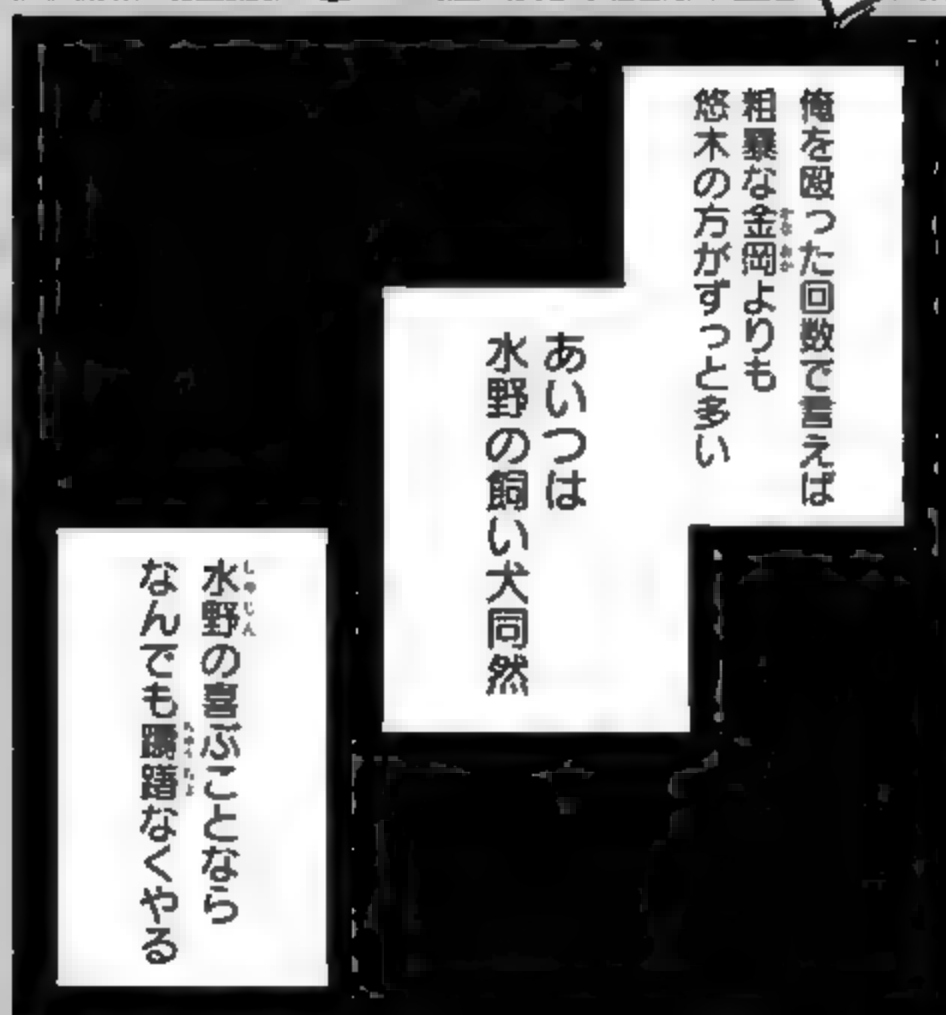








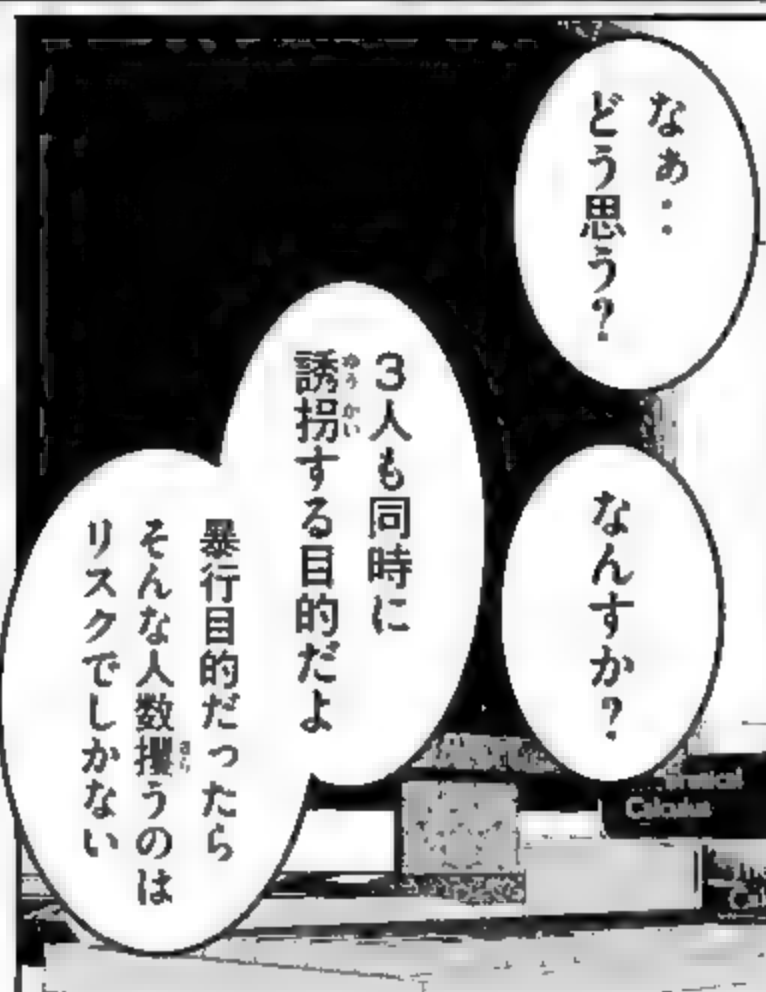
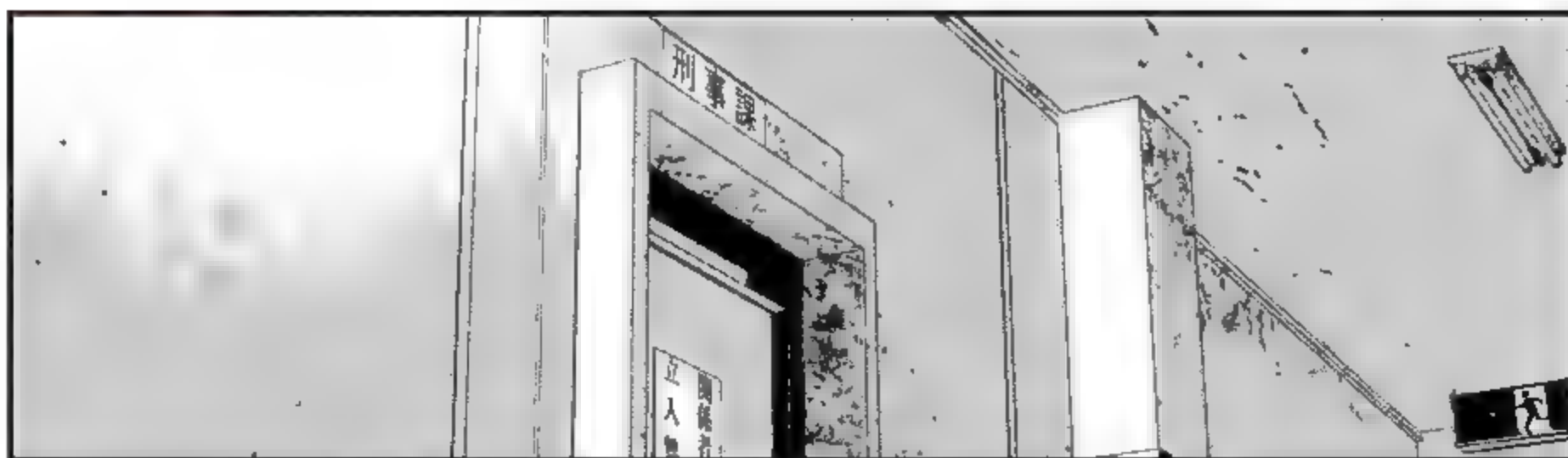














話を聞いた学生達は特に失踪したうちの1人水野陽菜について聞くと

不自然なくらい同じ話をするか黙り込んだらしいじゃねえか

口裏合わせ？  
なんのために

彼女が失踪に何かしら関係しているのか

行方不明者届出書 5月	
氏名	水野 陽菜
年齢	17
職業	
住居	
行方不明	

10分に学校に登

俺の勘だが今回の事件犯人の動機は――

18

行方不明者届出書 5月	
氏名	関戸 千秋
年齢	17
職業	
住居	
行方不明	

当日は

宅しま

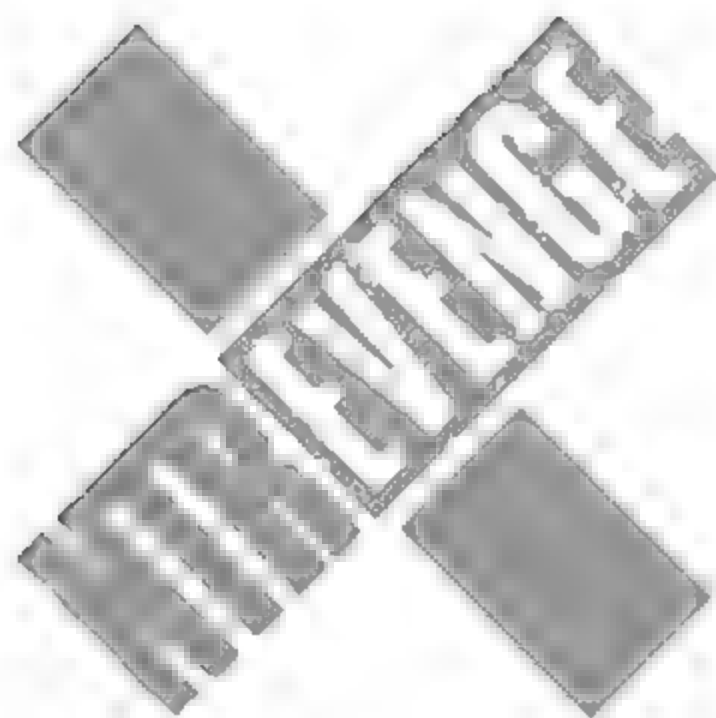


怨恨だ……

供述調書 5月	
氏名	桜庭 宗一
年齢	17
職業	
住居	
調書内容	

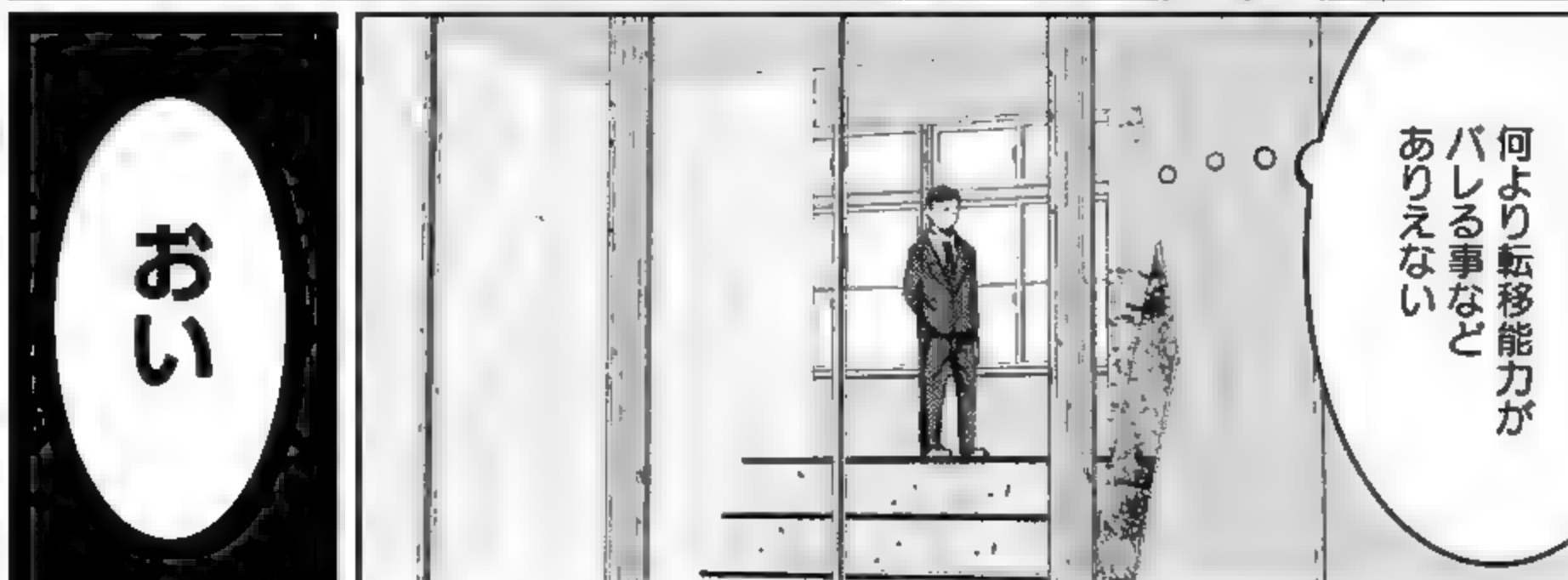
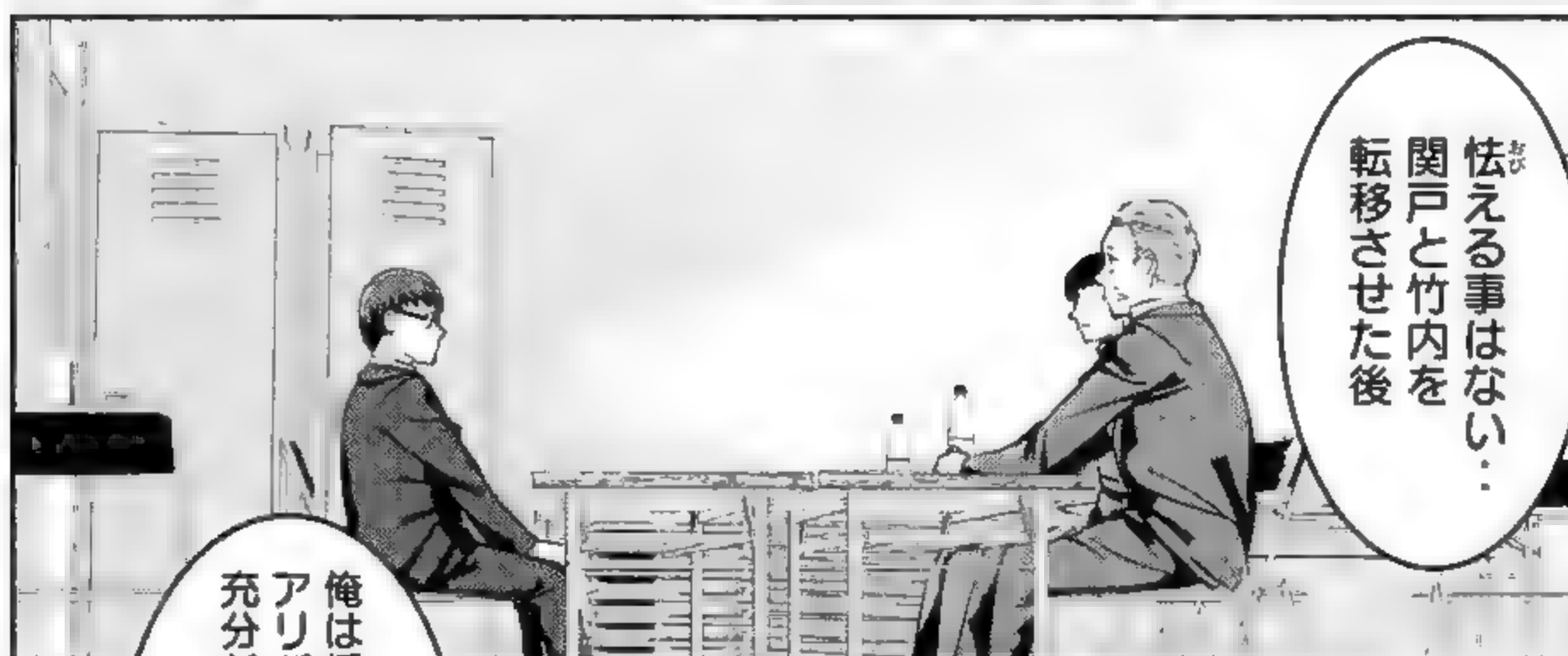
おぼどの





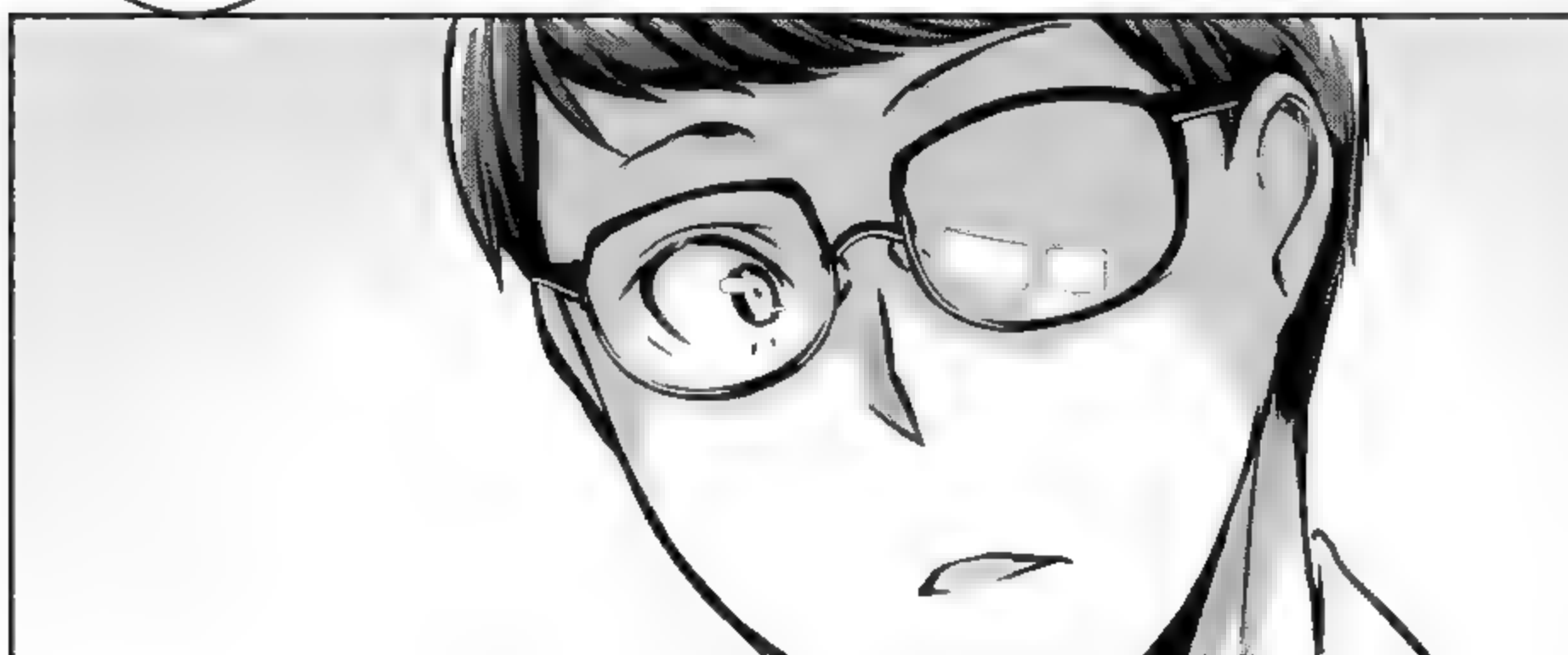




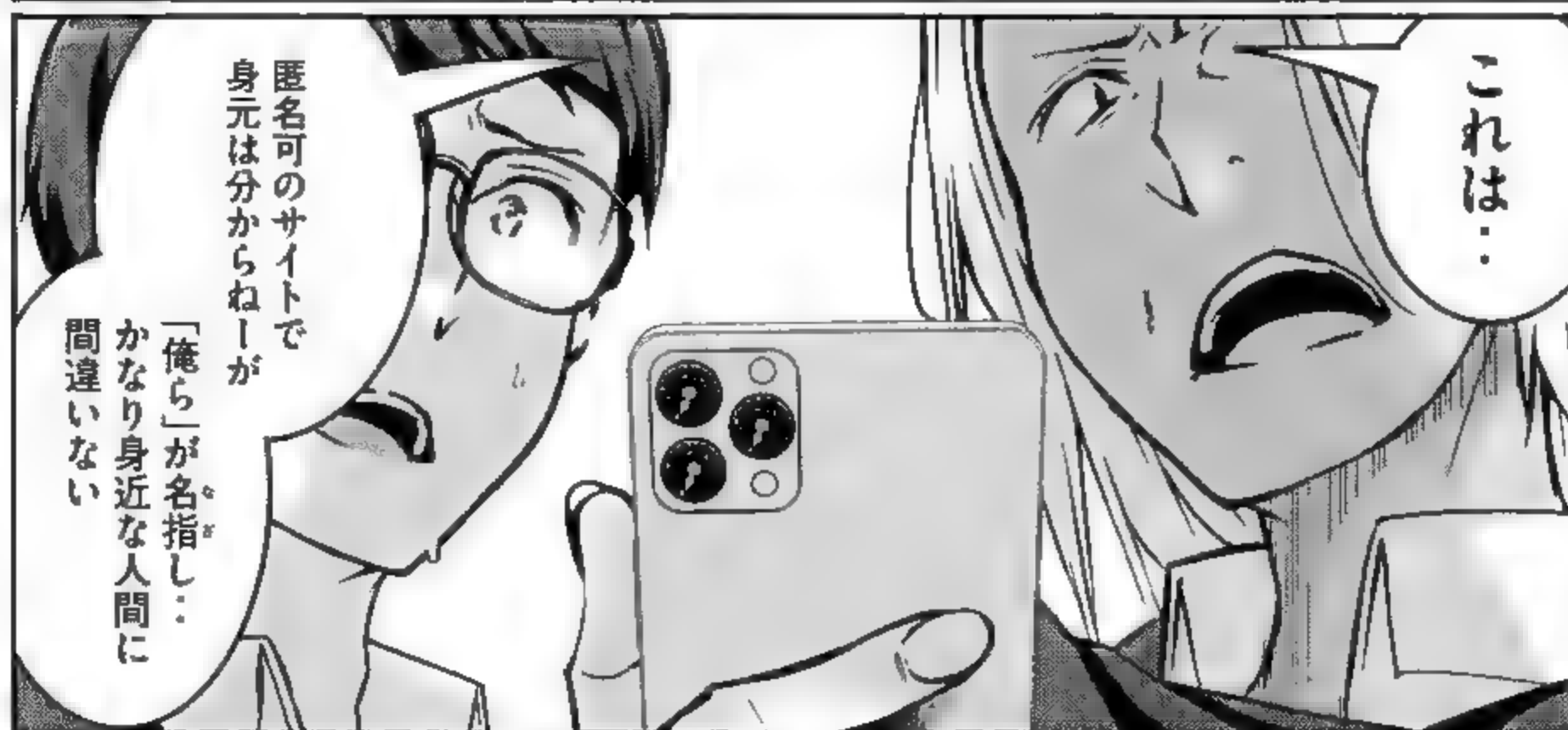
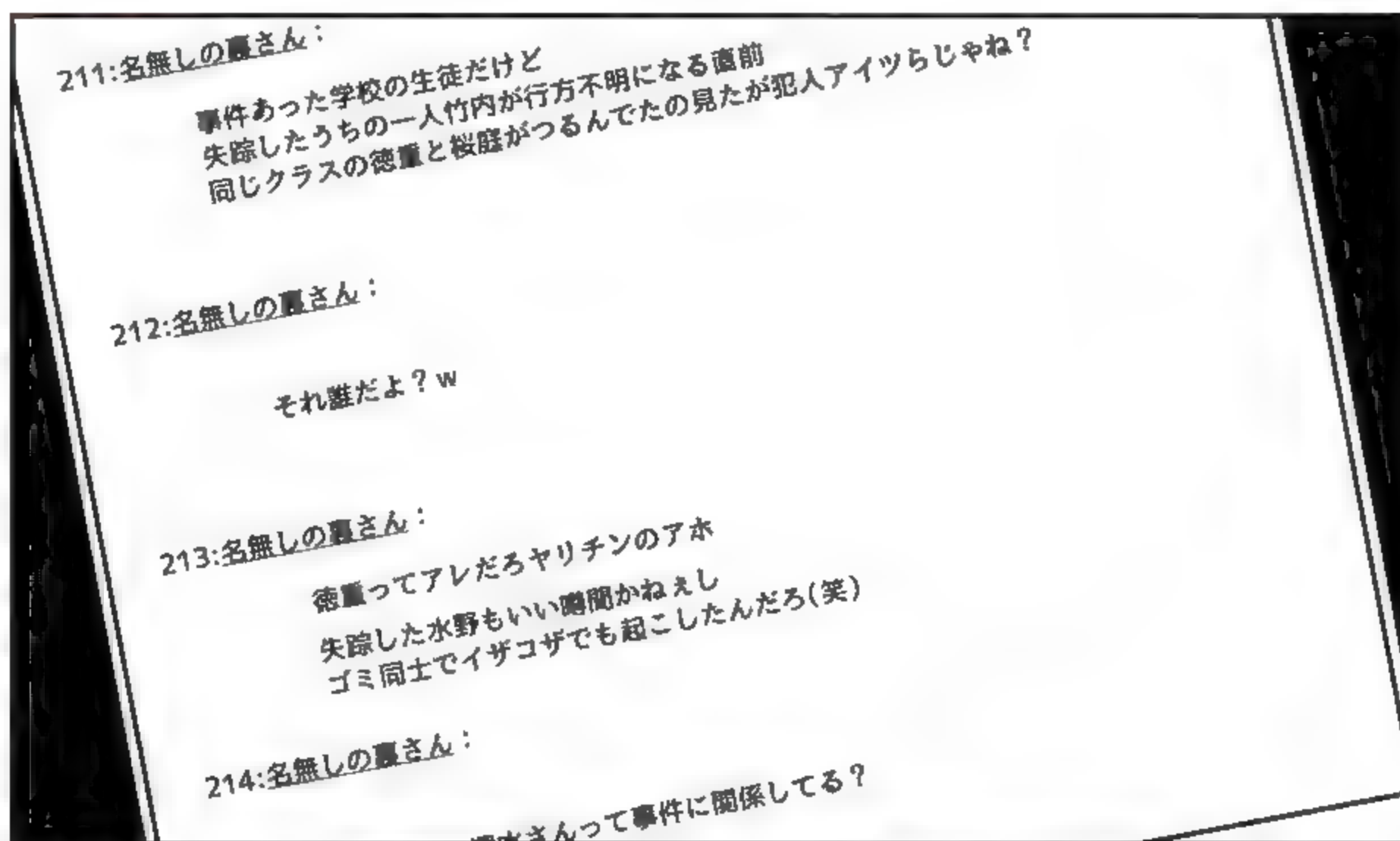






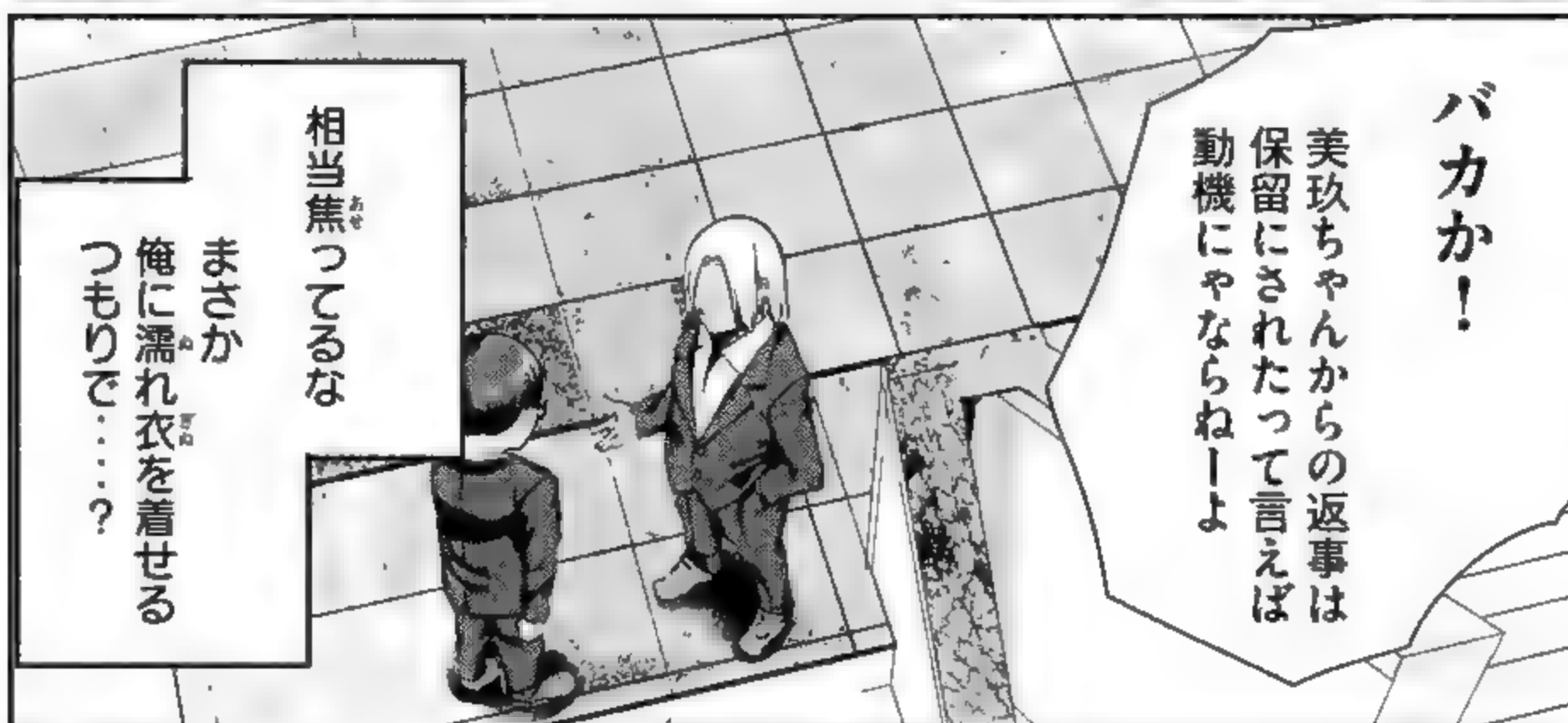


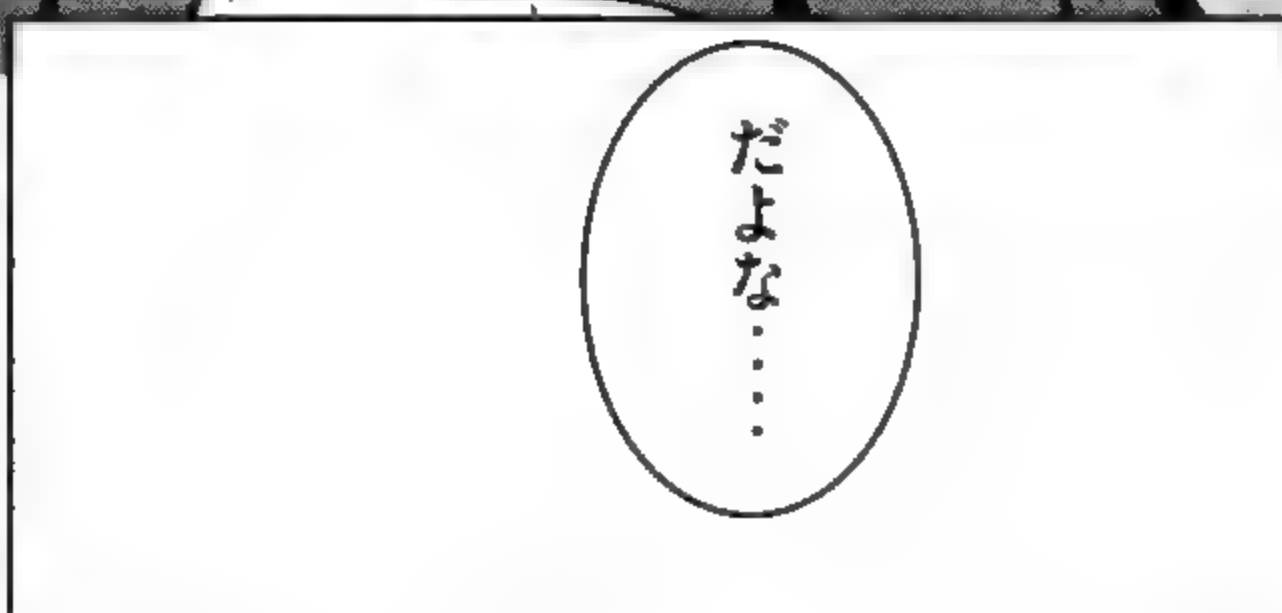
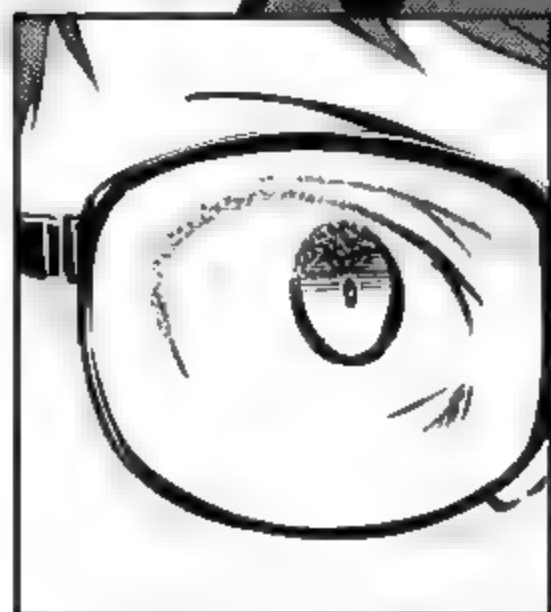
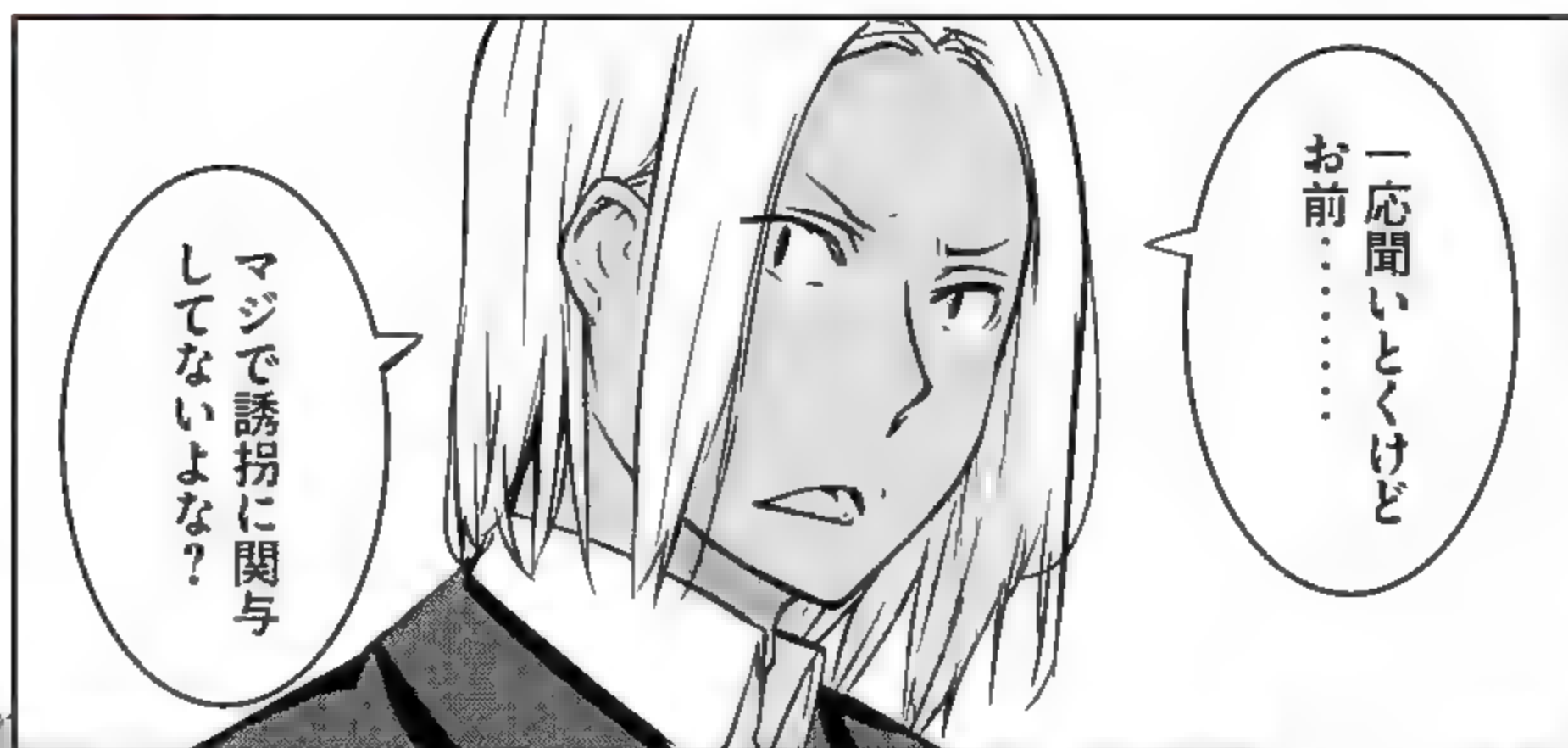










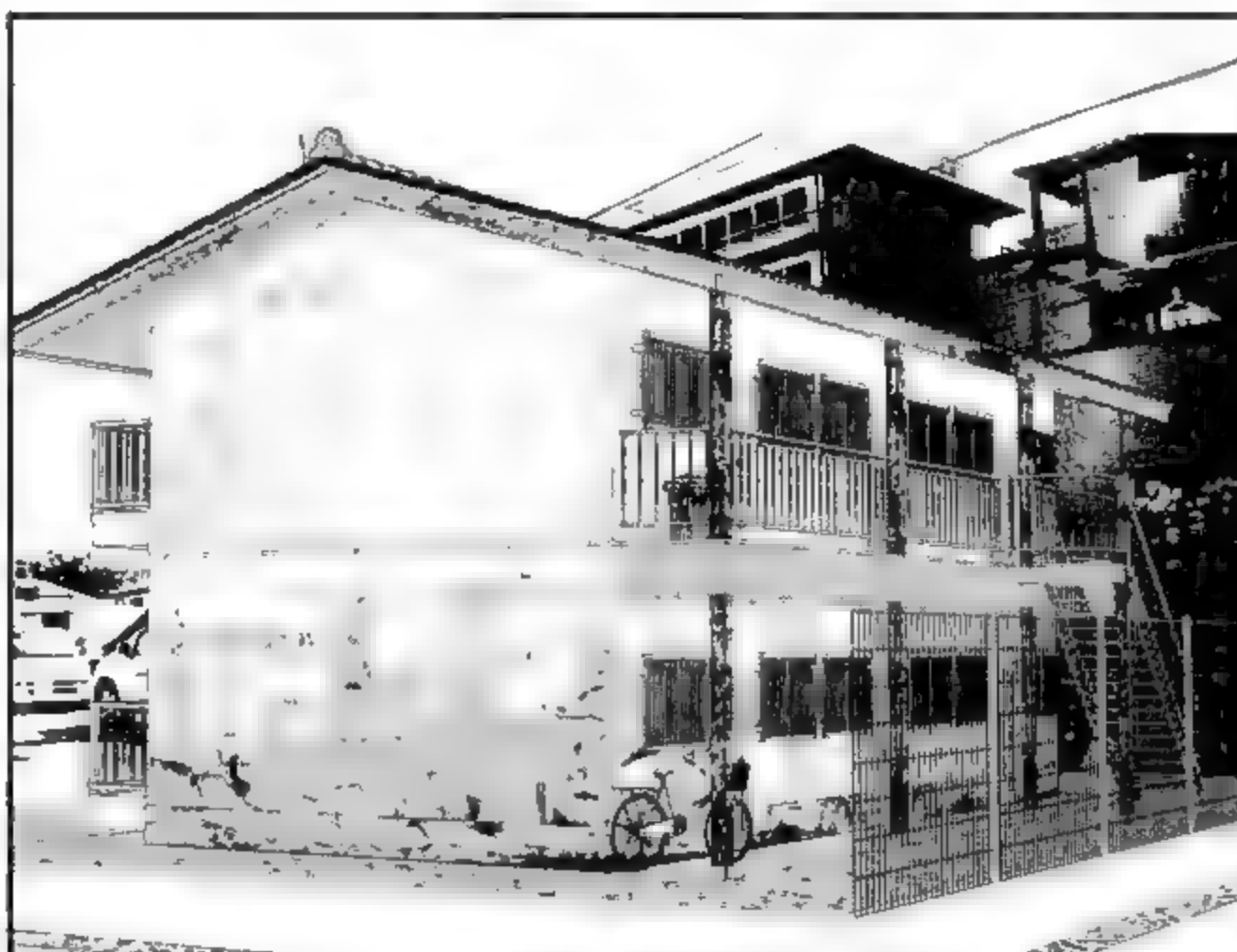
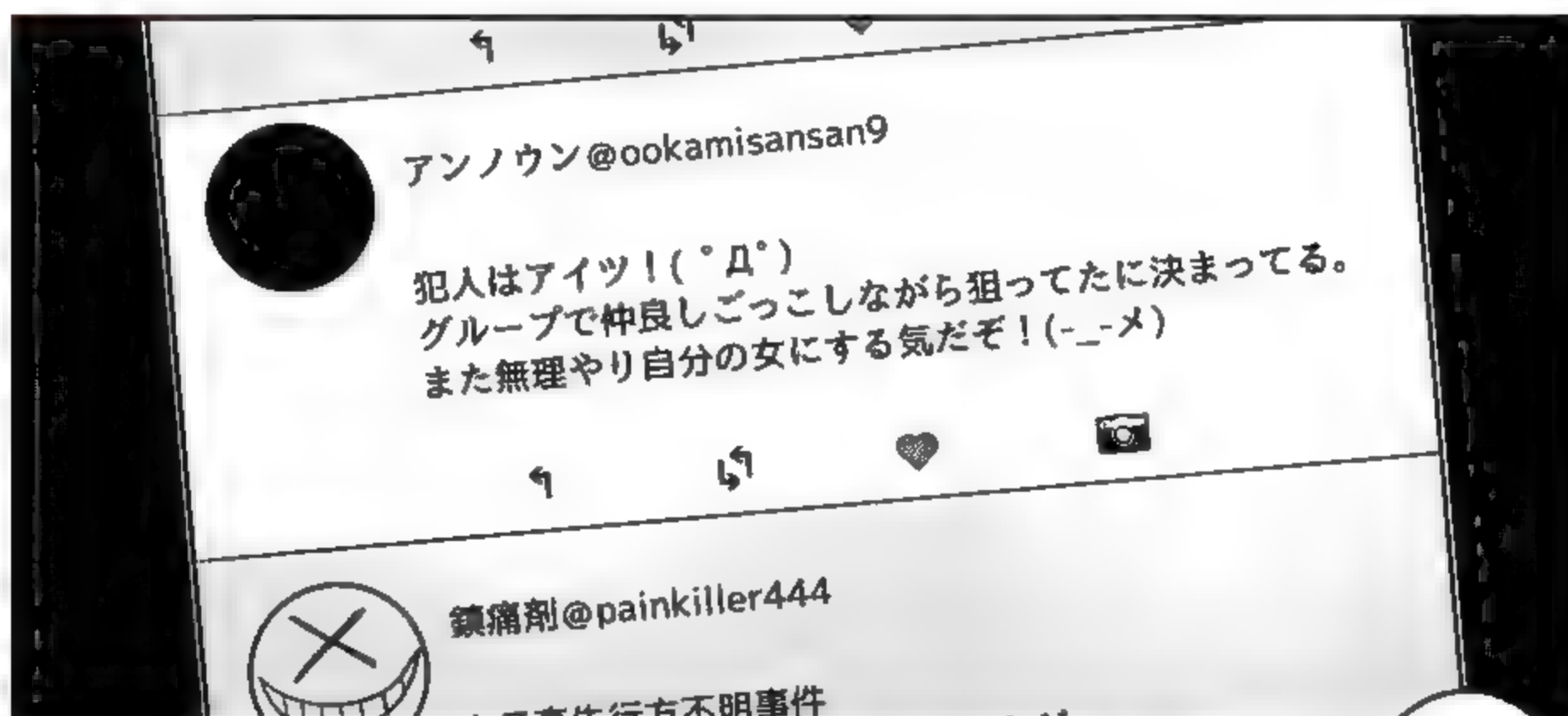






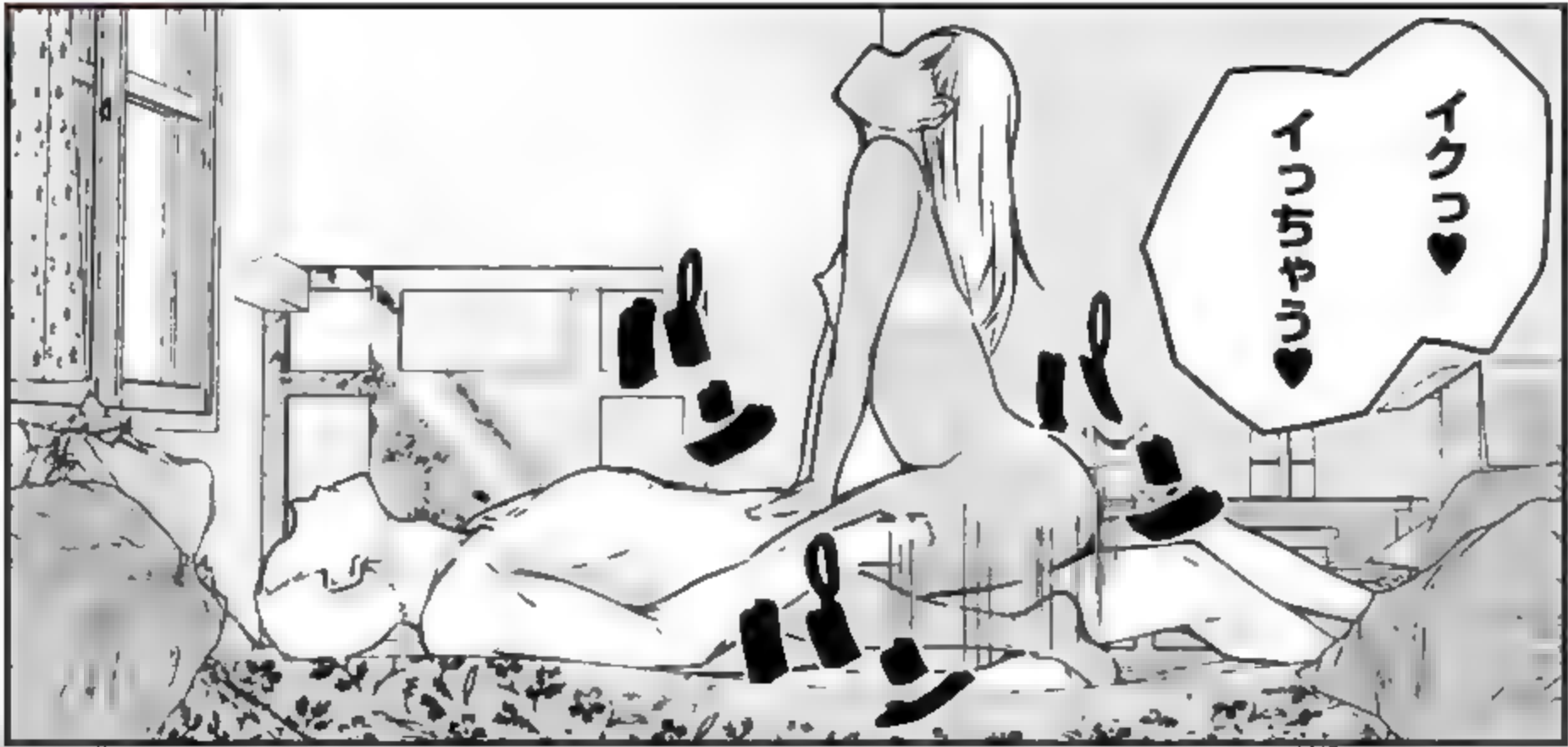






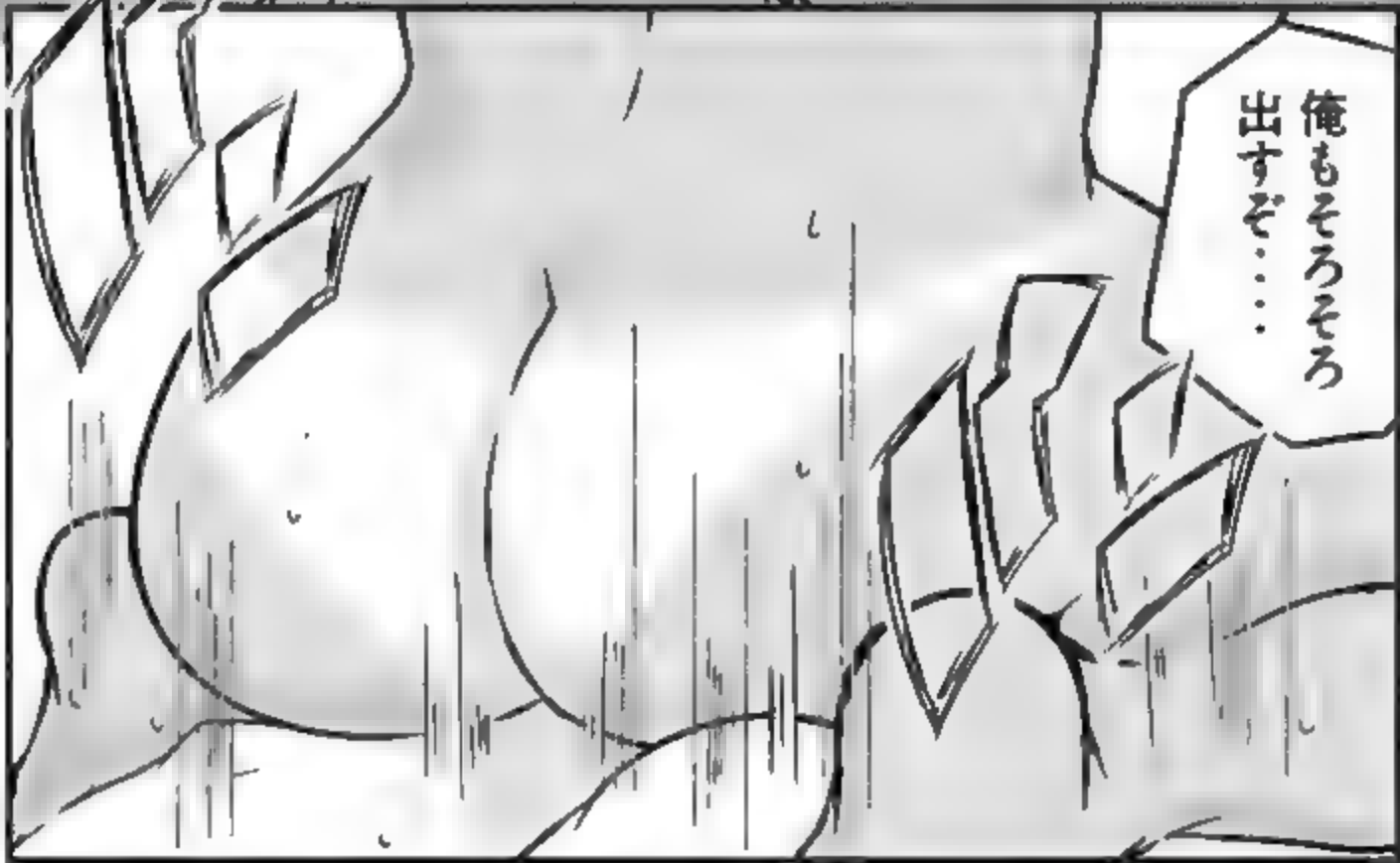


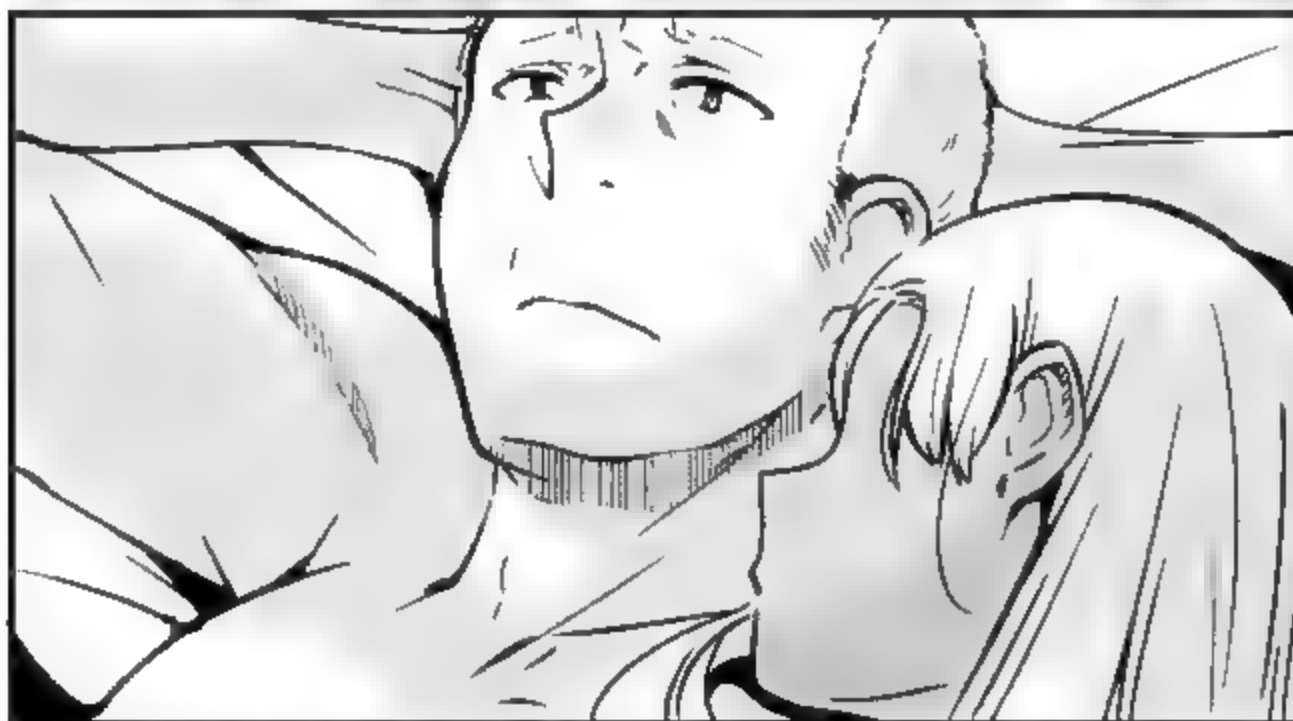




アッ♡

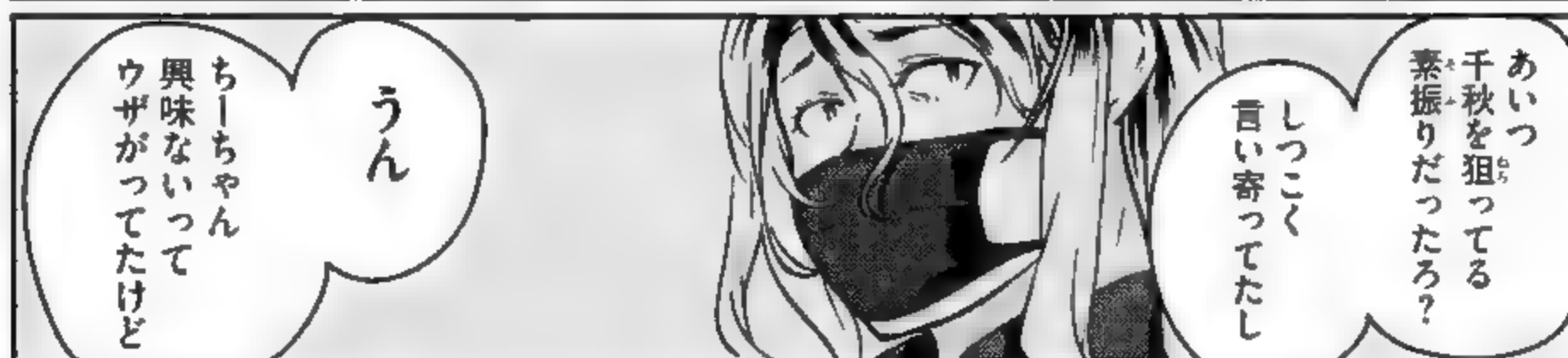
アッ♡





なあ  
瑞穂<sup>みずほ</sup>







分かった

拓馬がそう言うんなら……  
でもいざとなったら守って  
くれるんでしょ？

もちろん……お前は  
誰にも渡しやしねえ





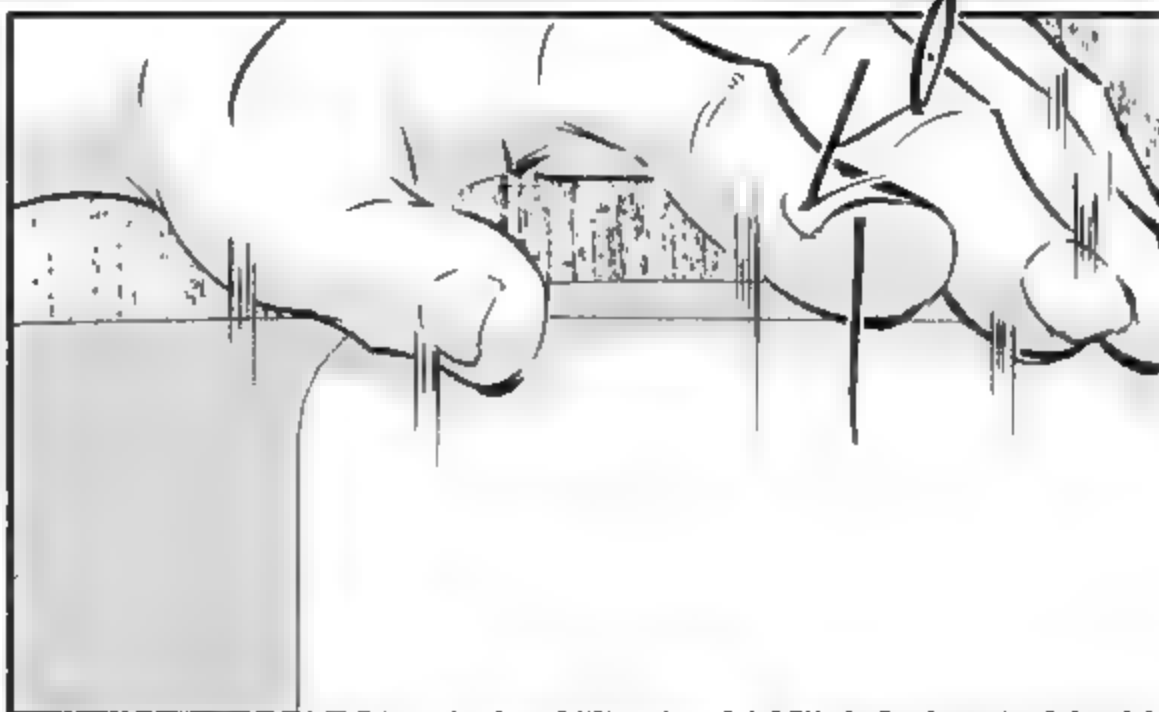
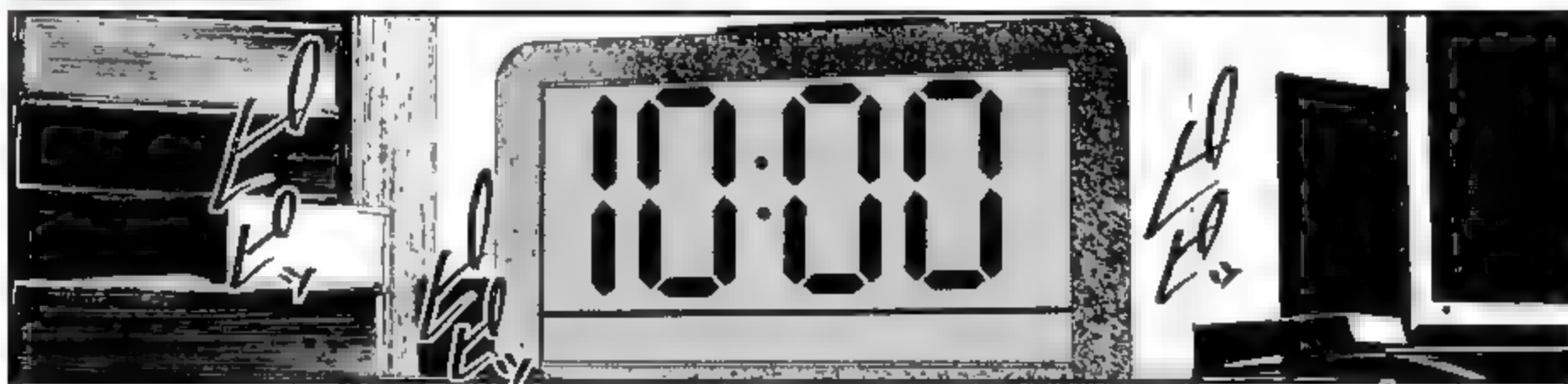






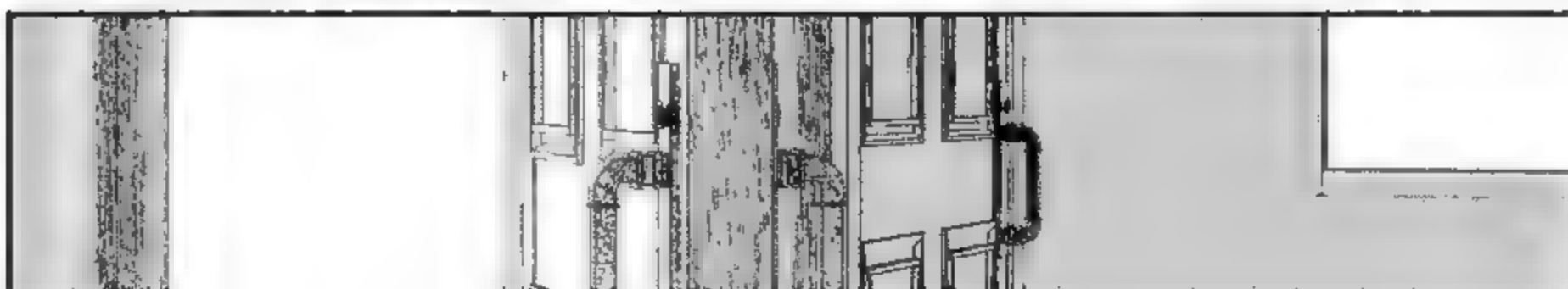
## 第9話

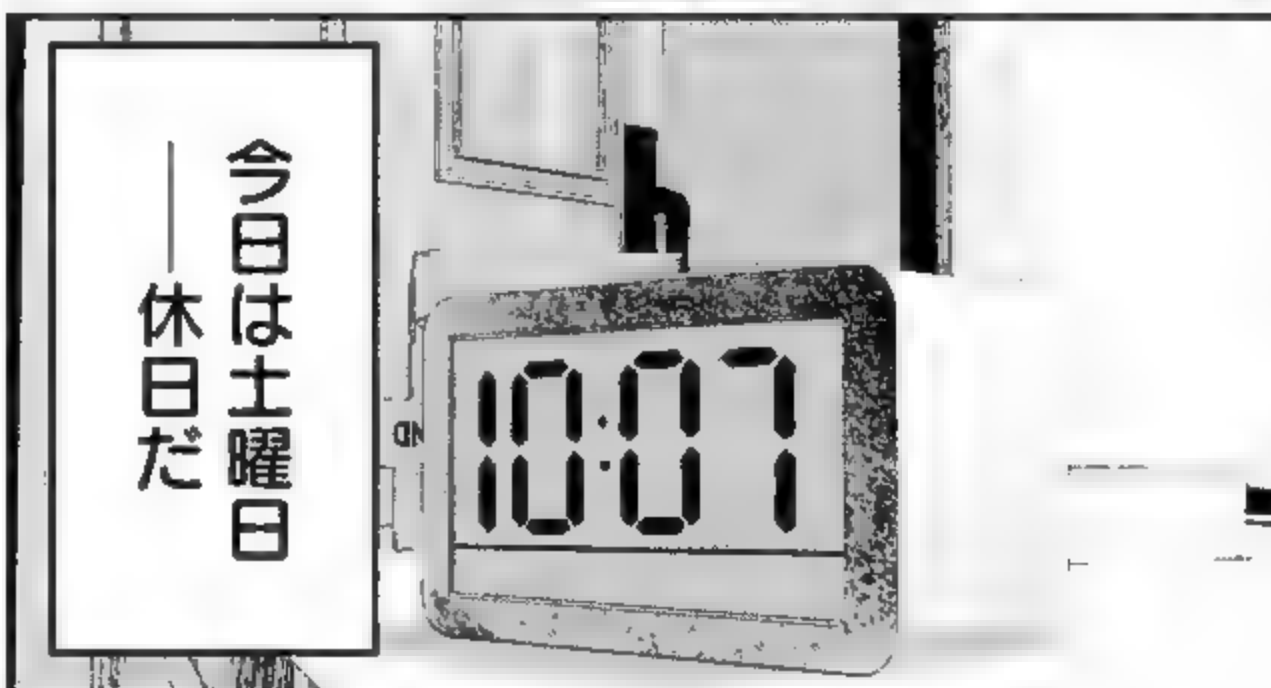
## 阿諛迎合



なななな…  
何やってんだよ!!

…何って…  
寝ていただけ  
ですわあ…









じゃあ・行って  
らっしやいまし























竹内さん...







桜庭君の凄いやあ...

大っきくて...  
遅しい...

こういうセリフも  
徳重に仕込まれて...?









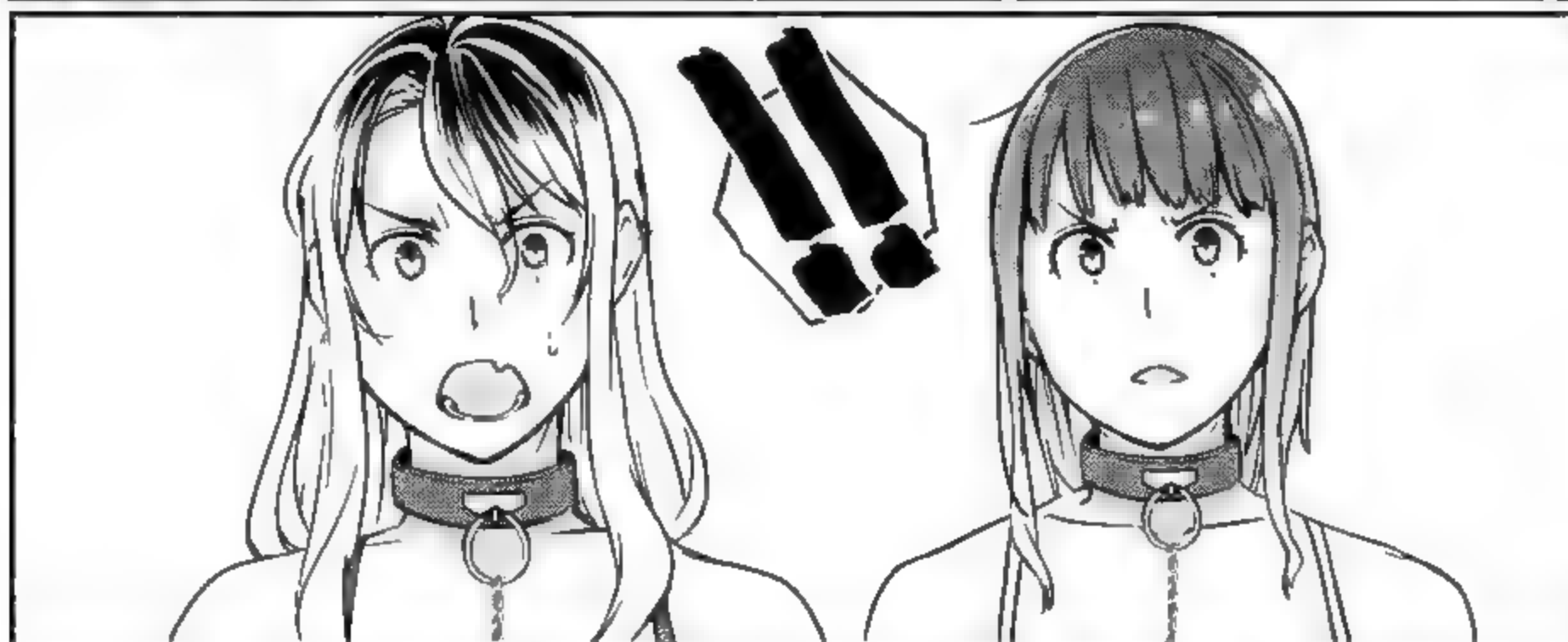






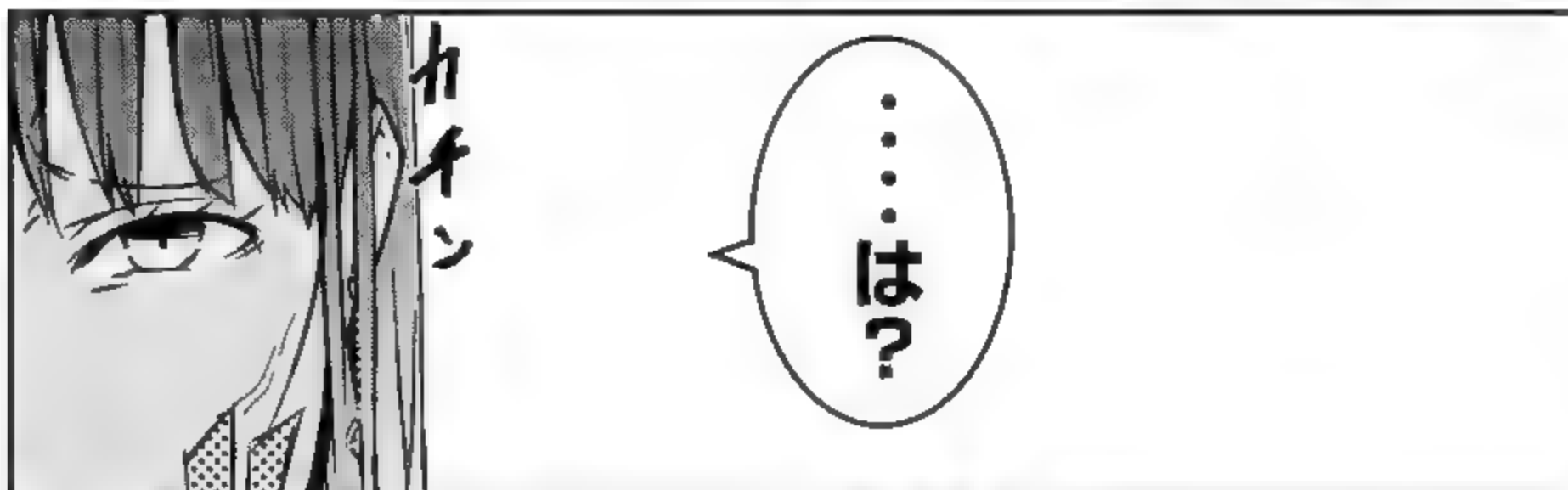


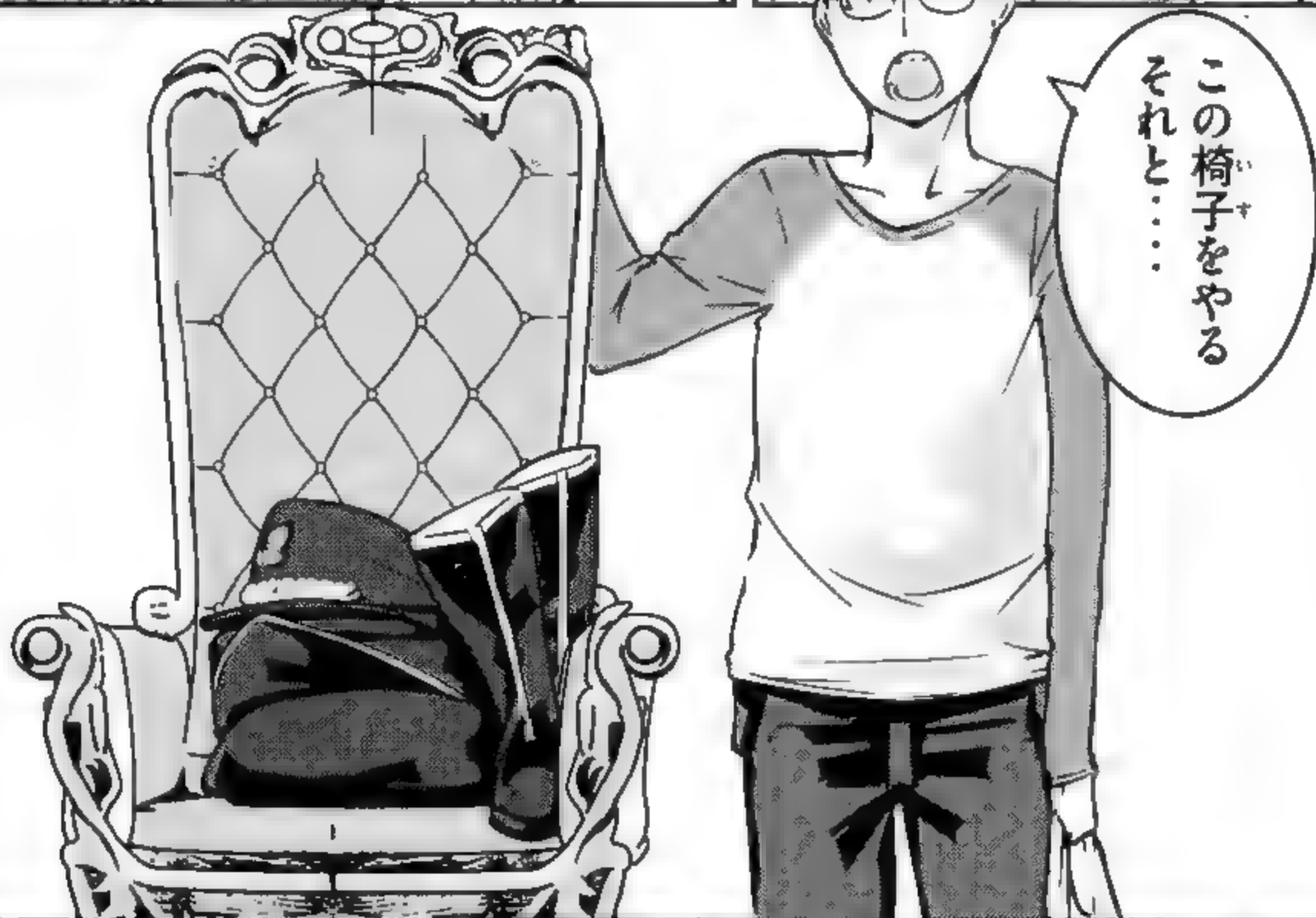




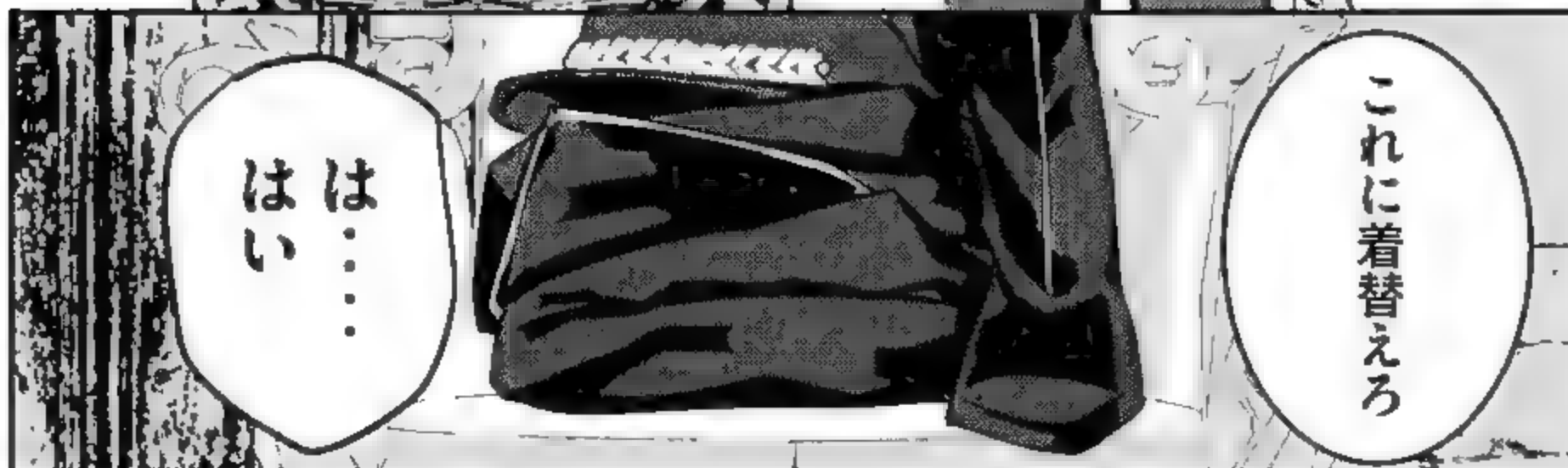








この椅子をやる  
それと……



はい……

これに着替えろ

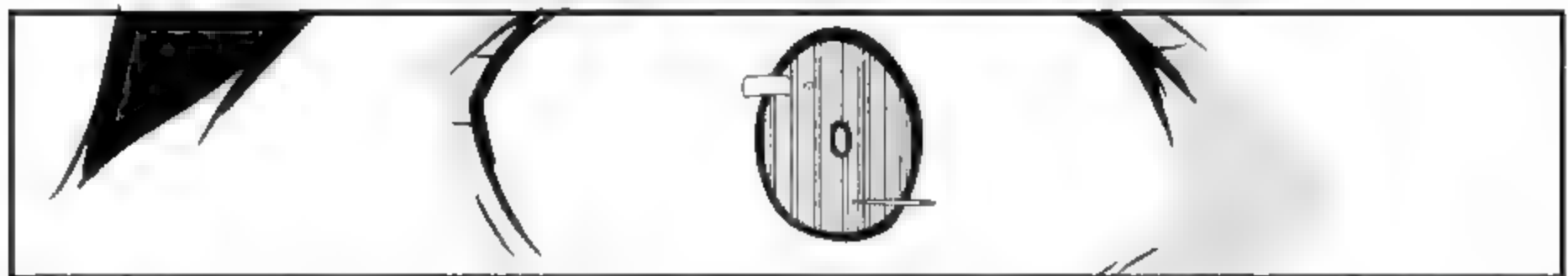
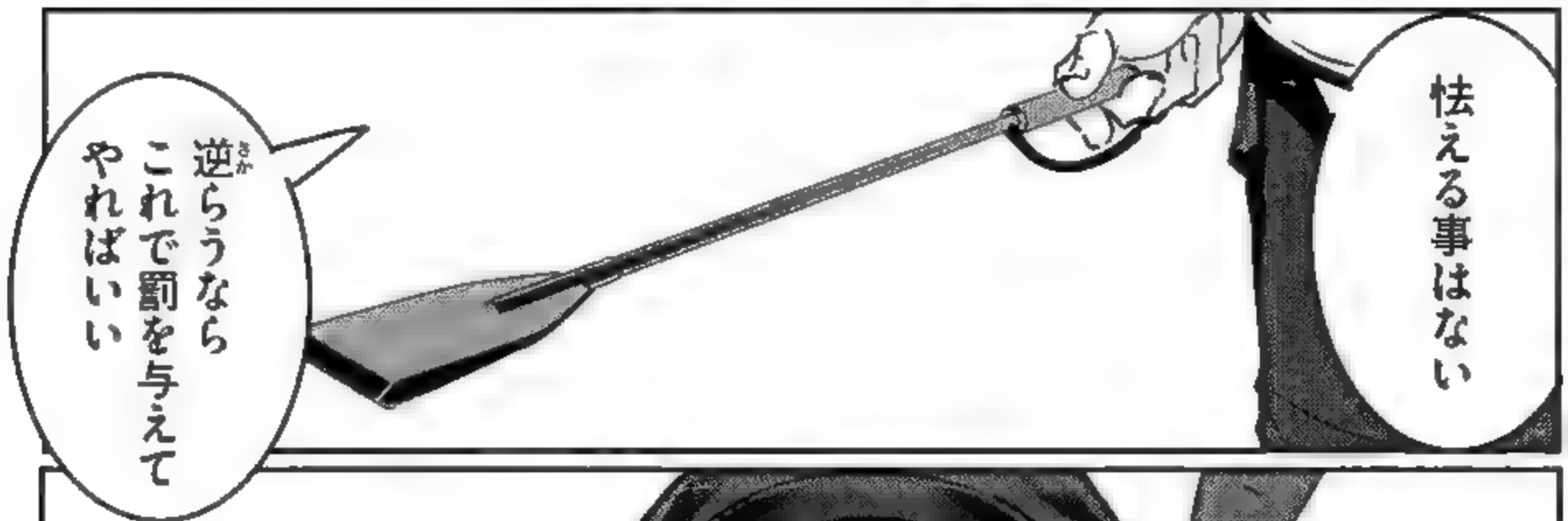
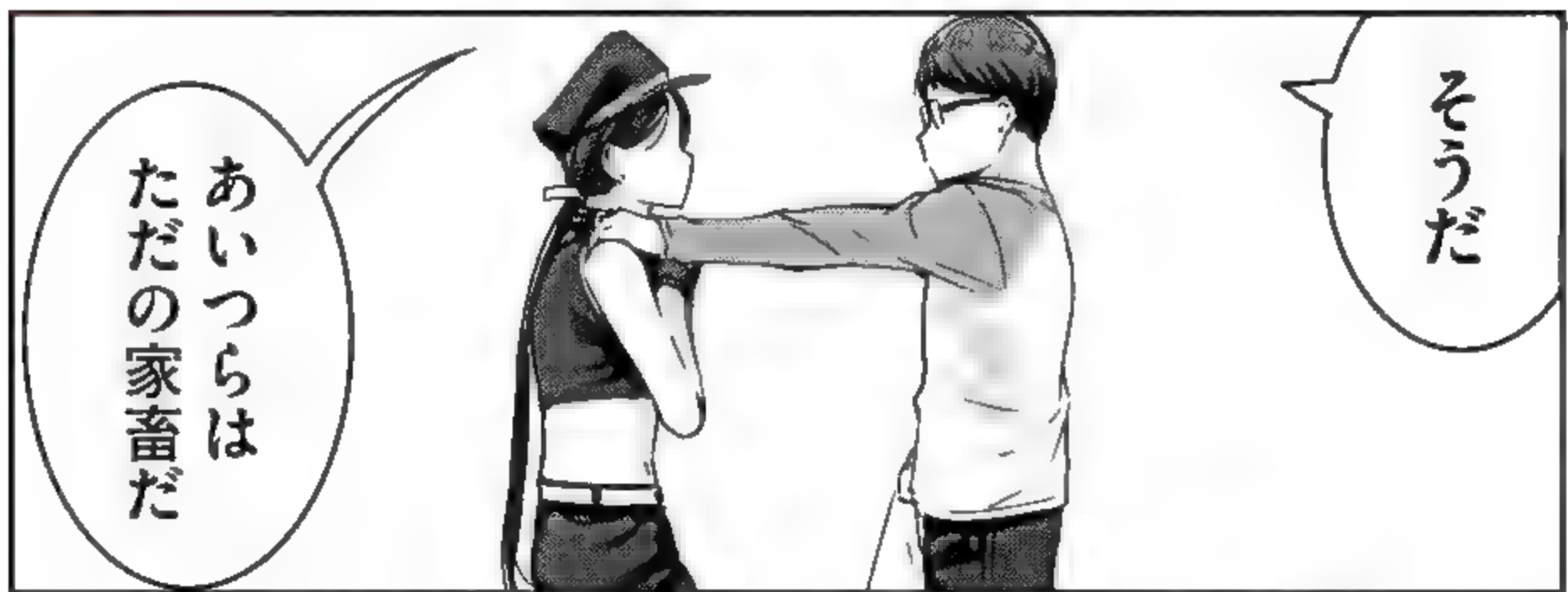




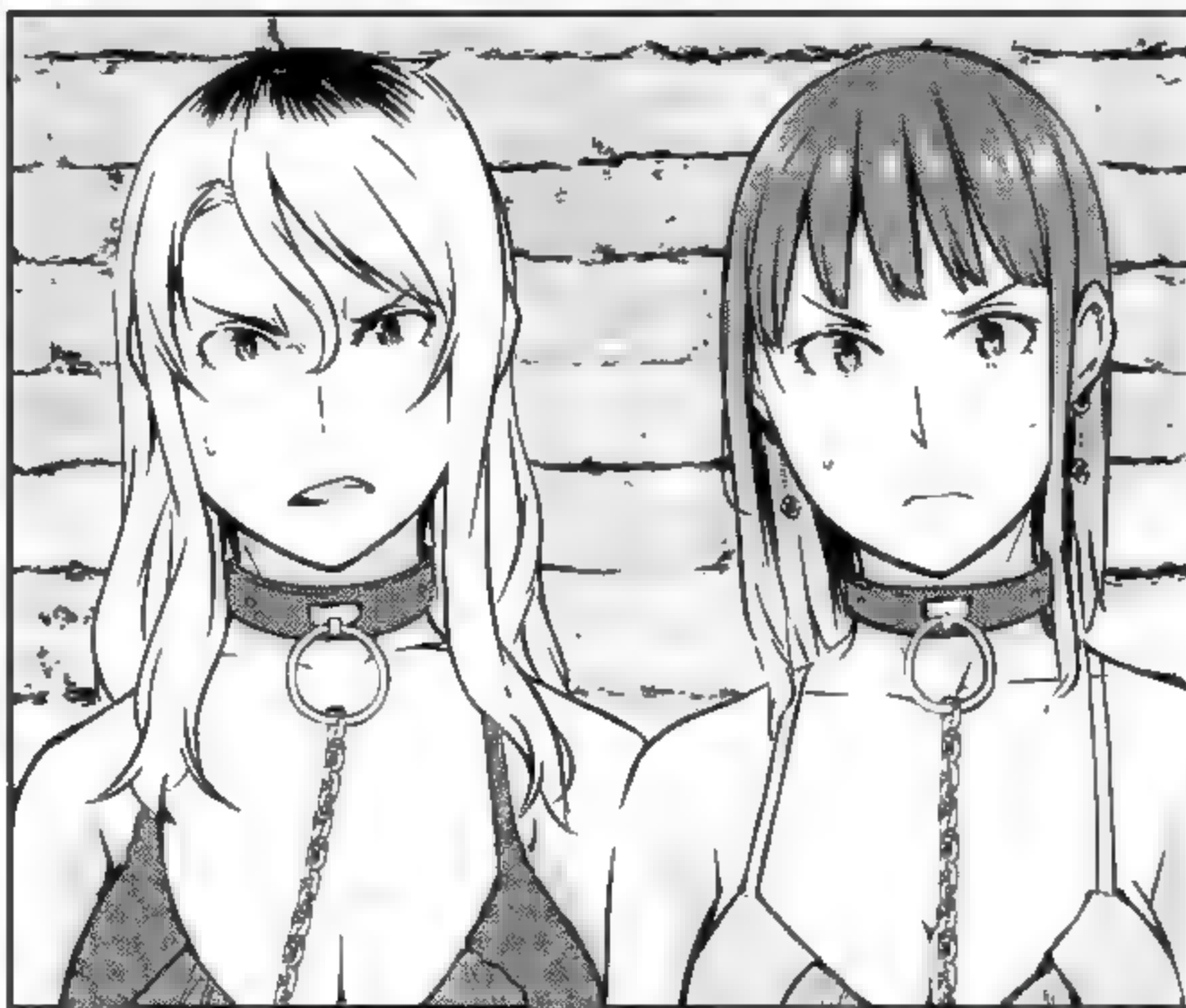


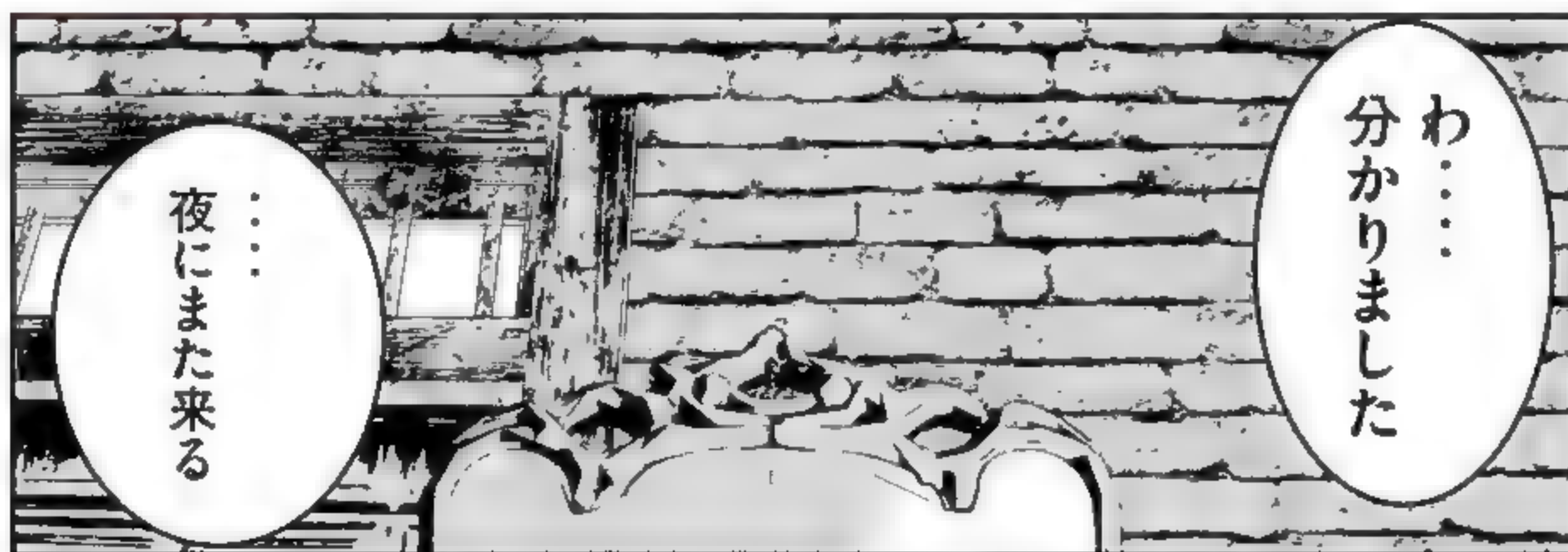
















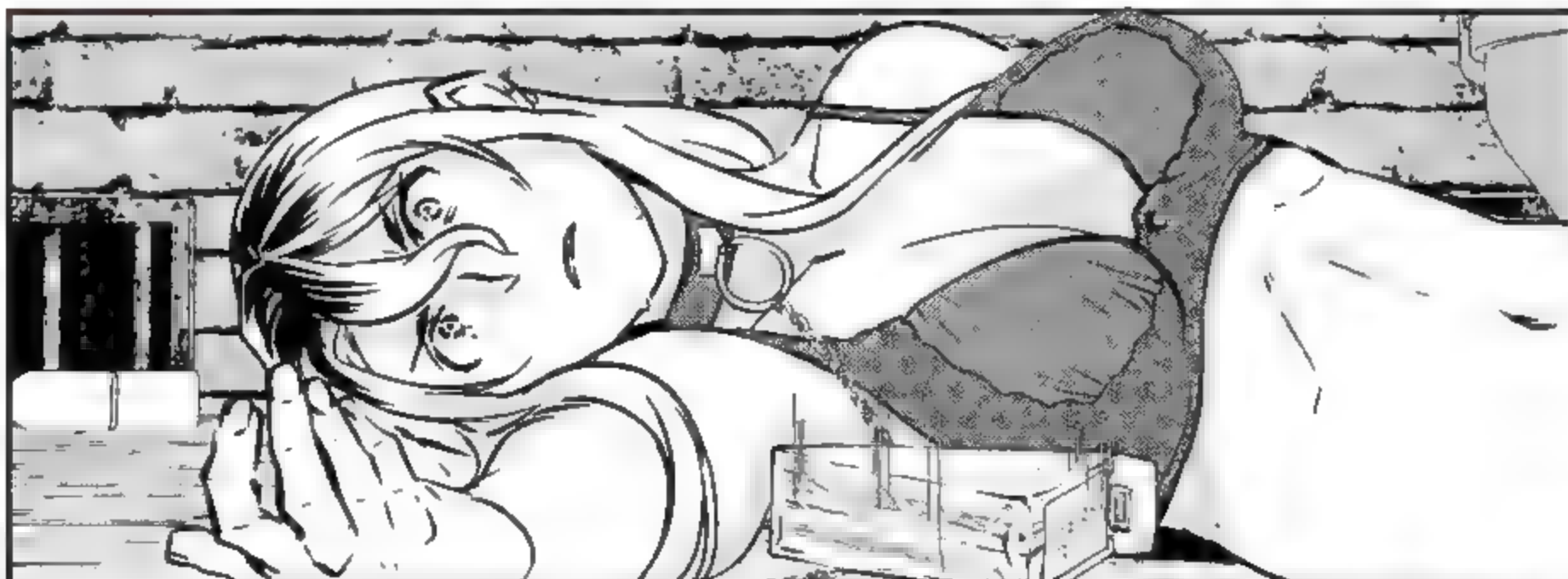


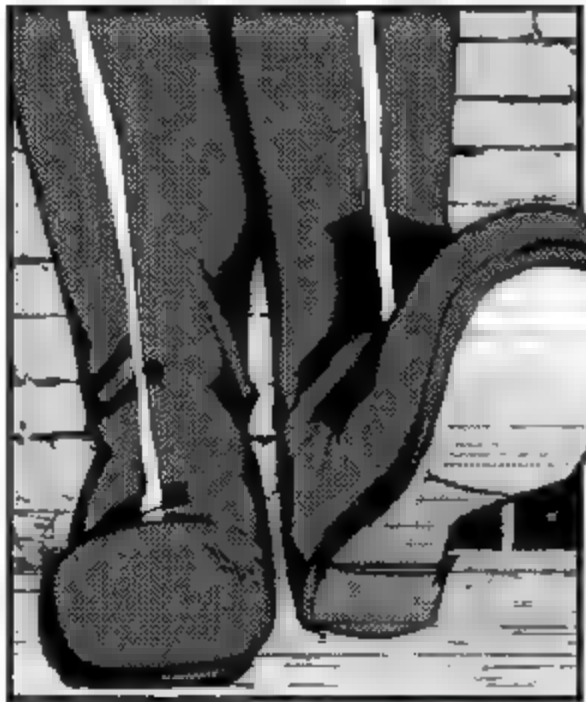
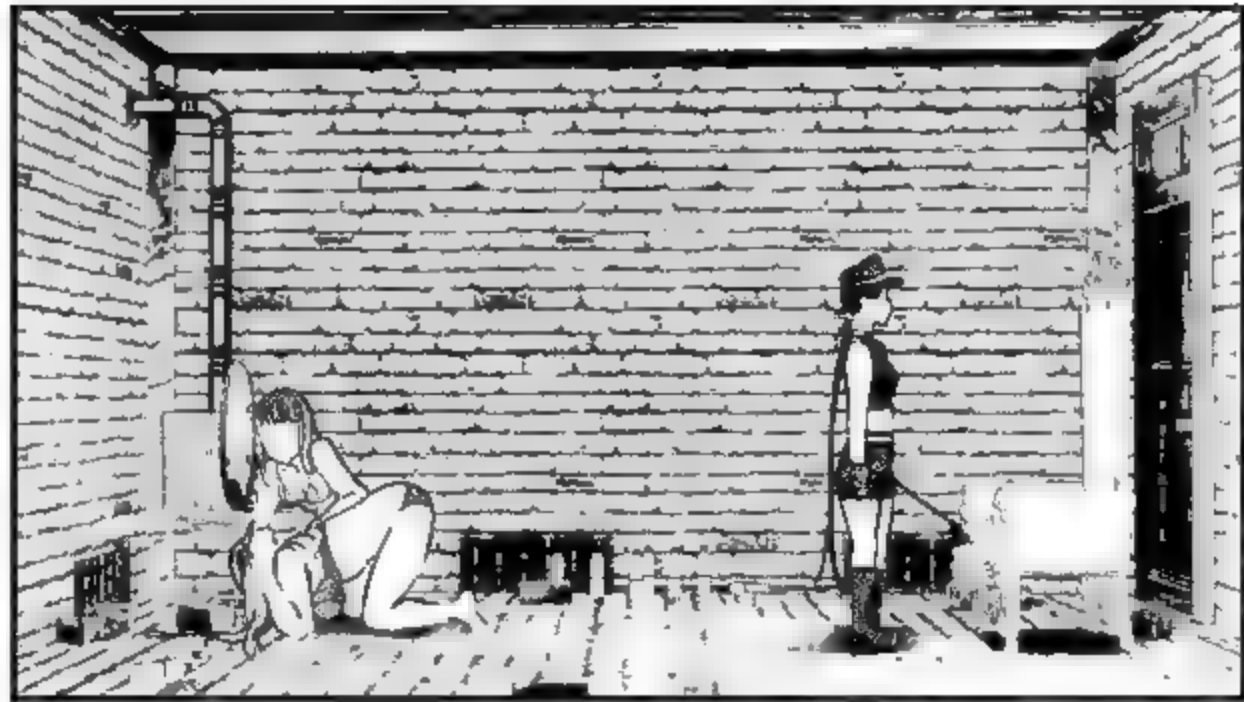
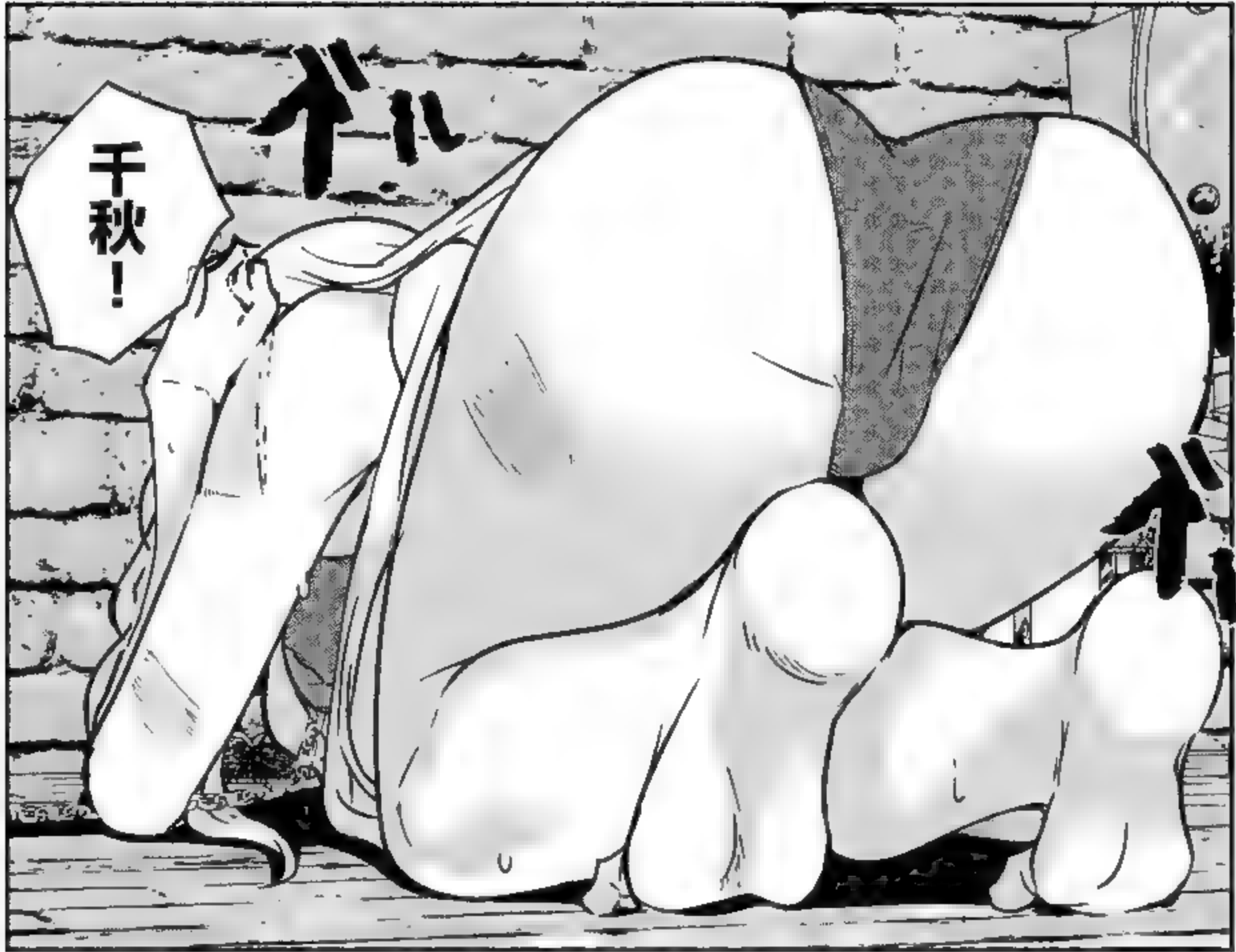




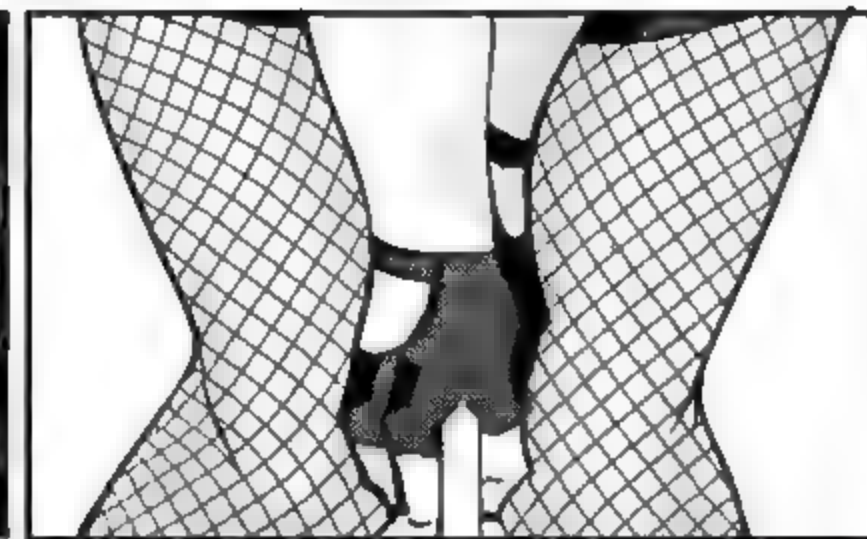
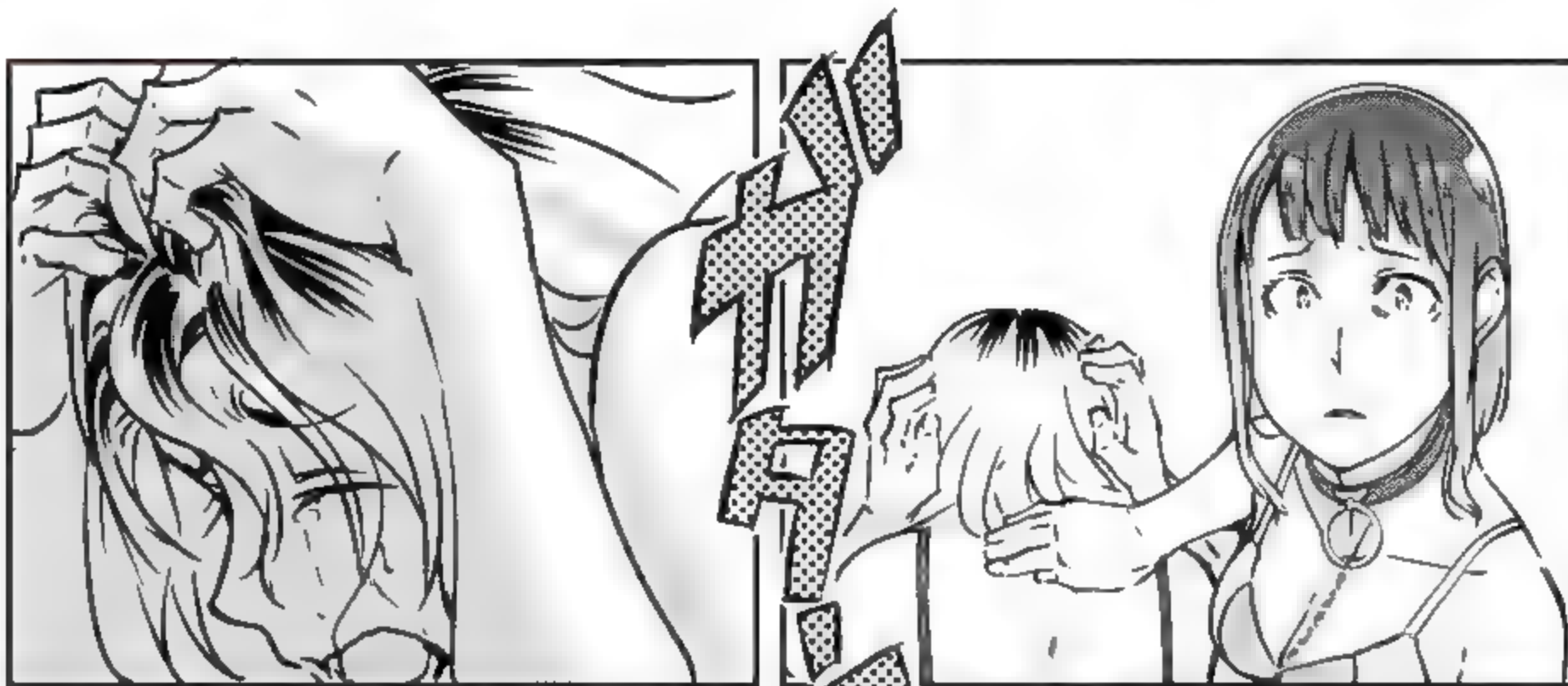








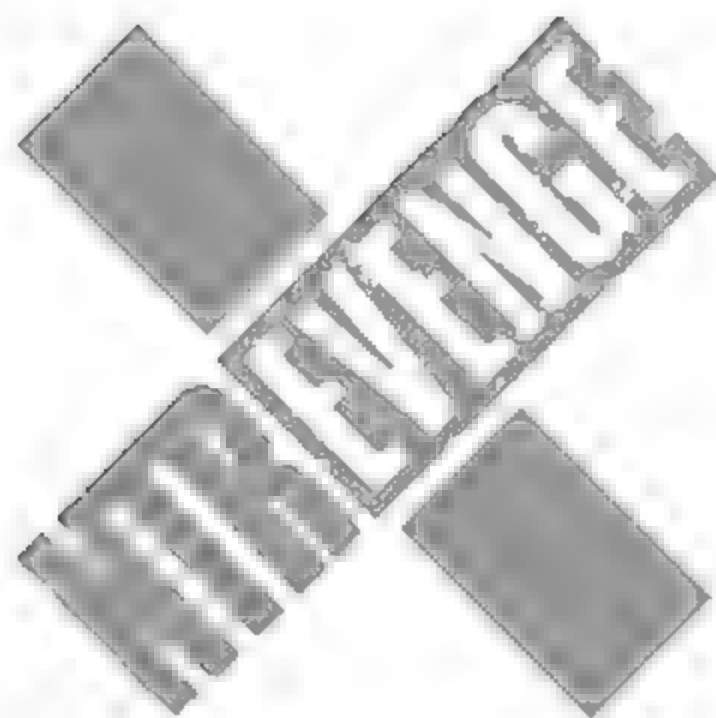










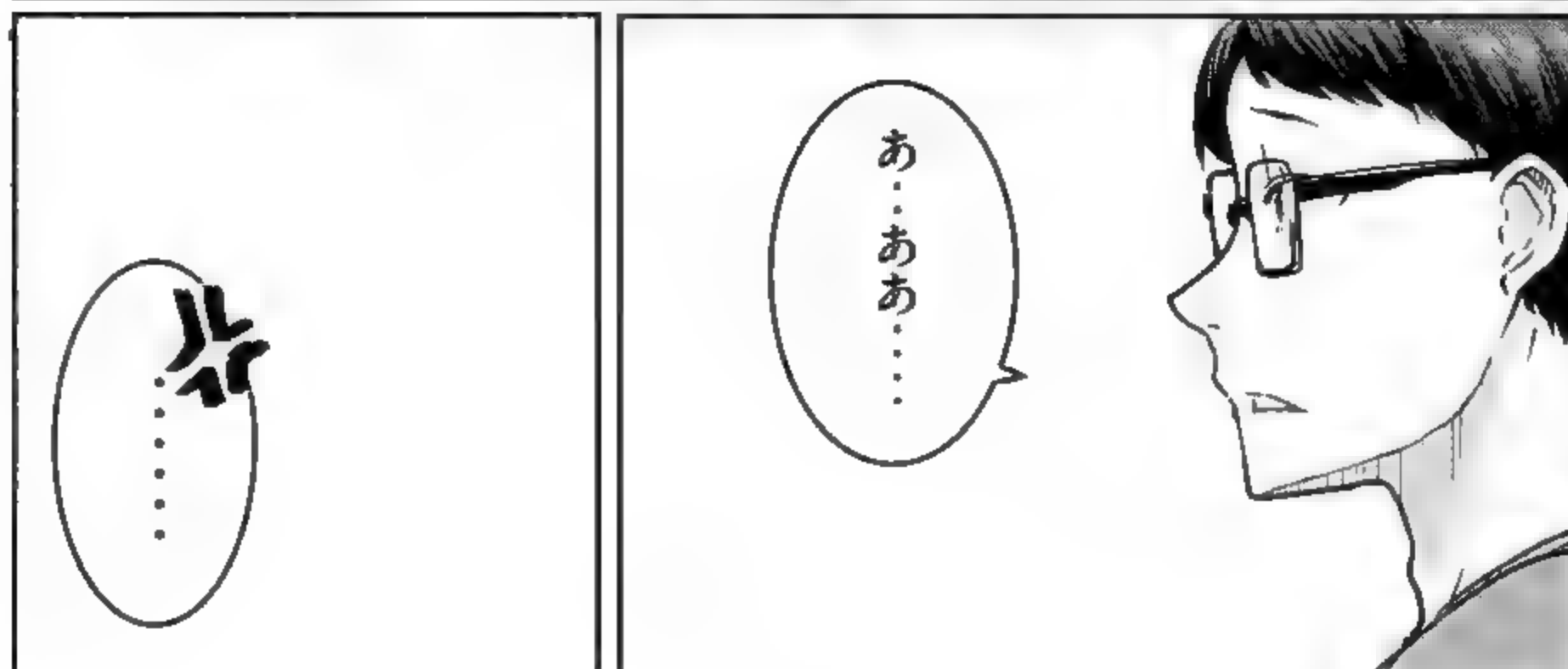




第11話 “支配”の入り口



お帰りなさいまし

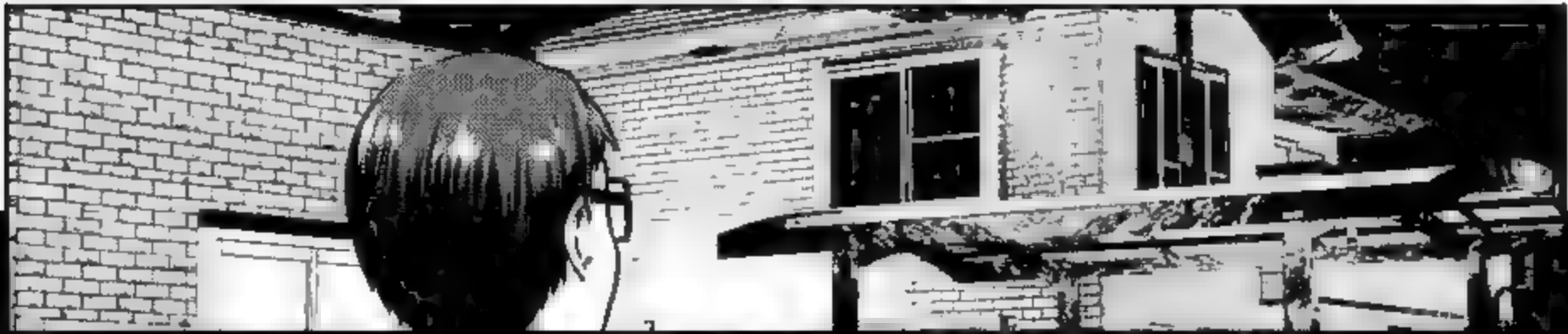
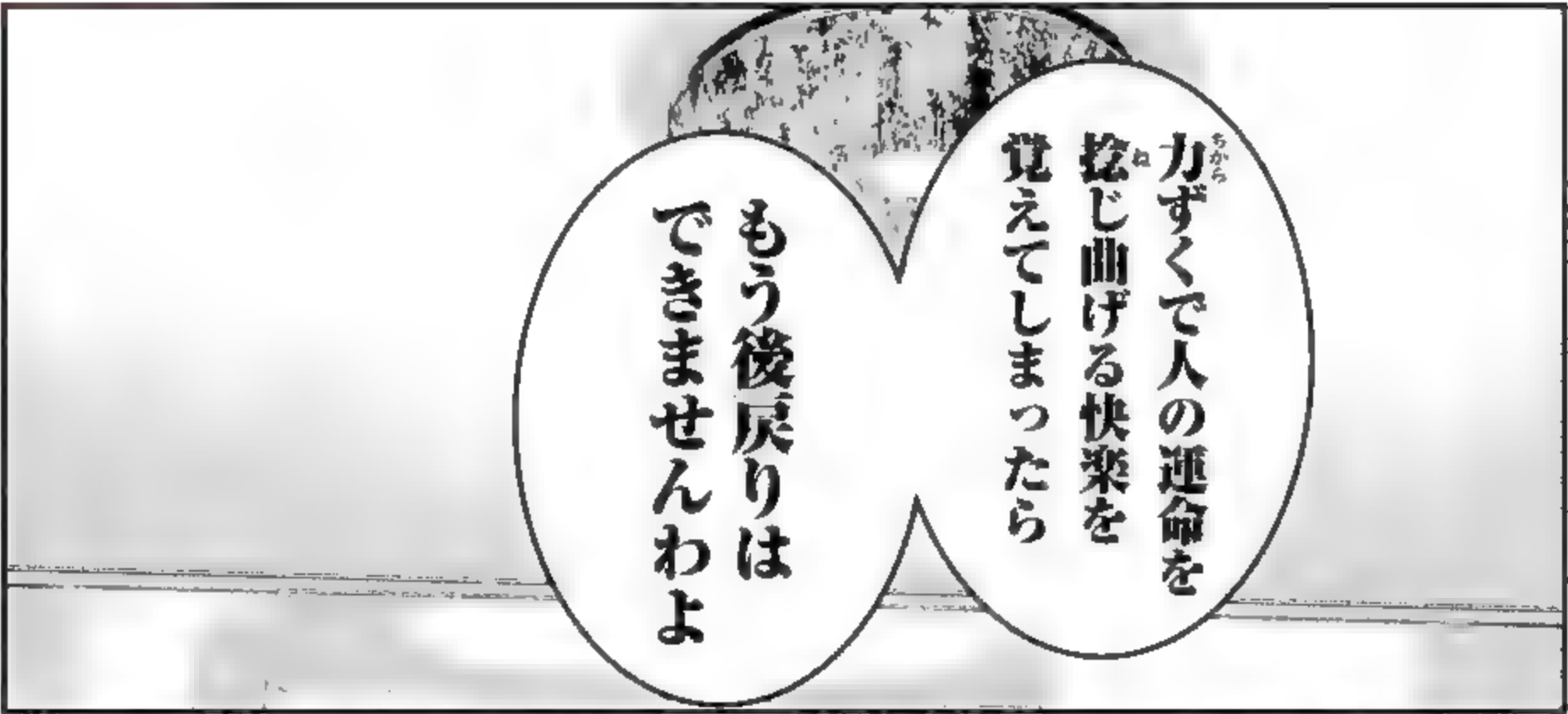




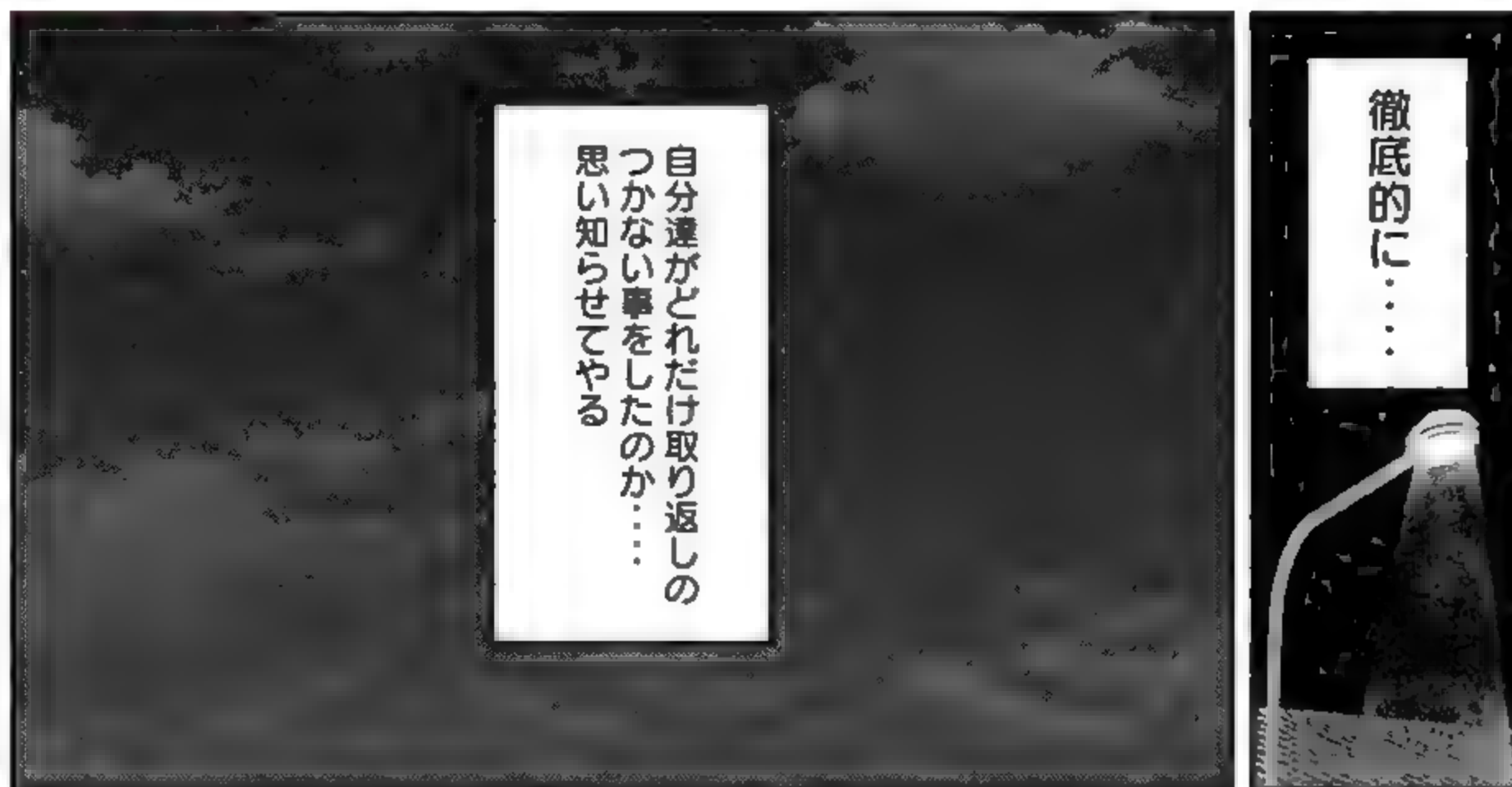








さっさとさっさと



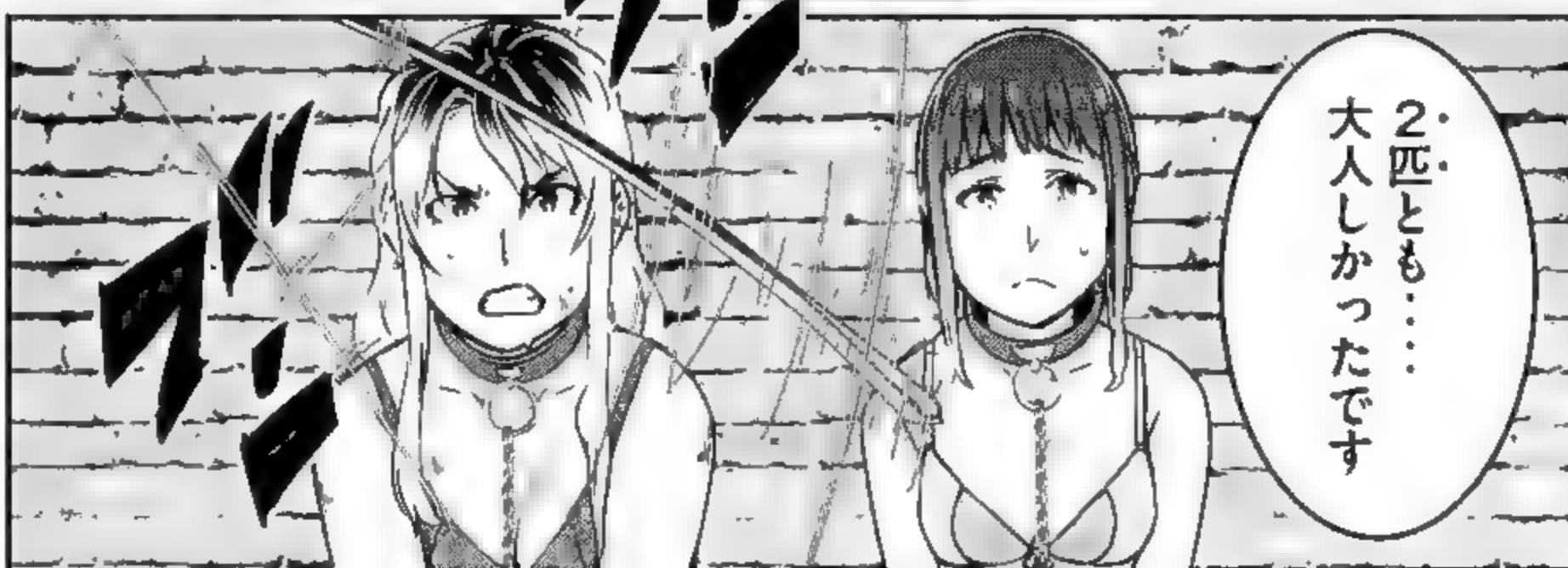
















ありがとうございます!!



飯...  
それと  
あいつらの餌だ



椅子に座る事...

これはアスモデの指示だ









許して  
ほしかったら...

誠意を見せないと











新着メッセージがあります

梓ちゃん、そろそろ出てきてよ。この写真ネットに流しちゃうよー

が写真を送信しました

今



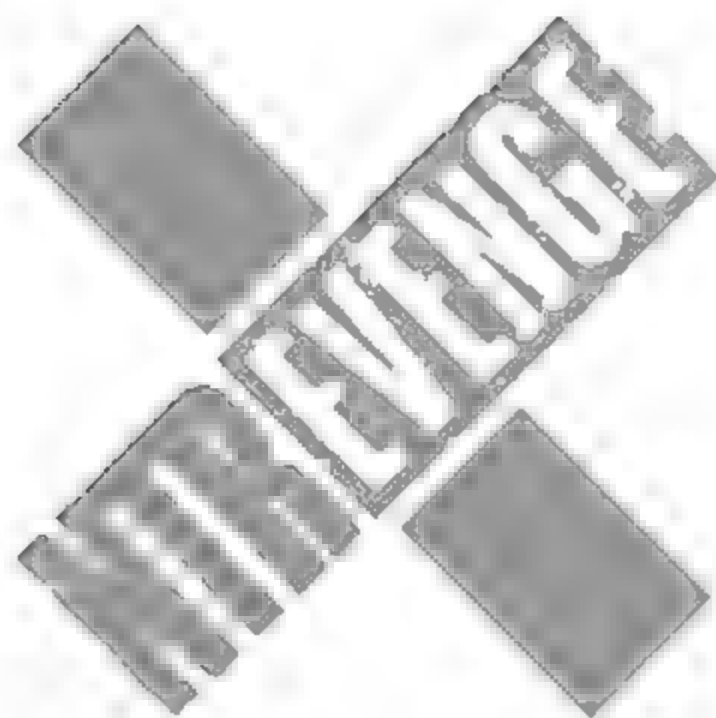
メッセージがあります

梓ちゃん、そろそろ出てきてよ。



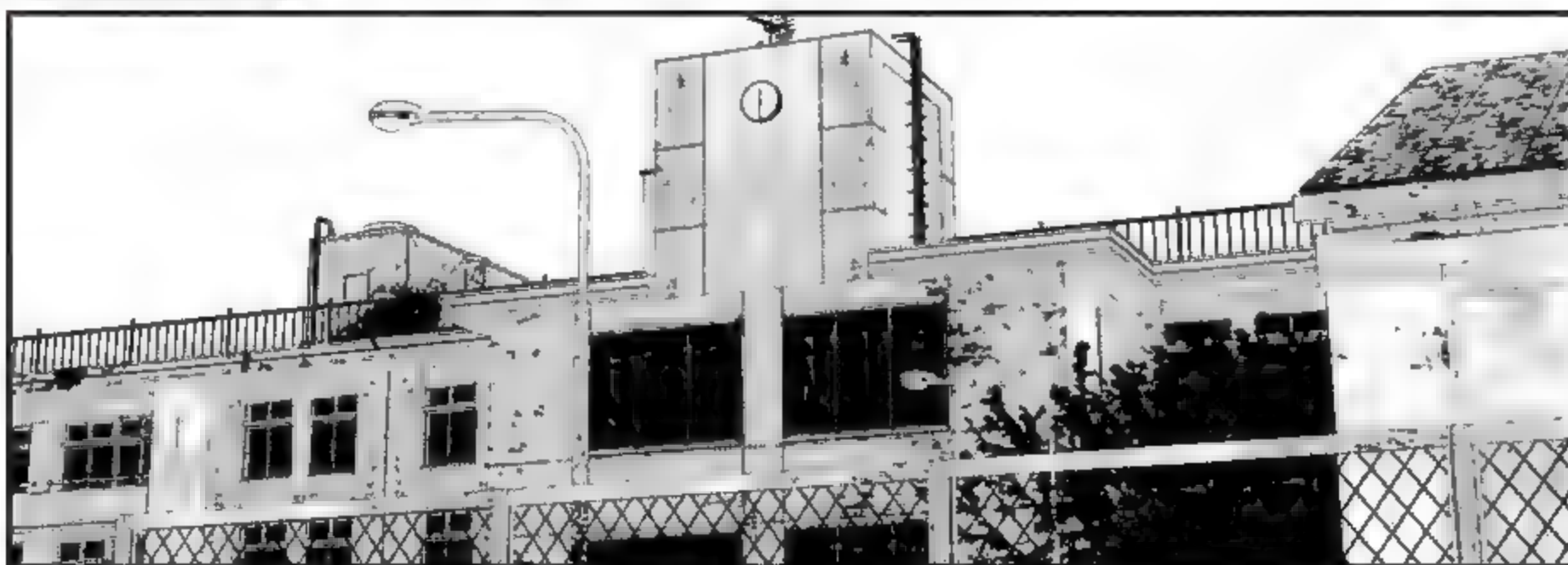








## 第12話 近づく限界



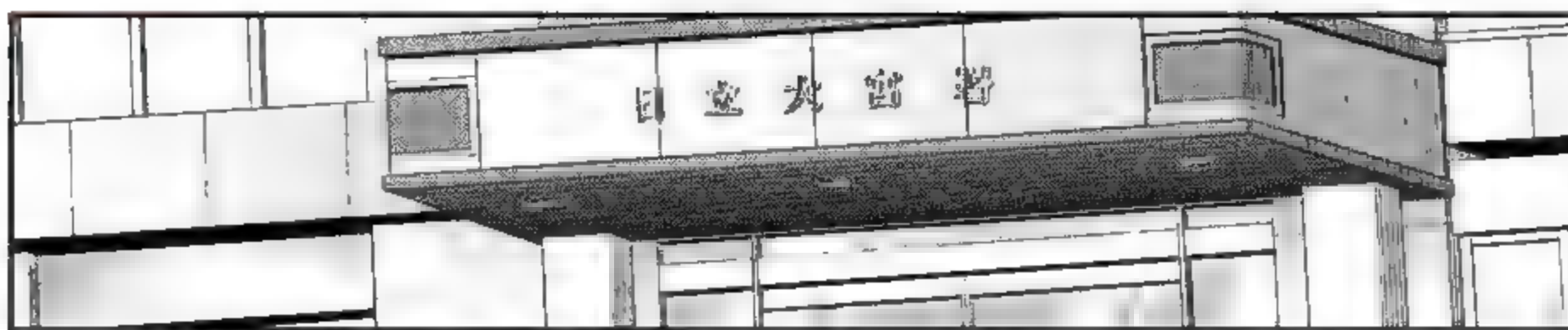
悠木はほとんど学校に  
来ていない

噂では水野を  
捜してあちこち  
彷徨い歩いているらしい













2人目は通学途中：この2人に  
関しては校外の人間の  
犯行と考える事もできる



水野陽菜



シヨップングモールで  
姿を消した

〈最後の目撃場所〉  
通学途中

最初の水野陽菜は  
シヨップングモールで  
姿を消した

しかも  
下駄箱には靴が残されていた  
……外部の人間の犯行とは  
考えにくい



竹内美玖

〈最後の目撃場所〉  
学校内

最後の1人は昼休みだが  
校内から姿を消した

……やはり注目すべきは  
この3人目か



……とはいえ同じグループの女子が  
たまたま同時に行方不明に  
なる事などあり得ない

目撃証言から……例の  
いじめられっ子ですね



兎田……  
この竹内美玖って子と  
最後に接触が  
あったのは？

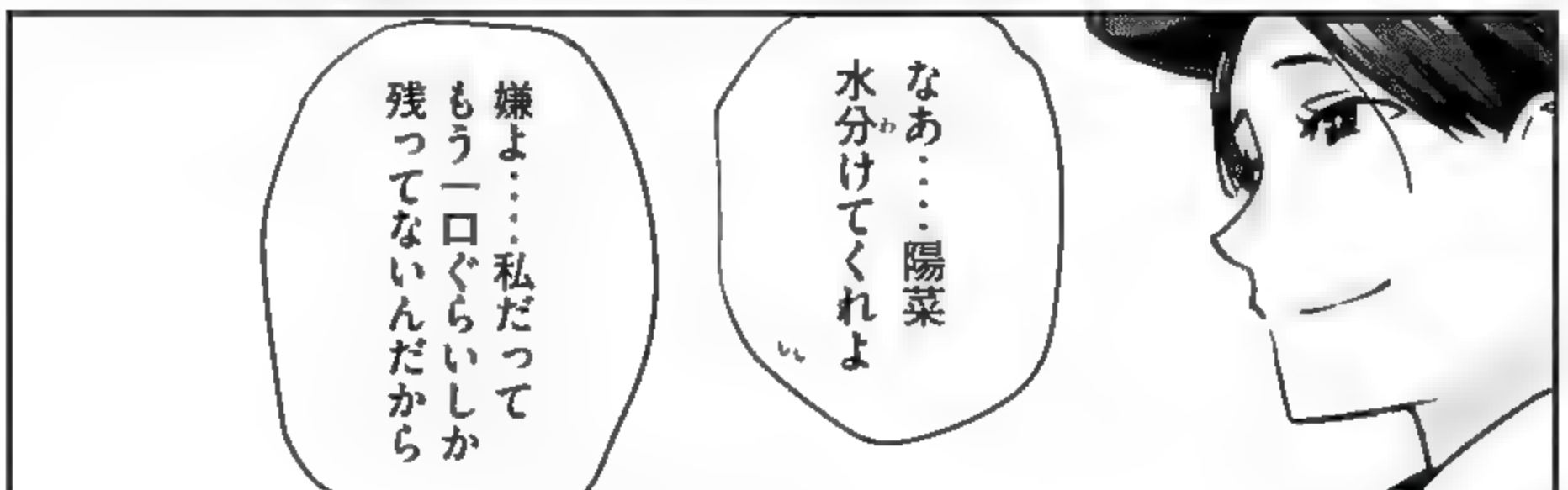
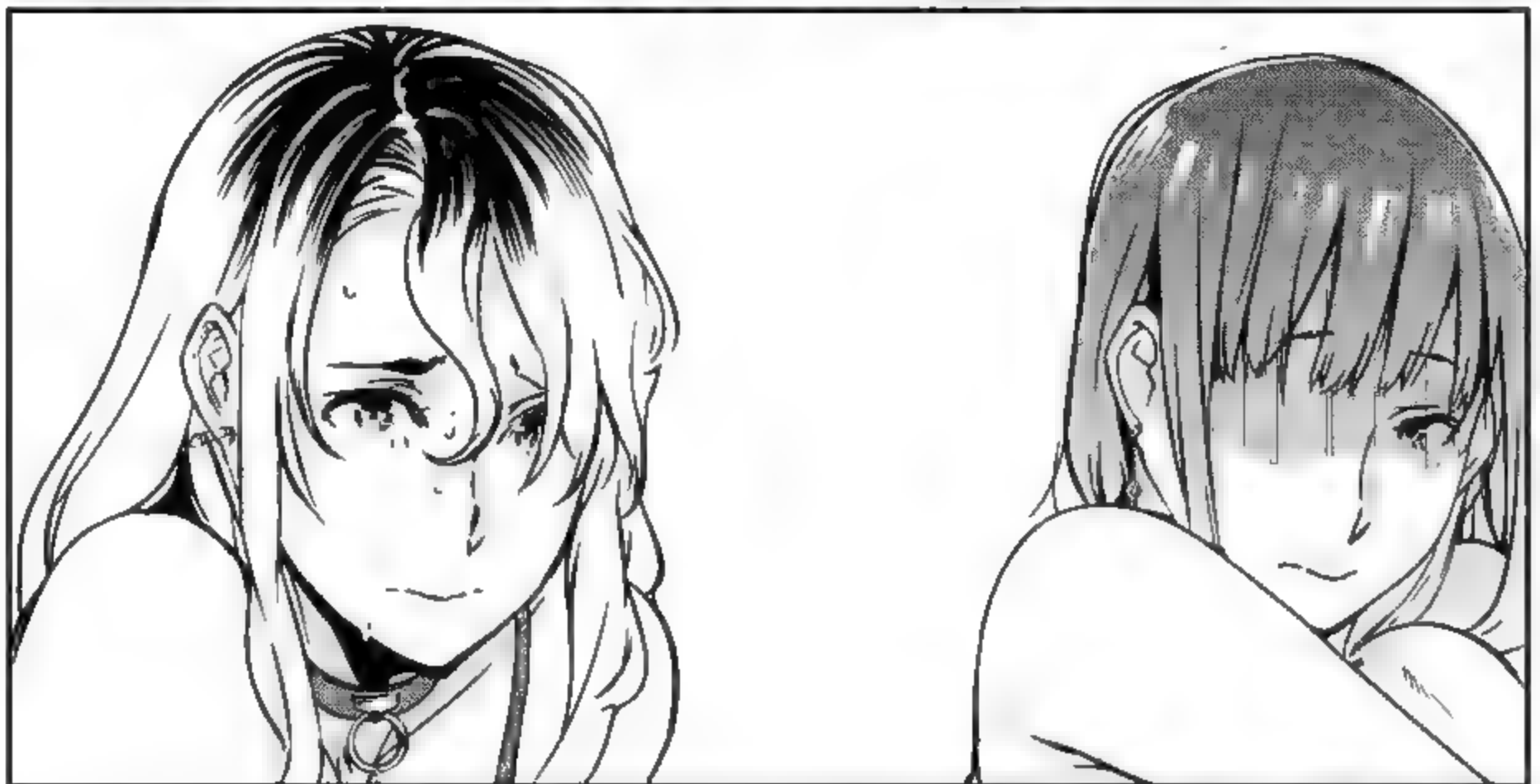
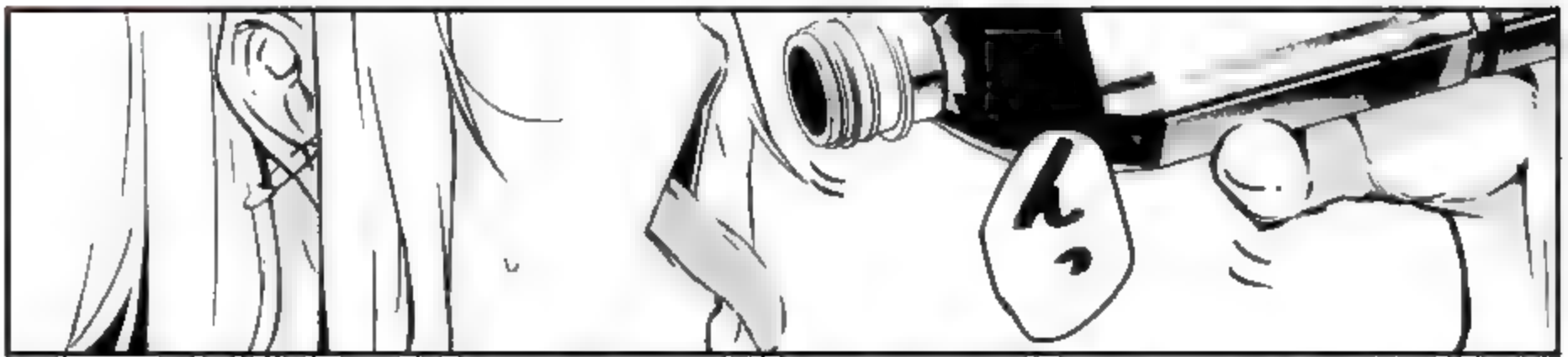
本人の証言から  
「交際を申し込むが返事は  
保留」……

悪いが校長先生に  
アポ入れてくれ

明日もう一度  
この桜庭つて子に  
話を聞きに行く

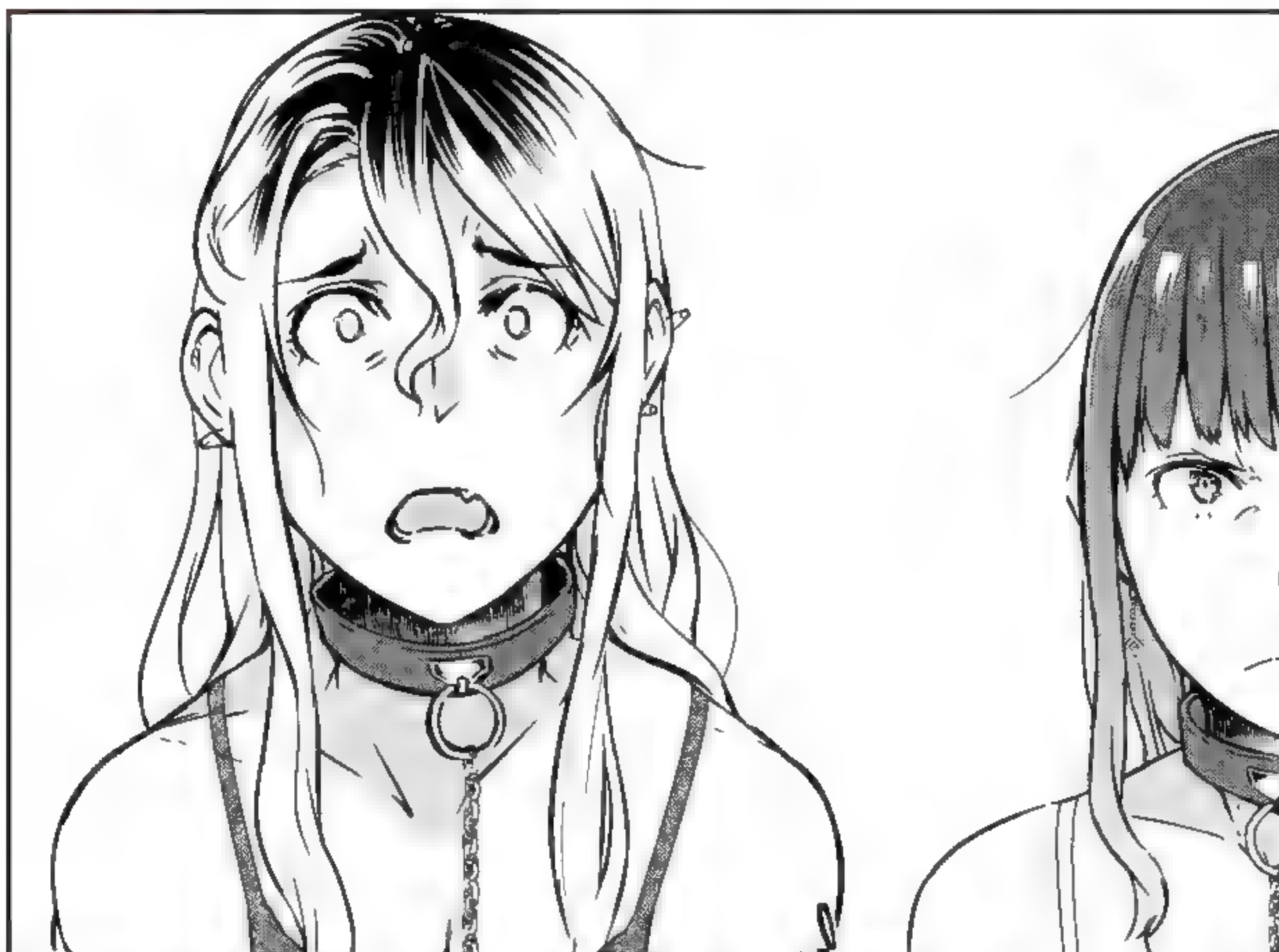












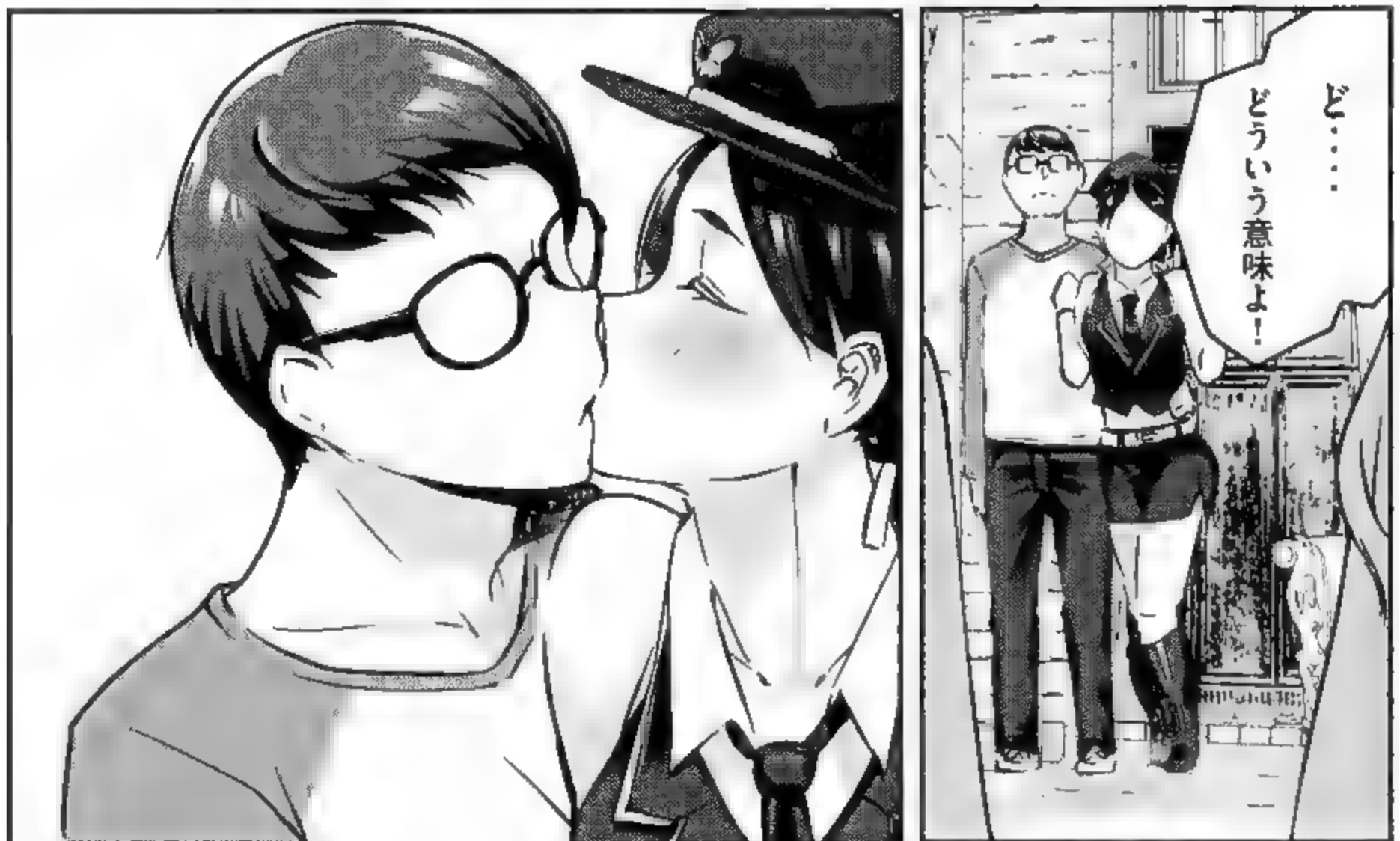








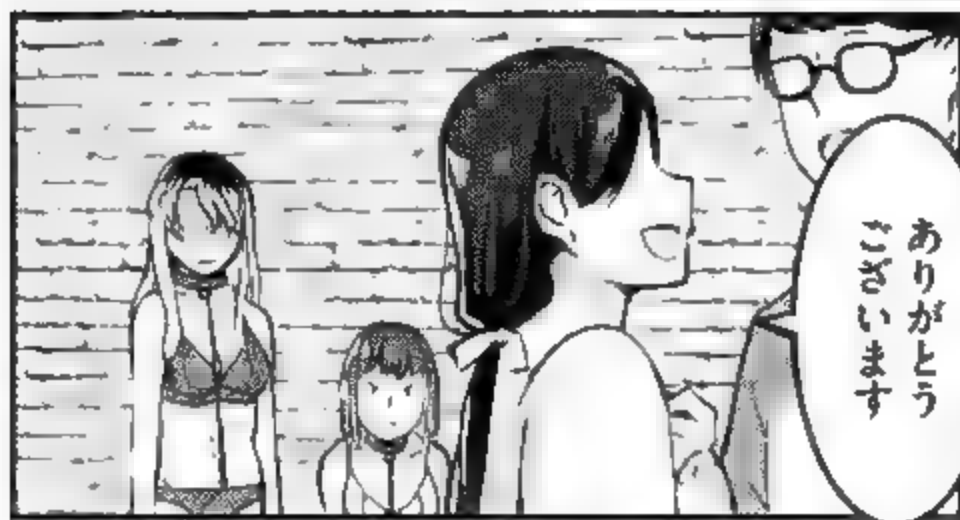










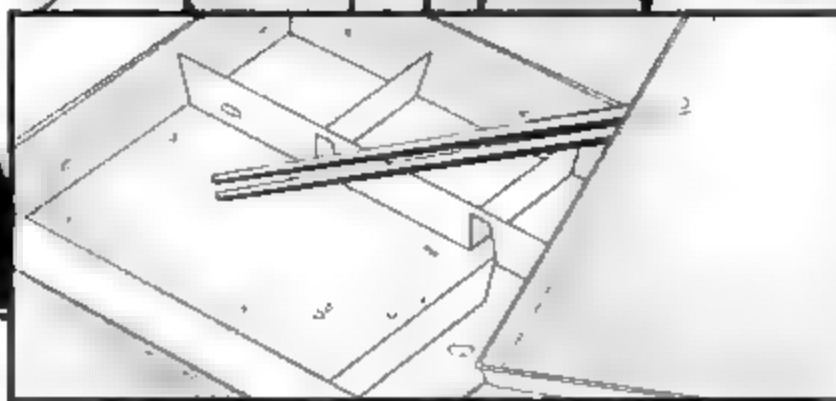










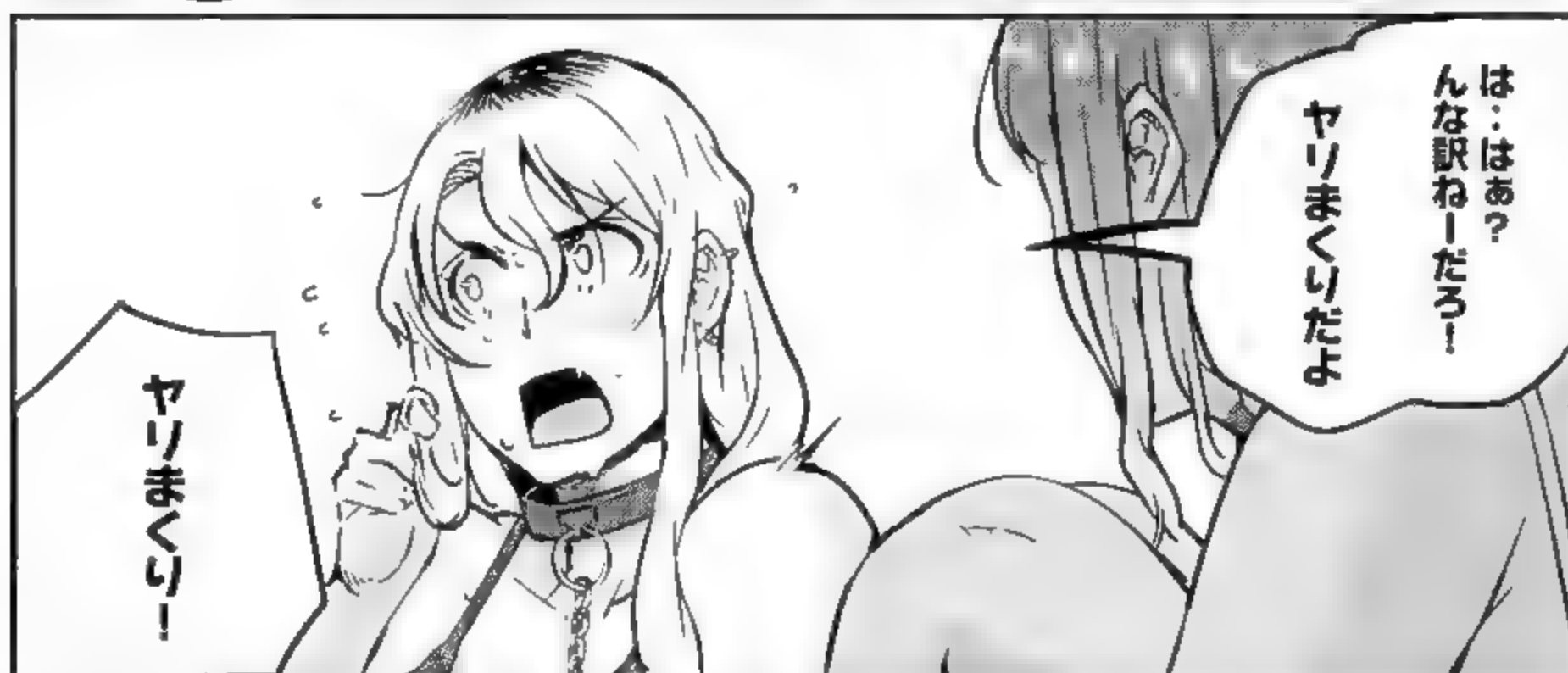




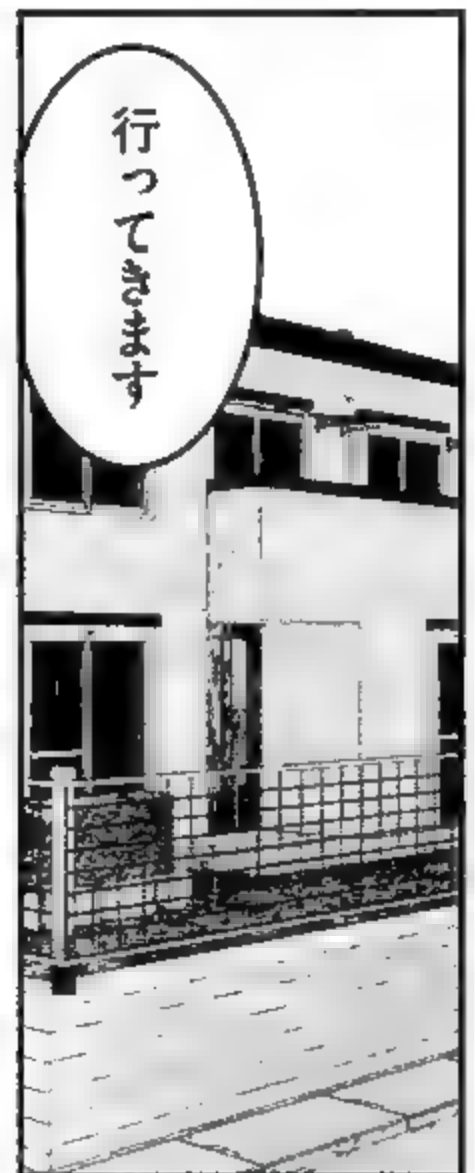


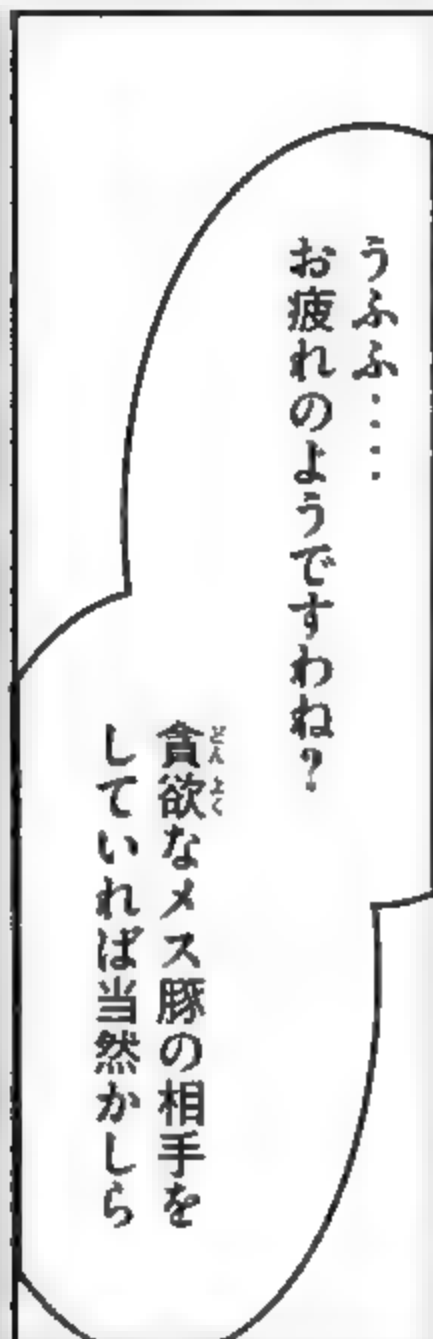
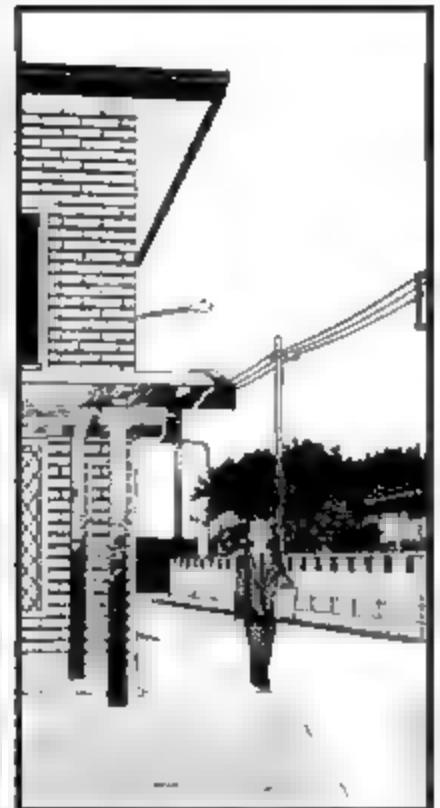












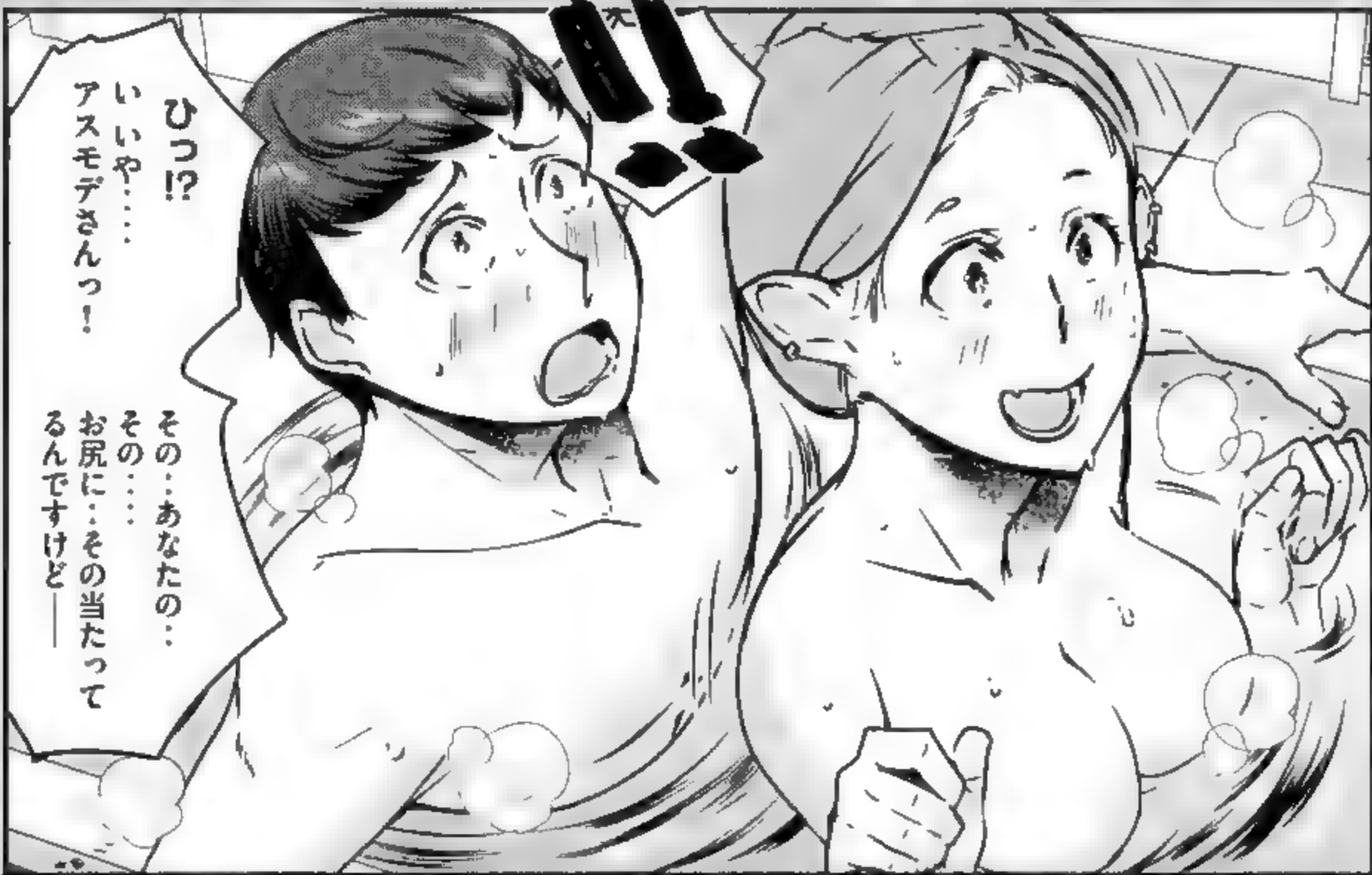




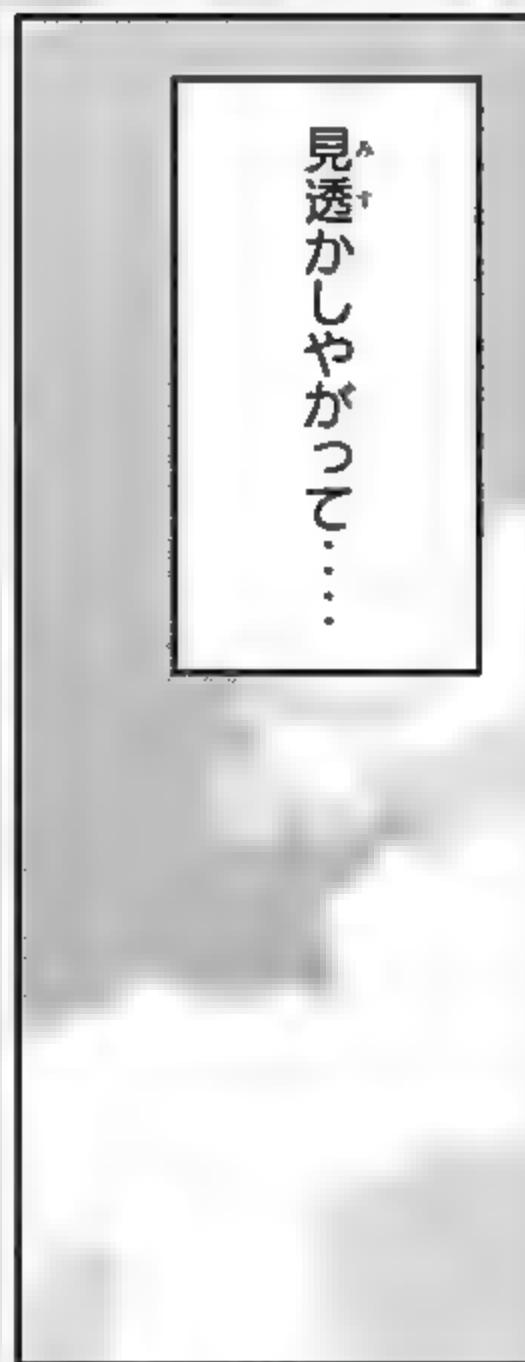


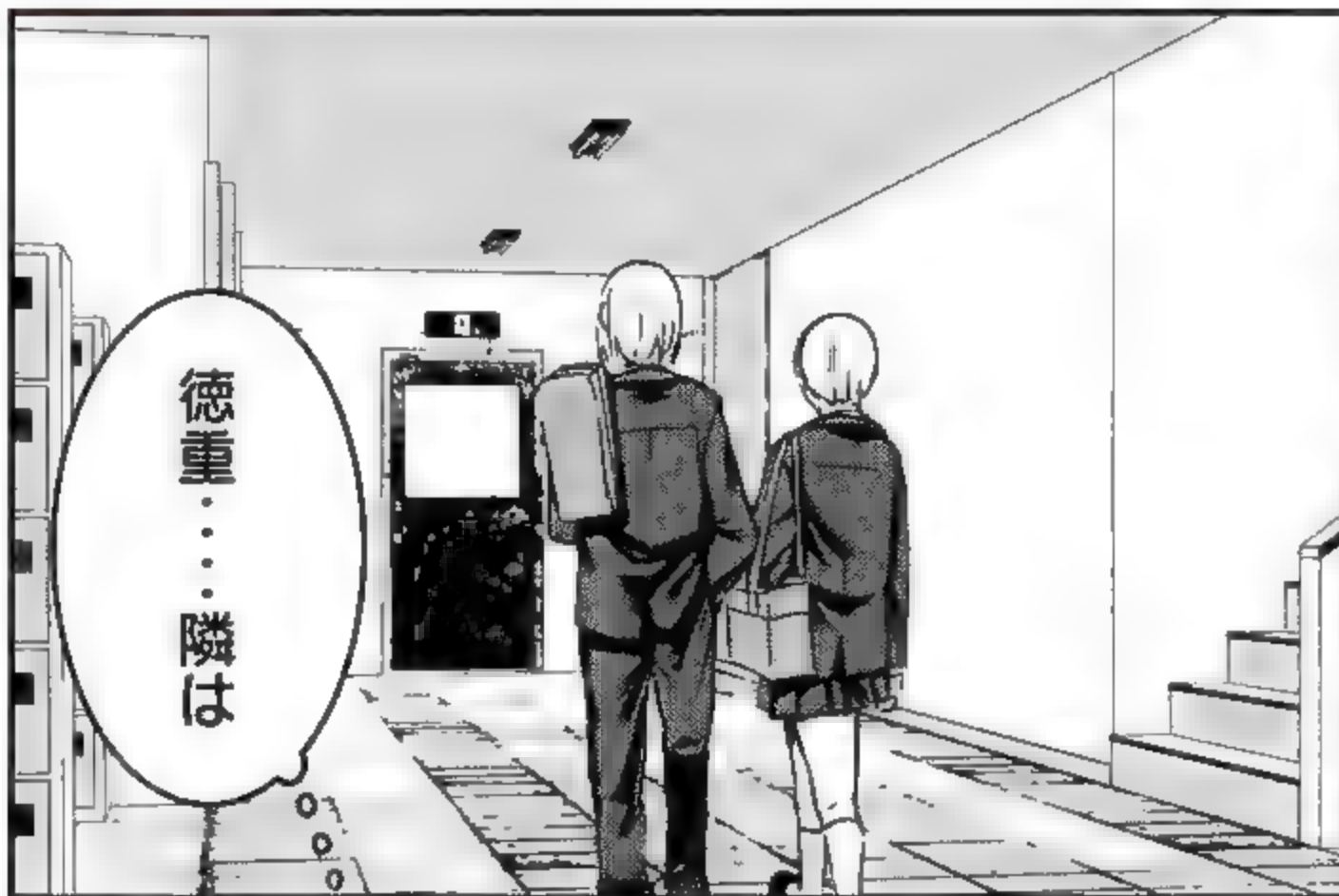
























というわけで  
早速ですけど……  
今回お伺いしたいのは  
竹内さんの事です

彼女が失踪する直前  
一番最後に会ったのが  
桜庭君という事でしたので……

は  
はあ……でも以前  
お話したと思うんですけど  
……それ以上は何も……



ですよー  
僕もそうじゃないかなって  
思ってたんですけど

今回行方不明に  
なっている  
女子生徒3人は

ショッピングモール  
通学途中……そして  
校内と

それぞれ別の場所で  
行方不明に  
なっている訳ですけど



で……  
単刀直入に聞きますけど



我々はその中でも  
校内から姿を消した  
竹内さんに注目せざるを  
得ないんですよ

はあ……





**REVENGE**

**To be continued in the NEXT REVENGE.**

単行本特別収録

# NTR REVENGE エピソード「関戸」

## 私達は追い込まれている

マサイ

布地を撫でる音は、ポリウムを抑えたラジオノイズによく似ている。

しゅるりと繊維の擦れる音。乾いた音。そんな小さな音がやたらと大きく聞こえたのは、この場に居る者たちが皆、一斉に息を呑んだ所為。その所為で呼吸音が止んだからだ。

「ねえ、気持ち良くしてあげる。私……頑張るか」

美玖の行動はあまりにも大胆だった。彼女が桜庭の股間を撫で回し始めると、指先の蠢きに導かれるように、スポンの皺がその下で息づくモノの形を浮かび上がらせる。

「な、な、何考えてんだ、アイツ!?」  
媚びようとして、冷たくあしらわれた惨めな美

玖。彼女が桜庭へと身を寄せたのは、アタシと陽菜が、そんな彼女を嘲笑った直後のことだった。

最初、美玖が何を始めたのが、アタシにはよくわからなかった。女の方から誘うなんて発想はなかったし、そういうのは男がリードするものだ。思い込んでいたからだ。

「ちよ、ちよ、ちよと待てて」

波立つアタシの胸の内などお構いなしに、美玖はうつとりした顔つきで桜庭の前に跪き、アタシへと指をかける。そして彼女は、慣れた手つきで桜庭のアレを引っ張り出した。

「ハア……と熱を感じさせる牡の吐息。嬌然と微笑む牝の生々しい表情。狭いこの監禁部屋の温度が急激に上昇したような錯覚を覚える。」



私は悪魔

七つのアタシは慌てて顔を背けた。頬が引き攣る。喉

が渴いた。こんな見えてられない。そう思った。

もちろん、アタシだって野郎のアレを見たことぐ  
らいはある。

通っていた空手道場には男子更衣室なんて無かつ

たし、道着の下に下着を着けないという者も多かつ

た。だから着替えの際には、見たくなくても見えて  
しまうことは何度もあったのだ。

だが、男たちが着替えの際に道着の裾で隠してい

た、萎れてふら下がった弱々しいモノと、ギチギチに

張り詰めて血管の浮き出たあの禍々しいモノが、同

じモノだとは到底思えなかった。

「なんだ、あのグロイの……正イリアンじゃねえか」

顔を背けても、見てしまったものは脳裏に居座る

人体の、部とは認めたくない色と形。もちろん

保健体育的な意味で男の身体の仕組みを知らない

訳ではなかった。でも思っていたのと違う。あれは

違う。絶対に違う。

アタシがブンブンと首を振るのとほぼ同時に、う

とりとした美玖の泣き声が聞こえてきた。

「大きい……」

（や、やつは、大きいんだ……みんながみんなあんなのじゃなくて、アイツが異常なだけかも……）

そう思えば、今度は桜庭が何か恐ろしいモノのよ  
うに思えてくる。

救いを求めるように隣に目を向けると、陽菜が  
汚物を見るような目で、一人の方を眺めていた。

不快げではあるけれど、驚いている様子はない。

（陽菜は彼氏持ちだから勃ったのぐらに見たことあ

るはず……驚いてないってことは、あれぐらいが普

通だつて……なのかな？）

すると、陽菜が眉根を寄せながら、アタシに問い

かけてきた。

「……アイツ、デカいね？」

（知るかあああああああああああ……）

思わず喚きそうになった。

陽菜から見てもやっぱり大きいんだという驚きは

脇に置いたとして、そもそもアタシにそれを聞かっ

色欲を司る

つかさど

悪魔ですわ



て話である。

「こっちは、今まで男の子と付き合ったこともないのだ。普通がどんなモノかも知らないのだ。」

別にモテなかった訳じゃないし、男女のそういう行為に興味がなかった訳でもない。

人並みに憧れぐらいはあった。いつかは素敵な恋をしてみたいと思っていた。彼氏だつて欲しいと思っていたのだ。

だからと言って、誰でも良いという訳ではない。

道場のむさ苦しい男たちなんてゴメンだし、徳重みたいなヤリチン男なんて以ての外、アタシと同類みたいなやさぐれ男はノーサンキューで、桜庭みたいなキモい陰キヤも冗談じゃない。

理想で言えば、守つてあげたくなるような可愛い男の子が良かった。

少女漫画でよく見る薔薇が舞い散るような、あんな感じは大袈裟だとしても恋愛は、そしてその行きつく先の行為は、もつとキラキラしたものであつて欲しいと、本気でそう思っていたのだ。

だが、アタシのそんな願いもむなしく、顔を背け

た向こう側から聞こえてくる音は益々生々しさを増している。

「んっ、んふっ……ちゅるっ……」

男女の艶かしい吐息と猫の食事を思わせる卑猥な水音。恐る恐る二人の方に目を向けると、美玖が桜庭の股間に頭を突っ込んでいた。

（な、舐めてる……）

思わず眉を顰めると、アレ……舌を伸ばしたまま、美玖がこちらに視線を向けってくる。

どこか勝ち誇つたような彼女の表情に、アタシは思わずイラつとした。

（調子に乗りやがって……）

アタシは、この竹内美玖つて女がずうと気に食わなかったのだ。

同じクラスになつた時からずっとだ。

何でと言われると正直困る。とにかく嫌いなものは嫌いだった。理由や理屈をちゃんと言葉に出来るぐらいなら、もうちよつと真面目な成績を取つて

アタシ自身、バカだつて自覚ぐらいはあるのだ。

だから、陽菜が美玖をカタに……るつて言い出し



# 私は悪魔

た時には「待つてましたー」とすら思った。

じつは、  
「気に食わないのだから思い知らせてやればいい。」

身の程をわからせてやればそれでいい。そのつもり  
たつた。

ぶん殴るのは別に何とも思わないし、裸に剥いて  
恥をかかせてやるのも悪くない。

つかさど

## 色欲を司る

た時には正直引いた。「そのうち客を取らせるか  
らしかり馴けとかないと」って、エヤヤしてる姿  
にはドン引きすらした。

とはいえ、美玖を庇う義理などなし。そちらは

陽菜の好きにすればいい。アタシは関わらないよう

にするだけだと放置したのだ。

目が合つてアタシが睨みつけると、美玖は気色の

悪い笑みを浮かべ、そのまま桜庭のモノを喉の奥ま

で啜えこみ始める。そして、心不乱に顔を前後

させ始めた。

（え？　　）  
「苦しくねえのかよう。あ、あんな

奥まで……」

「見てるだけでえすきそうになる。だが、美玖の

表情は苦しげでありながら、どこかうっとりとして  
いた。嬉しそうにすら見える。

（慣れてるつてことなのか……）

だとすれば、アタシらはとんでもない思い違いを

していたのかもしれない。

アタシらは美玖を底辺に叩き落としたつもりでい

たのだけれど、状況がこんなことになってしまえば

形勢は、一気に逆転する。男に抱かれ慣れていると

いうことが、今は大きなアドバンテージになるのだ。

つい先ほど美玖が見せた、勝ち誇った表情を思い

起こして、思わず背筋が寒くなった。

「……ただ、媚び媚びでキミいわ」

愕然とするアタシの隣で、陽菜が美玖を嘲笑す

る。

でもそうじゃない。陽菜はまだ気づいていないの

だろう。アタシらは美玖に追い込まれている。復讐

されようとしている。

そして、美玖にその手段を与えたのは陽菜自身

だということ。

ア

悪魔ですわ



NEXT REVENGE

行方不明の陽菜と千秋、  
美玖たちの捜索が  
進むなか、激しさを増す  
3人の「監獄ゲーム」。  
はたして宗一とアスモデの  
仕掛ける、復讐劇の  
行く末は——!?

桜庭君  
おかえりなさい！

剥ぎ出しの欲望が

暴走する激情が、

ありがとうございます……

2024年5月発売予定



止まらな  
い。



あいつ……

桜庭に取り入るし

# MR. REVENGE 3

ネトリベンジ

[原作] マサイ [漫画] 奇仙

VOL.



読み始めたら止まらない、極限サスペンス！

# 「デスモン」

信楽優楽

読み始めたら絶対止まんない、  
エログロモンスター！パニック！！



# 「満州アヘンスクワッド」

門馬司／鹿子

極上のアヘンが  
満州を狂わせる  
。麻薬密売クライムサスペンス！！





ヤンマガKC NOW ON SALE!!

『ゴールデンドロップ』  
 上月亮／津覇圭一  
 草下シンヤ／神里純平



『私のアリカ』  
 藤沢もやし／隈屑。

『御手洗家、炎上する』の藤沢もやしと「ちばてつや賞」大賞の新鋭が描くアイドル業界サスペンス！



悪魔・アスモデと契約し、  
いじめっ子への復讐を開始した  
**桜庭宗一**。  
「2つのマーカーを配置し、  
一方から他方の位置へ移動させる」  
という一見脆弱な能力を利用し、  
**水野陽菜、関戸千秋、**  
そして**竹内美玖**の3名を監禁する。  
次第に衰弱していく3名だったが、  
竹内が桜庭への“**忠誠**”を  
誓ったことで状況が一変。  
竹内の積極的な“**奉仕**”を前に、  
水野と関戸は——。  
**淫靡な復讐劇、情欲**の第2巻!!









NTR REVENGE

ネトリベンジ



# NTR REVENGE

ネトリベンジ

revenge

02

ROUND

原作

マサイ

STORY MASAI

漫画

奇仙

MANGA KISEN



※この物語はフィクションです。実在の人物・団体・出来事などとは、一切関係ありません。

※収録されている内容は、作品の執筆年代・執筆された状況を考慮し、コミックス発売当時のまま掲載しています。

# NTREVENGE(2)

2024年1月1日発行(01)

原作  
著

マサイ  
奇仙

© マサイ・奇仙 / 講談社

発行者

森田浩章

発行所

株式会社 講談社

〒112-8001

東京都文京区音羽 2-12-21



KODANSHA